

5. 運動・スポーツ系の習いごと関連の支出

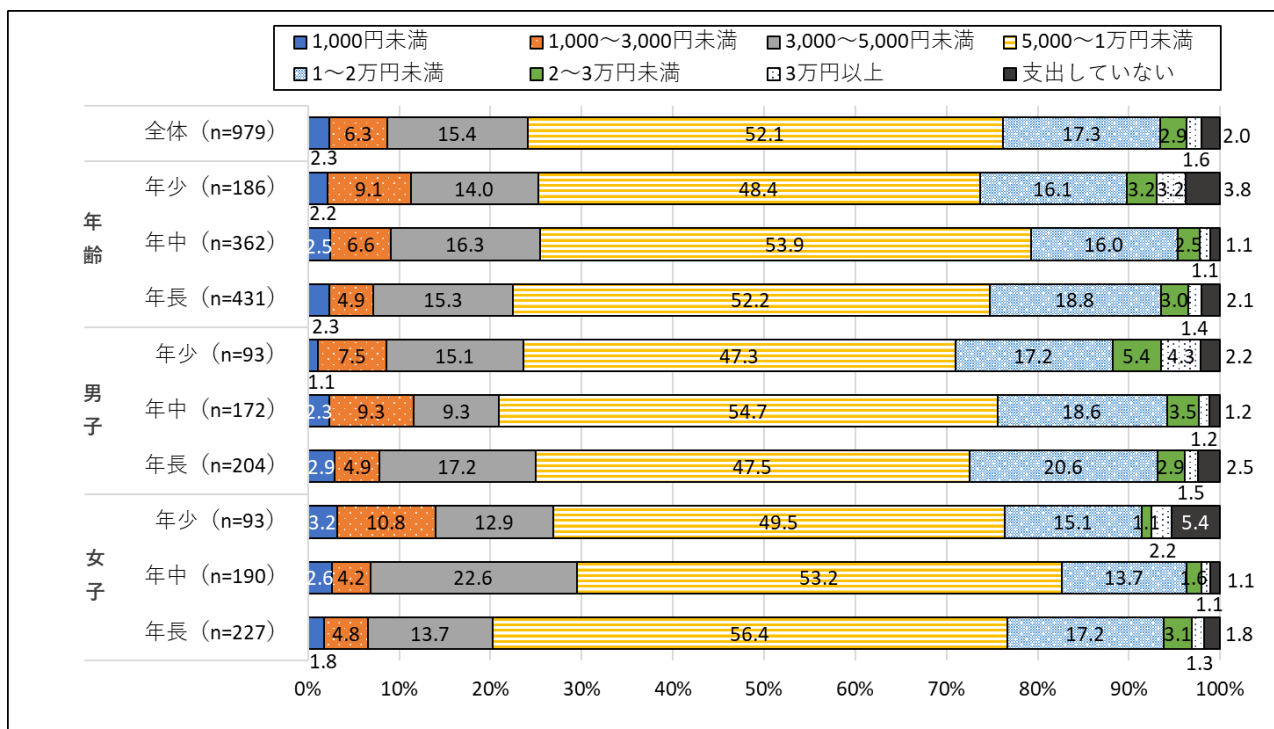
【ポイント】

- 運動・スポーツの習いごと関連の支出金額は、幼児1人あたり1ヵ月間平均「5,000～1万円未満」が最も多い(52.1%)

図5-1に運動・スポーツの習いごとにおける1ヵ月平均の支出（月謝・用具代・交通費など含む）を全体、年齢別、性別・年齢別に示した。全体では、「5,000～1万円未満」が最も高く52.1%、次いで「1～2万円未満」17.3%、「3,000～5,000円未満」15.4%であった。

年齢別にみると、いずれの年齢も「5,000～1万円未満」が最も高く、年少48.4%、年中53.9%、年長52.2%であり、年齢による違いはあまりみられない。

性別・年齢別でみると、「5,000～1万円未満」は男子では年少47.3%、年中54.7%、年長47.5%、女子では年少49.5%、年中53.2%、年長56.4%と、年少と年長では男子よりも女子の割合の方が高い。1万円以上支出している割合をみると、男子では年少26.9%、年中23.3%、年長25.0%、女子では年少18.3%、年中16.3%、年長21.6%であり、男子の年少が最も割合が高かった。



注1) 運動・スポーツ系の習いごと実施者のみ

注2) 過去1ヵ月、ケガや病気などで運動に支障があった幼児（n=241）は除外した（1週間以内で治るケガや風邪などは含まない）

注3) 回答した幼児1人あたりの1ヵ月あたりの支出金額

【図5-1】 運動・スポーツ系の習いごとへの支出（1ヵ月の平均）

6. 保護者の社会的ネットワーク

6-1. ママ友・パパ友の有無

【ポイント】

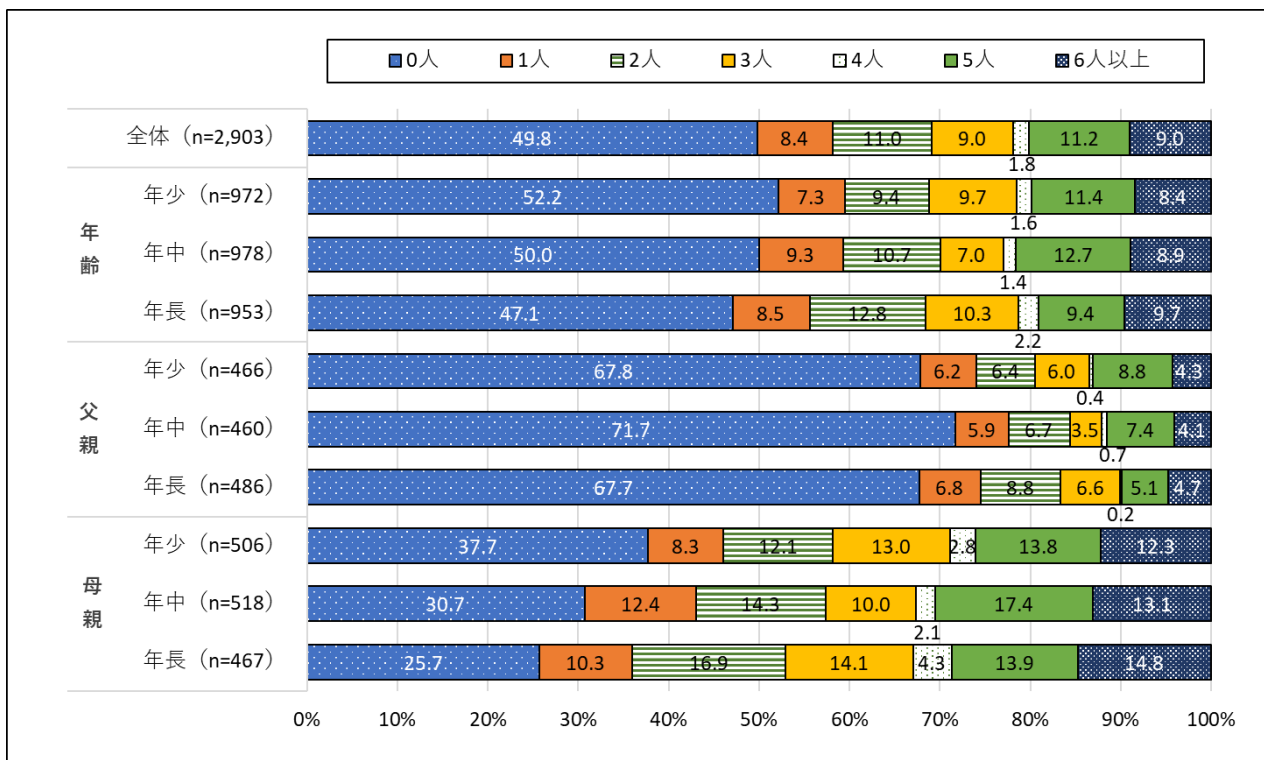
- 幼児を育てる父母の49.8%がママ友・パパ友がいない
- ママ友・パパ友がいない割合は、父親7割、母親3~4割

図6-1に子どもを通じて知り合った友達（ママ友・パパ友）の人数を全体、年齢別、父親・母親別に示した。「子どもを通じて知り合った友達（ママ友・パパ友）のうち、連絡をとったり気軽に話をしたりできる人はいますか」とたずね、おおよその人数について回答を求めた。

全体では「0人」が49.8%と最も高く、次いで「5人」11.2%、「2人」11.0%であった。年齢別にみると、いずれの年齢の親も「0人」が最も高く、年少52.2%、年中50.0%、年長47.1%であり、子どもの年齢が上がるにつれてその割合は低下する。

父親と母親の回答別にみると、「0人」は母親に比べて父親の割合が高く、年少では67.8%、年中では71.7%、年長では67.7%といずれも7割程度の父親が子どもを通じた友人がいない。一方、母親では「0人」の割合は年少37.7%、年中30.7%、年長25.7%であり、子どもの年齢が上がるにつれて低下する。また、「6人以上」の割合は、年少12.3%、年中13.1%、年長14.8%と子どもの年齢が上がるに従って高くなる。

このように、父親よりも母親の方が子どもを介して知り合った友人の数は多く、子どもの年齢が上がるにつれて親が築く社会的な繋がりも増加する傾向がみられた。



注1) ママ友・パパ友：子どもを通じて知り合った友達

注2) 過去1ヵ月、ケガや病気などで運動に支障があった幼児（n=241）は除外した（1週間以内で治るケガや風邪などは含まない）

【図6-1】子どもを通じて知り合った友達（ママ友・パパ友）の人数

6-2. 実際に交流のあるママ友・パパ友の有無

【ポイント】

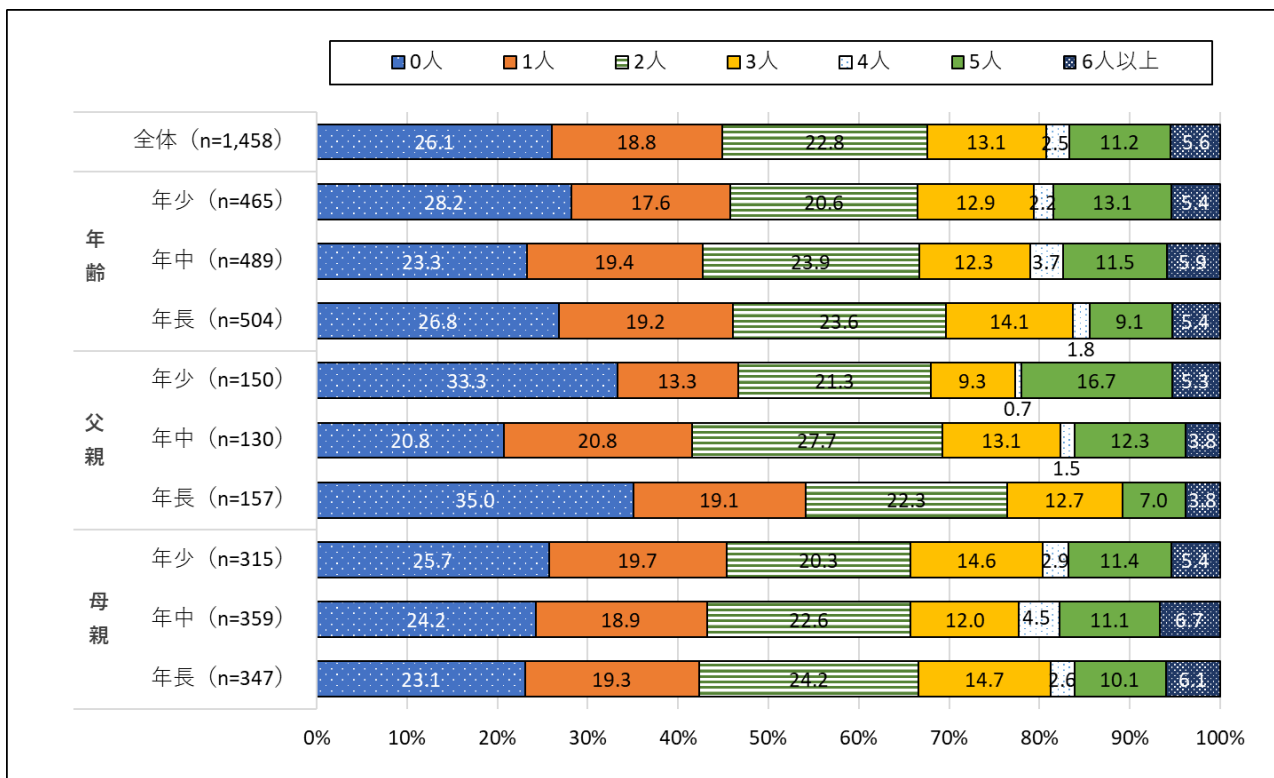
- ママ友・パパ友のいる父母のうち、26.1%が子どもを連れて一緒に遊ぶ友人がいない
- 子どもを連れて一緒に遊ぶ友人がいる割合は母親の方が父親よりも多く、また子どもの年齢が上がるにつれて交流を持つ友人の数が増える傾向

図6-2に交流のあるママ友・パパ友の人数を全体、年齢別、父親・母親別に示した。図6-1で示したママ友・パパ友がいると回答した父親と母親に対し、「子どもを連れて一緒に遊ぶ、公園に行く、食事をするなどの交流をしているママ友・パパ友は何人いますか」とたずねた。

全体では「0人」が26.1%と最も高く、一定数の親が子どもを通じて知り合うものの、実際に交流をする友人は限られているといえる。次いで、「2人」22.8%、「1人」18.8%となっている。

年齢別にみると、年少と年長の親で「0人」が最も高く、年少28.2%、年長26.8%であった。年中では「2人」23.9%が最も高く、年齢によって違いがみられた。

父親と母親の回答別にみると、年少と年長の父親では「0人」（年少33.3%、年長35.0%）と答える割合が年中の父親や母親に比べて高かった。また、ママ友・パパ友と一緒に遊んだり出かけたりする交流を行っているのは、母親の方が父親よりも多い傾向がみられるが、一定数の親は子どもを通じて知り合ったとしても、実際に交流を持つ友人がいない実態も明らかになった。



注1) ママ友・パパ友：子どもを通じて知り合った友達

注2) 交流：子どもを連れて一緒に遊ぶ、公園に行く、食事をするなどの活動

注3) 過去1ヵ月、ケガや病気などで運動に支障があった幼児 (n=241) は除外した (1週間以内で治るケガや風邪などは含まない)

【図6-2】実際に交流のあるママ友・パパ友の人数

7. トピック1：幼児の運動実施と生活環境との関連

名城大学 農学部／大学院 総合学術研究科
准教授 香村 恵介

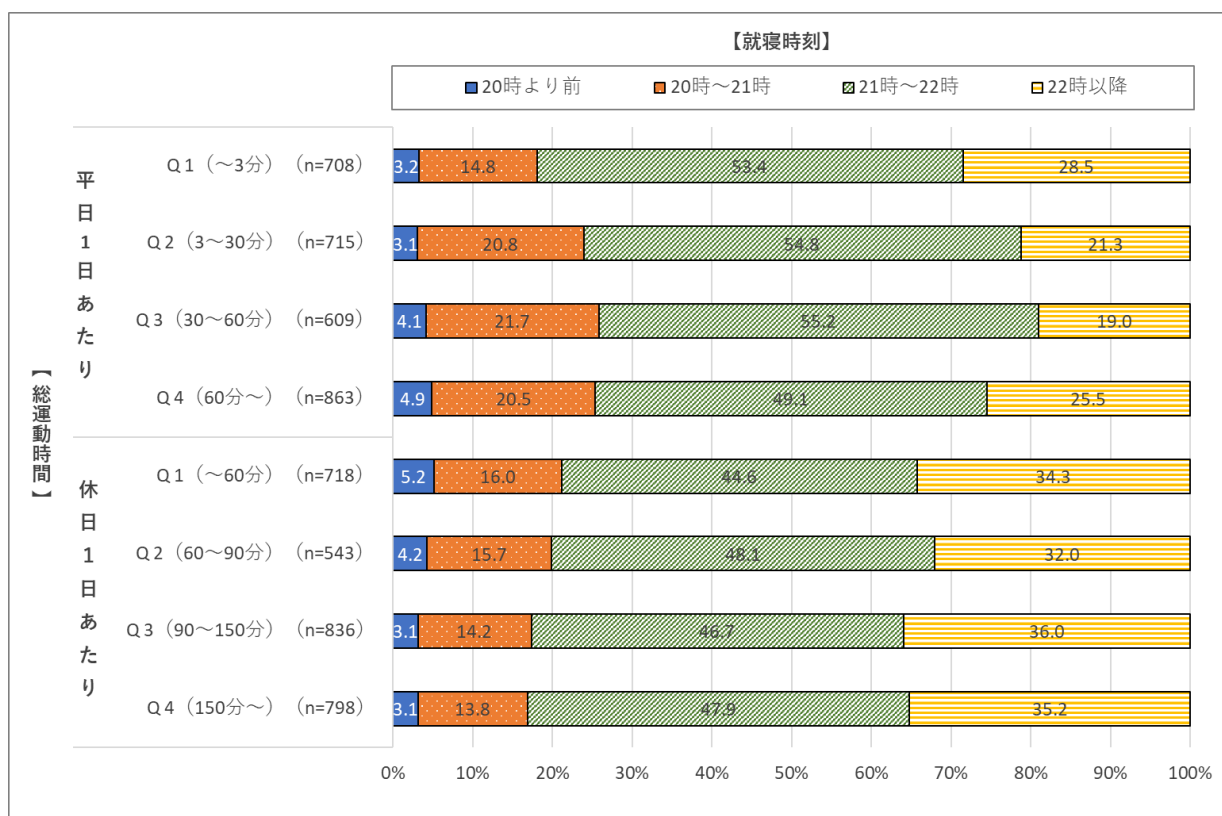
7-1. 幼児の総運動時間と就寝時刻の関連

【ポイント】

- 平日に園外で体を動かす遊びや運動をほとんどしない幼児は、就寝時刻が22時以降の割合が高い
- 休日の体を動かす遊びや運動時間は、就寝時刻に関連しない

図7-1に幼児の総運動時間別にみた就寝時刻を平日・休日別に示した。園外での総運動時間と就寝時刻の間に、平日のみ有意な関連が認められた。残差分析（Holm法）*の結果、平日の園外での総運動時間が1日3分未満と短い幼児は、20時～21時に就寝する割合が有意に少なく、22時以降に就寝する割合が有意に高かった。また、平日1日あたり30分～60分の総運動時間がある幼児は、22時以降に就寝する割合が有意に低かった。休日には園外での総運動時間と就寝時刻の間に有意な関連は認められなかった。

平日に園外でほとんど体を動かさないことは、遅い就寝時刻に影響する可能性も考えられるが、今後、縦断的な調査で因果関係を確認する必要がある。



*残差分析（Holm法）：複数のグループを比較する場合に、偶然起きた差ではなく意味のある差を見つけ出すための手法

注1) Q1～Q4は、四分位数を基にしたグループを意味する

注2) カイ二乗検定：平日 ($\chi^2=33.54, df=9, p<0.01$)、休日 ($\chi^2=10.13, df=9, p=0.3398$)、残差分析（Holm法）

【図7-1】 幼児の園外での総運動時間別の就寝時刻

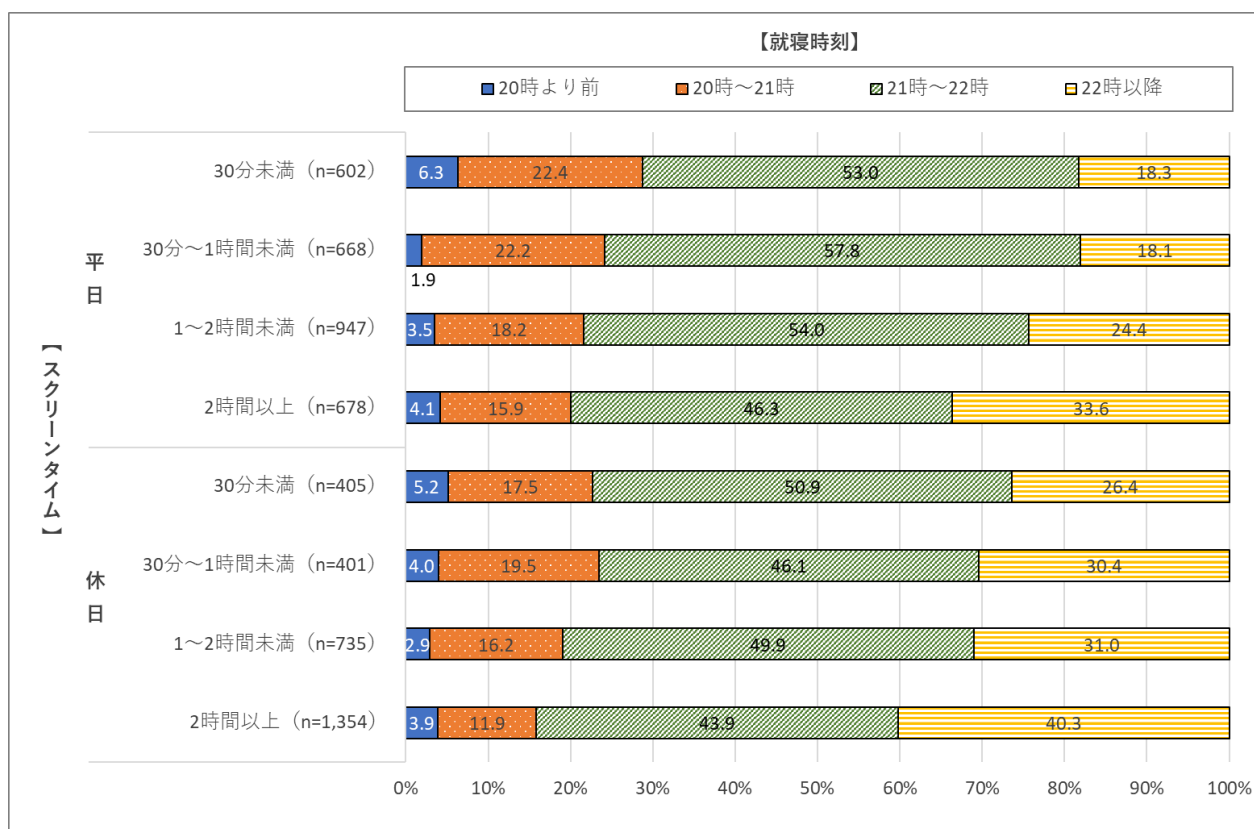
7-2. 幼児のスクリーンタイムと就寝時刻の関連

【ポイント】

- 平日、休日ともにスクリーンタイムが1日2時間以上の幼児は、就寝時刻が22時以降の割合が高い
- 平日のスクリーンタイムが1日1時間未満の幼児は、就寝時刻が22時以降である割合が低い

図7-2にスクリーンタイム別の就寝時刻を平日・休日別に示した。スクリーンタイムと就寝時刻の間に平日、休日ともに有意な関連が認められた。残差分析（Holm法）*の結果、平日のスクリーンタイムが1日1時間未満の幼児は、22時以降に就寝する割合が有意に低く、1日2時間以上の幼児は22時以降に就寝する割合が有意に高かった。休日は、スクリーンタイムが1日30分未満の幼児は22時以降に就寝する割合が有意に低く、1日2時間以上の幼児は、平日同様に、22時以降に就寝する割合が有意に高かった。

平日、休日ともにスクリーンタイムが2時間以上になると、就寝時刻が遅くなる可能性がある。一方で、平日のスクリーンタイムを1時間未満にすることは、就寝時刻が遅くならない生活への改善に貢献するかもしれない。今後、縦断的な調査で因果関係を検討していく必要がある。



*残差分析（Holm法）：複数のグループを比較する場合に、偶然起きた差ではなく意味のある差を見つけ出すための手法

注1）カイ二乗検定：平日（ $\chi^2=76.84$, $df=9$, $p<0.01$ ）、休日（ $\chi^2=47.91$, $df=9$, $p<0.01$ ）、残差分析（Holm法）

【図7-2】スクリーンタイム別の就寝時刻

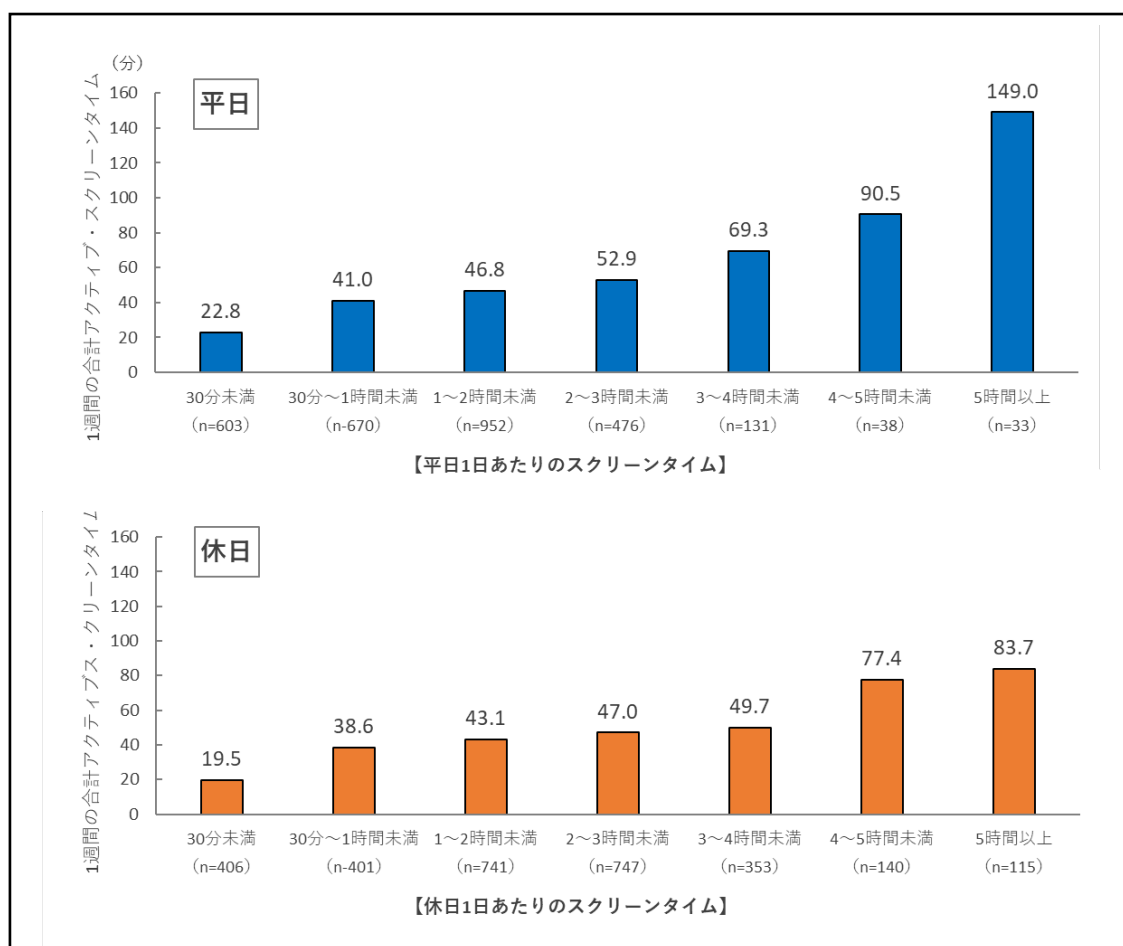
7-3. 幼児のスクリーンタイムとアクティブ・スクリーンタイムの関連

【ポイント】

- 1日あたりのスクリーンタイムが30分未満の幼児は、アクティブ・スクリーンタイムも短い
- 1日あたりのスクリーンタイムが5時間以上の幼児は、アクティブ・スクリーンタイムも長い

室内でゲーム機やテレビ、動画をみながら体を動かす運動をアクティブ・スクリーンタイムとし、**図7-3**に幼児の平日・休日のスクリーンタイム別にみたアクティブ・スクリーンタイムを示した。平日は、スクリーンタイム30分未満の群が1時間以上の群と比較してアクティブ・スクリーンタイムが有意に短く、5時間以上の群は、4時間未満の群と比較して有意に長かった。休日は、スクリーンタイム30分未満の群が2時間以上の群と比較してアクティブ・スクリーンタイムが有意に短く、5時間以上の群は、1時間未満の群と比較して有意に長かった。

室内でゲーム機やテレビ、動画をみながら体を動かす時間は、室内・屋内で体を動かす時間の約28%を占めるが、長いスクリーンタイムにつながる可能性に注意する必要がある。



注1) アクティブ・スクリーンタイム：室内でゲーム機やテレビ、動画をみながら体を動かす運動（例：Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTube）

注2) 一要因分散分析：平日 (F(6, 2896)= 7.378, p<0.01)、休日 (F(6, 2896)= 5.275, p<0.01)

多重比較 (Holm 法)：スクリーンタイム平日 30分未満 < 1時間以上、スクリーンタイム平日 5時間以上 > 4時間未満、スクリーンタイム休日 30分未満 < 2時間以上、スクリーンタイム休日 5時間以上 > 1時間未満

【図7-3】 幼児のスクリーンタイム別にみたアクティブ・スクリーンタイム

7-4. 運動・スポーツの習いごとと幼児の運動実施状況

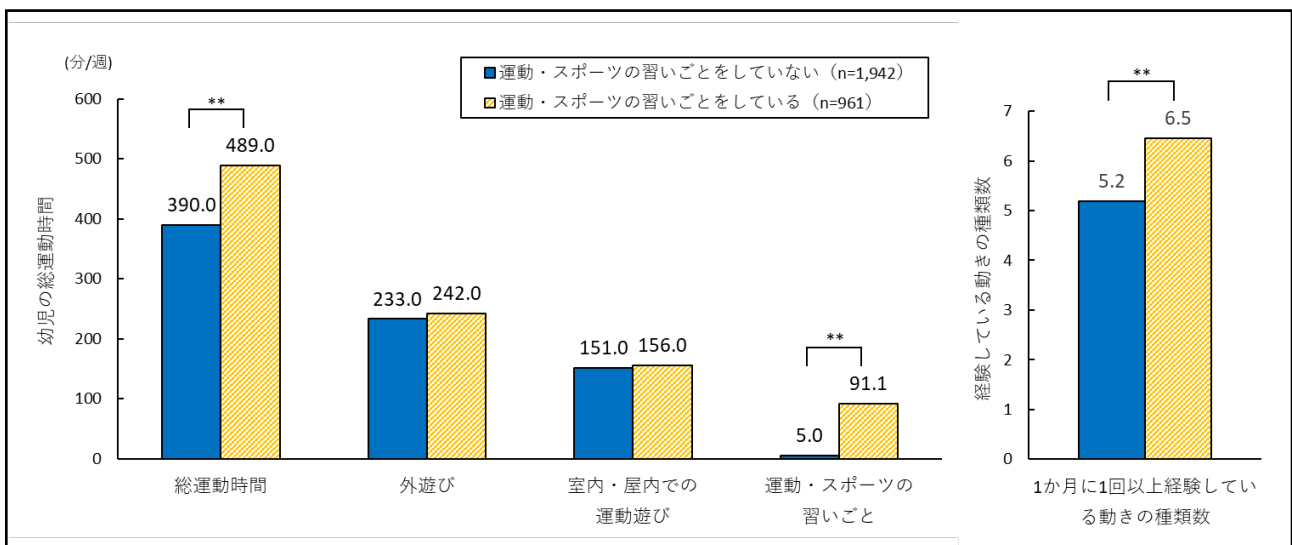
【ポイント】

- 運動・スポーツの習いごとをしている幼児は、園外での1週間の総運動時間が約100分長く、1か月に1回以上経験している動きの種類が平均1.3種類多い

運動・スポーツの習いごとをしている幼児としていない幼児の運動実施状況を比較するため、**図 7-4** に総運動時間と経験している動きの種類数、**図 7-5** に1か月に1回以上経験している動きの種類を示した。

運動・スポーツの習いごとは、幼児の3人に1人(33.1%) (**図 2-11**, p33) が行っており、幼児の総運動時間や経験する動きの種類にもポジティブな影響を与えていた。特に、運動・スポーツの習いごとをしている幼児で「水に潜る遊び」を経験している割合が高かった理由として、習いごと実施者の約半数が水泳(スイミング)を習っていることが影響していると考えられる。運動・スポーツの習いごとをしている幼児は、経験している動きの種類が全体的に多いが、「打つ遊び」、「押す引く遊び」、「逆さになる遊び」は習いごとの有無にかかわらず経験が少ない傾向がみられた。

一方、運動・スポーツの習いごとをしている幼児が経験している動きの種類は、習いごとをしていない幼児と比較しても平均1.3種類多いのみであり、習いごとで経験できる動きの種類は限られている状況がうかがえる。多様な動きの経験が推奨される幼児期の運動・スポーツでは、特定の動きに限らず、様々な動きの経験ができる環境が必要であろう。

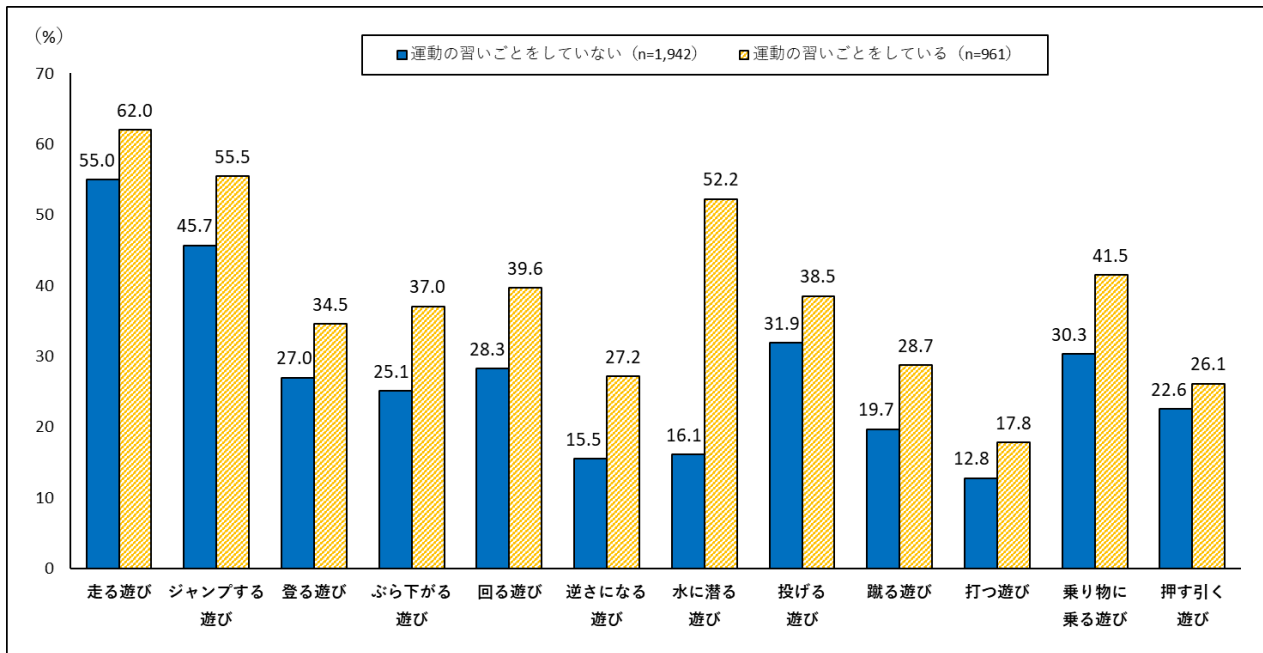


注1) 値は共分散分析の調整平均(共変量:子どもの性別、年齢、就園状況、きょうだい人数、世帯年収、親の学歴、親のスポーツ実施頻度)

注2) 運動・スポーツの習いごとをしていない群の本来の時間は0分であるが、共変量が運動・スポーツの習いごとの時間に与える平均的な影響を考慮に入れた調整平均を示しているため、0分とはなっていない

注3) **: p<0.01

【図 7-4】 運動・スポーツの習いごとをしている幼児としていない幼児の園外での運動実施状況



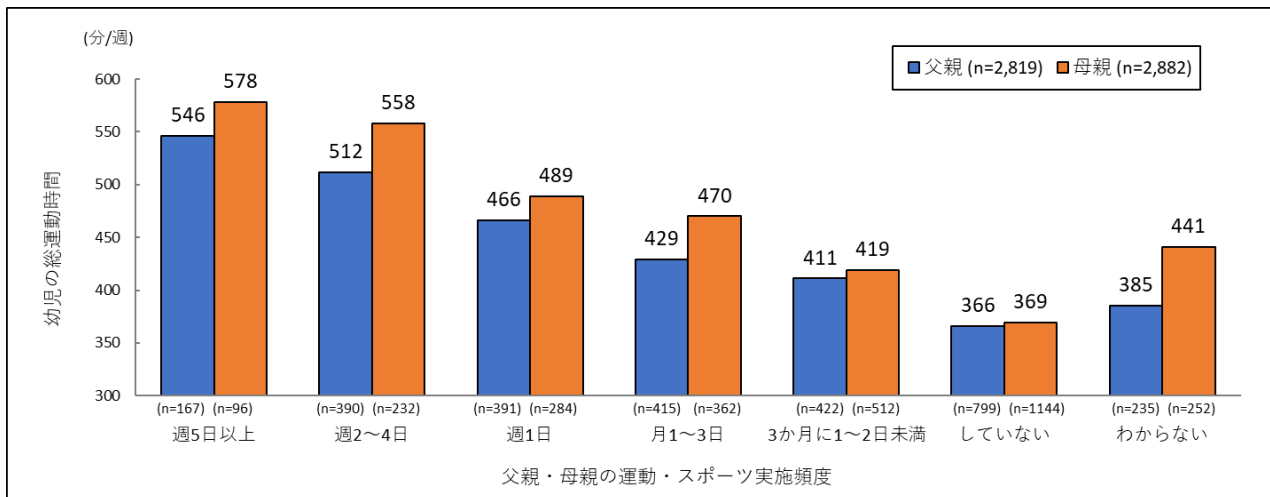
【図 7-5】 園外で1 ヶ月に1 回以上経験している動きの種類

7-5. 両親の運動・スポーツ実施頻度と幼児の総運動時間の関連

【ポイント】

- 両親ともに週1回以上の運動・スポーツを行っている家庭の幼児は、園外での総運動時間が長い

図 7-6 に父親および母親の運動・スポーツ実施頻度別にみた幼児の総運動時間を示した。幼児の総運動時間は「週 5 日以上」が最も多く、父親の場合は平均 546 分、母親の場合は平均 578 分であった。次いで「週 2~4 日」であり、父親の場合は平均 512 分、母親の場合は平均 558 分となる。一方、「していない」では父親の場合は平均 366 分、母親の場合は平均 369 分であった。父母の運動頻度が高い家庭の幼児ほど総運動時間も長く、父母が運動しない家庭の幼児は総運動時間が顕著に短くなる傾向がみられた。幼児の就園状況や習いごとの有無、世帯年収などの社会経済的な要因を統計的に調整しても、父親や母親の運動・スポーツ実施頻度が高いほど、その家庭の幼児の総運動時間が長い傾向がみられた。



注 1) 値は共分散分析の調整平均 (共変量: 子どもの性別、年齢、就園状況、きょうだい人数、世帯年収、親の学歴、運動・スポーツの習いごと)

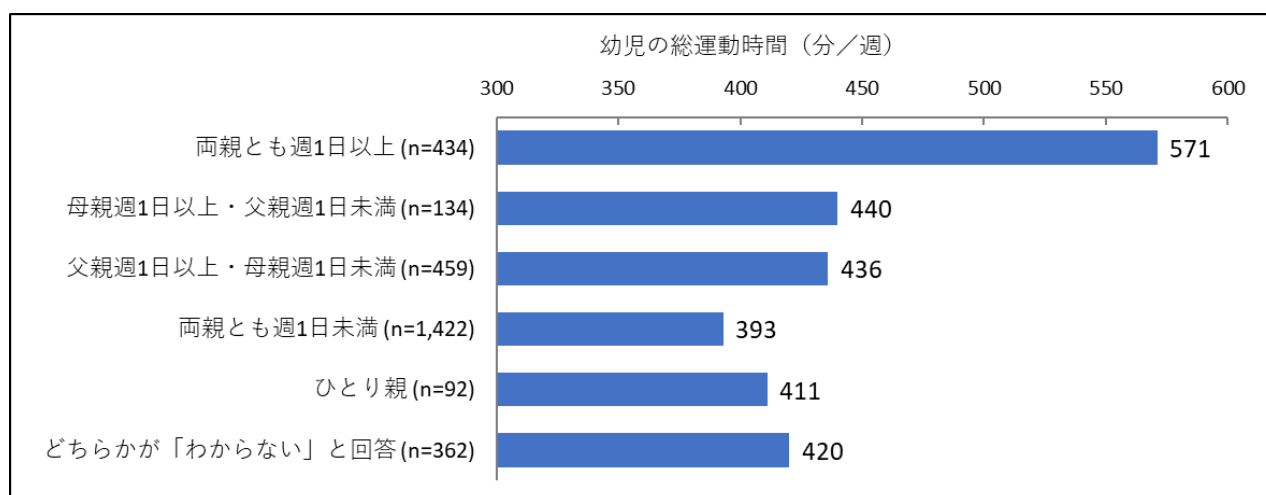
注 2) 多重比較 (父親): 週 5 日以上 > 月 1~3 日、3 か月に 1~2 日未満、していない、わからない; 週 2~4 日 > 月 1~3 日、3 か月に 1~2 日未満、していない、わからない; 週 1 日 > していない

注 3) 多重比較 (母親): 週 5 日以上 > 3 か月に 1~2 日未満、していない、わからない; 週 2~4 日 > 月 1~3 日、3 か月に 1~2 日未満、していない、わからない; 週 1 日 > していない

【図 7-6】 父親および母親の運動・スポーツ実施頻度と幼児の園外での総運動時間

また、**図 7-7** に示した両親の運動・スポーツ実施頻度と幼児の総運動時間との関連をみると、両親ともに週 1 日以上の運動・スポーツ実施頻度がある家庭の幼児の総運動時間が長かった。ひとり親世帯の幼児は、親の運動・スポーツ実施頻度にかかわらず、両親ともに週 1 日未満の家庭と同水準の総運動時間であった。

両親のどちらかだけでなく、両親ともに週 1 日以上の運動・スポーツ習慣をもつことができるような環境の整備やサポート体制は、幼児の運動時間の増加につながる重要な要因となる可能性がある。



注1) 値は共分散分析の調整平均 (共変量: 子どもの性別、年齢、就園状況、きょうだい人数、世帯年収、親の学歴、運動・スポーツの習いごと)

注2) 多重比較: 両親とも週 1 日以上 > 母親週 1 日以上・父親週 1 日未満、父親週 1 日以上・母親週 1 日未満、両親とも週 1 日未満、どちらかが「わからない」と回答

【図 7-7】 両親の運動・スポーツ実施頻度と幼児の園外での総運動時間

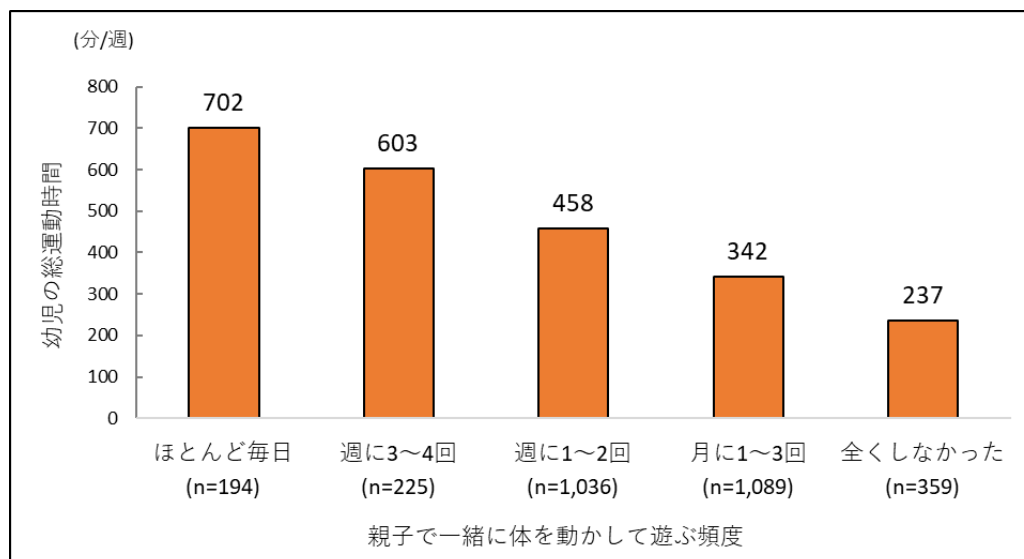
7-6. 親子で一緒に体を動かして遊ぶ頻度と幼児の総運動時間の関連

【ポイント】

- 親子で一緒に体を動かして遊ぶ頻度が多いほど、幼児の園外での総運動時間が長い

図7-8に親子で一緒に体を動かして遊ぶ頻度別にみた幼児の園外での総運動時間を示した。幼児の年齢や就園状況、世帯年収や親のスポーツ実施頻度にかかわらず、親子で一緒に体を動かして遊ぶ頻度が多ければ多いほど、幼児の園外での総運動時間が長かった。全てのカテゴリー間で統計的に有意な差が認められ、親子で一緒に体を動かす機会の重要性が確認された。

一律に高い目標を目指すのではなく、現状よりも少しでも良いので、子どもと一緒に体を動かす機会をつくることで、子どもの運動時間に良い影響がある可能性が示唆された。家庭への啓発だけではなく、社会全体で親子が体を動かす機会を確保できるような環境や子育て世帯へのサポートが必要である。



注1) 値は共分散分析の調整平均 (共変量: 子どもの性別、年齢、就園状況、きょうだい人数、世帯年収、親の学歴、親のスポーツ実施頻度)

注2) 多重比較: ほとんど毎日 > 週に3~4回 > 週に1~2回 > 月に1~3回 > 全くしなかった

【図7-8】親子で一緒に体を動かして遊ぶ頻度と幼児の園外での総運動時間

7-7. きょうだいの人数と幼児の総運動時間の関連

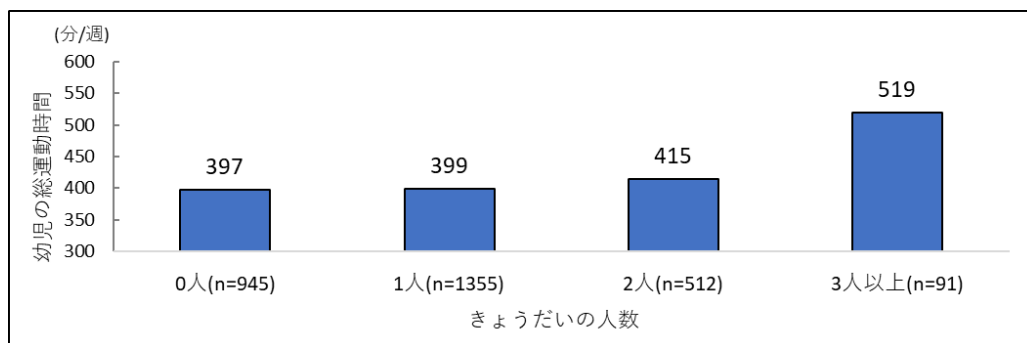
【ポイント】

- きょうだいの人数が3人(4人きょうだい)以上の幼児は、園外での総運動時間が長い

図7-9にきょうだいの人数別にみた幼児の園外での総運動時間を示した。きょうだい数が3人以上いる「4人きょうだい」以上の幼児は、他のきょうだい人数の幼児よりも園外での総運動時間が長かった。これらの関連は、幼児の就園状況や家庭の社会経済的な要因を統計的に調整しても認められた。

図7-10に示した年上・年下のきょうだいの有無別に幼児の園外での総運動時間をみたところ、年上のきょうだいがいるか、年下のきょうだいがいるかは、総運動時間に関連しなかった。4人以上の子どもを産み育てる家庭の特性が、幼児の運動に影響している可能性が考えられる。例えば、きょうだいの人数が多い家庭ほど、子どもを連れて一緒に遊ぶママ友・パパ友が3人以上いる割合も多い(きょうだい人数0人:12.2%、1人:16.1%、2人:22.1%、3人以上:28.6%)。しかしながら、この要因を加えて調整しても、同様の結果が得られた。

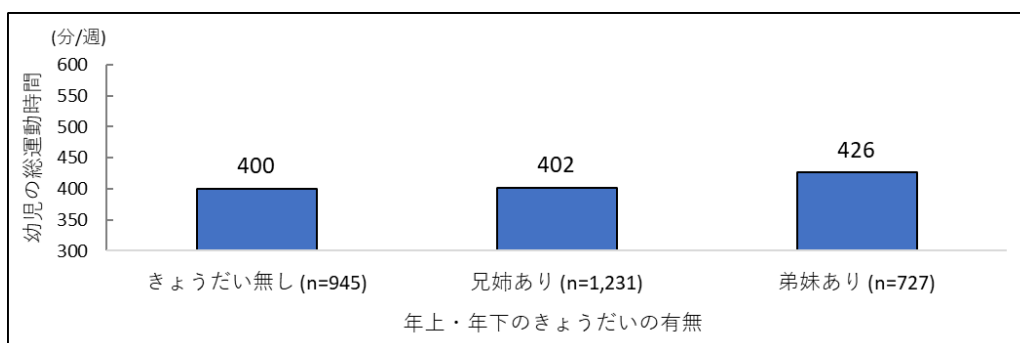
きょうだいの人数は変えられない要因ではあるが、園外でも多数の子どもが互いに交流する環境の構築は可能であり、「一緒に体を動かす仲間」の存在が重要な役割を果たす可能性が示唆された。



注1) 値は共分散分析の調整平均(共変量:子どもの性別、年齢、就園状況、世帯年収、親の学歴、親のスポーツ実施頻度)

注2) 多重比較:3人以上 > 0人、1人

【図7-9】きょうだいの人数と幼児の園外での総運動時間



注1) 値は共分散分析の調整平均(共変量:子どもの性別、年齢、就園状況、世帯年収、親の学歴、親のスポーツ実施頻度)

注2) 共分散分析:p=0.722

【図7-10】年上・年下のきょうだいと幼児の園外での総運動時間

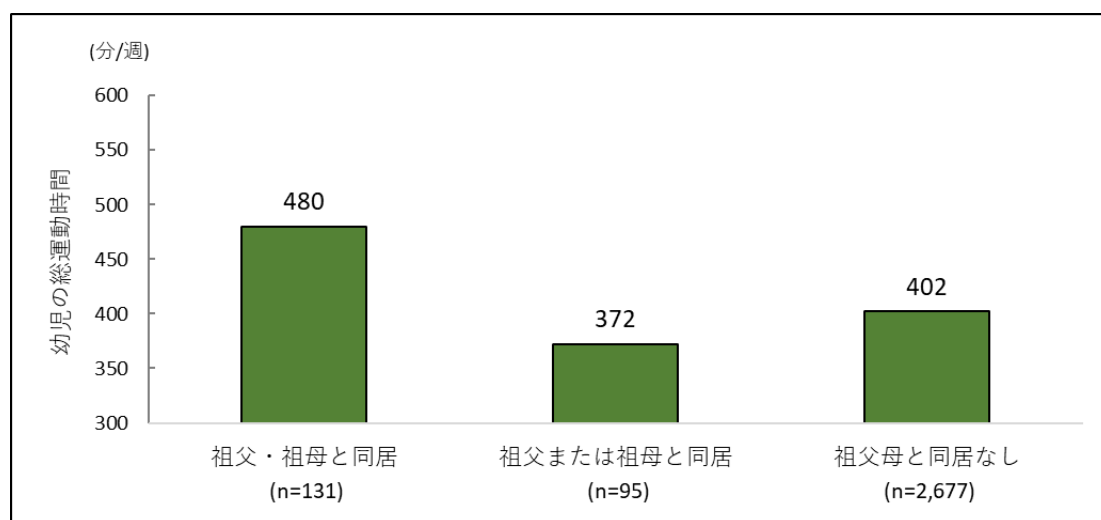
7-8. 祖父母との同居と子どもの総運動時間の関連

【ポイント】

- 祖父母と同居している家庭の幼児は、週あたりの園外での総運動時間が長い

図7-11に祖父母との同居有無別にみた幼児の園外での総運動時間を示した。祖父および祖母の両方と同居している家庭は全体の4.5%、祖父または祖母のどちらか一方と同居している家庭は3.3%、祖父母と同居していない家庭は92.2%と大半を占めた。このうち、祖父母と同居している家庭の幼児は、同居していない家庭の幼児よりも、園外での総運動時間が有意に長かった。これらの関係性は、子どもの就園状況や世帯年収などを調整しても確認された。つまり、子どもが保育園や幼稚園に通っているかどうか、世帯年収がどのくらいかといった影響を考慮しても、祖父母との同居と子どもの総運動時間の関係は変わらず、祖父母と同居している家庭の幼児のほうが園外での総運動時間は長いといえる。

祖父母と同居する家庭では、子どもの周りに大人が多く存在し、これが子どもの運動実施にポジティブな影響を与える可能性がある。本調査では、祖父母の存在が子どもの運動実施に具体的にどのような影響しているかの特定はできないが、子どもと関わる大人が多い環境が幼児の運動実施に良い影響を及ぼす可能性が示唆された。



注1) 値は共分散分析の調整平均 (共変量: 子どもの性別、年齢、就園状況、きょうだい人数、世帯年収、親の学歴、親のスポーツ実施頻度)

注2) 多重比較: 祖父・祖母と同居 > 祖父母と同居なし

【図7-11】 祖父母との同居と幼児の園外での総運動時間

7-9. まとめ

本章では、幼児の園以外での運動実施状況が、生活習慣や生活環境とどのように関連しているかを検討した。

その結果、平日に園以外の時間でほとんど体を動かさない幼児、またスクリーンタイムが1日2時間以上の幼児は、就寝時刻が遅い傾向にあることが明らかになった。また、平日のスクリーンタイムが1時間未満である幼児は、就寝時刻が22時以降になる割合が低かった。子どもの生活習慣について、2006年から「早寝早起き朝ごはん」が国ベースで推奨され（文部科学省, 2006）、大人になった時の資質・能力にも良い影響があることが報告されている（「早寝早起き朝ごはん」全国協議会, 2021）。特に「早く寝ること」は、早く起きることにつながり、朝食を食べるゆとりにもつながる可能性があるため、重要な習慣といえる。本調査は横断的調査であるため、因果関係には言及できないが、調査結果から「平日に園外で少しでも体を動かし、スクリーンタイムは1時間未満にする」、「休日のスクリーンタイムは2時間以内に作る」といった取り組みは、幼児の就寝時刻が遅くならないために有効かもしれない。

園外での運動実施時間が長い幼児に関連する要因として、就園状況や世帯収入などの社会経済的な指標を統計的に調整しても、「運動・スポーツの習いごとをしている」、「父親・母親がともに週に1回以上運動やスポーツを行う習慣を有している」、「親子で一緒に体を動かす頻度が多い」、「4人きょうだい以上である」、「祖父母と同居している」が示された。つまり、保育園や幼稚園に通っているかどうかや世帯年収といった園環境や家庭の経済状況の問題だけでなく、家庭での運動習慣や家族構成といった家庭環境が、園外で幼児がどれだけ体を動かすのに関わっているといえる。

きょうだいの多さや祖父母との同居はコントロールできない要因ではあるが、たくさん子ども同士が集まって体を動かしやすい環境をつくったり、子育て世帯をサポートしたりする対策は可能である。また、運動・スポーツ実施率が最も低い子育て世代が、両親ともに運動習慣をもち、子どもと一緒に体を動かす時間を少しでも確保できるような取り組みは、幼児の運動を促進する上でも重要であることが示唆された。

8. トピック2：幼児の運動実施状況・生活習慣と情緒・行動特性との関連

福岡女子大学 国際文理学部

教授 長野 真弓

社会環境の急速な変化や Covid-19 の感染拡大を経て、子どもが自由に体を動かす遊びの環境は悪化の一途を辿っている。日本学術会議報告書「日本の子どものヘルスプロモーション」では、運動の機会の減少によって、子どもの体力や身体的健康はもとより、自由に体を動かす遊びの中で育まれる社会性、コミュニケーション能力、安定した情緒など、心の健康や社会活動に必要な不可欠な資質の獲得も困難になったことを憂慮する記述が随所にみられる。

このように、幼児期の運動は身体の発育・発達や体力・運動能力のみならず、上述した「心理社会的発達」にも関与すると考えられてきたが、そもそもこのような特性は体力のように実測できるものではない。そのため「幼児期の運動が、身体的発育や体力・運動能力以外の何に貢献しているのか」を説明する材料は不足している。さらに、Covid-19 の感染拡大を経て生活様式が大きく変化した現在においても、度重なる行動制限を親共々経験した幼児の心理社会的発達や生活習慣の実態は把握できていない。

よって本章では、前章までの分析内容を踏まえ、幼児の園外での運動実施状況・生活習慣と、心理社会的発達を反映する情緒・行動特性との関連を検討した。

8-1. 情緒・行動特性の尺度の概要および属性別の基礎統計

【ポイント】

- 幼児の情緒・行動特性の指標として、「子どもの強さと困難さアンケート」(Strength and Difficulties Questionnaire:SDQ)日本語版の親評定の得点を使用
- 困難さを示す下位尺度得点は男子が女子より高い一方、向社会的行動は女子の方が強い傾向
- SDQ得点を用いた解析では、回答者の性別を調整する必要あり

幼児の心理社会的発達は、日常生活における感情表出や行動（精神症状）、他者との関係性に加え、援助・分配・譲渡など、人のためになろうとする自発的行為である「向社会的行動」などの情緒・行動特性に表れる。本調査における幼児の情緒・行動特性の評価には、信頼性と妥当性が検証された国際標準ツールである「子どもの強さと困難さアンケート」(Strength and Difficulties Questionnaire:SDQ)日本語版を用い、親の回答を解析に使用した。

表8-1に、SDQを構成する5つの側面（下位尺度）とその質問項目、および得点の計算方法を示した。SDQは、2～18歳までの情緒・行動特性を25項目の質問でたずねるアンケートで、①情緒の問題、②行為の問題、③多動・不注意、④仲間関係の問題の4つの「困難さ」をそれぞれ得点化し、これらの合計得点から「総合的な困難さ」が把握できる。つまり、これらの尺度得点が高いほど、日常生活における適応がしづらい状況を示す。加えて、SDQは、援助・分配・譲渡など、人のためになろうとする自発的行為である「向社会的行動の強さ」、いわゆる「強み」を評価する尺度も含んでおり、この得点が高いほど日常生活に適応しやすい状況であるといえる。

【表 8-1】SDQ の下位尺度・質問項目と得点計算方法

配点 （各下位尺度の最高点：10点）		0点：あてはまらない, 1点：ややあてはまる, 2点：あてはまる ★：逆転項目
総合的な困難さ (Total Difficulties Score) ※4つの下位尺度得点の合計点 ※高得点ほど日常生活への適応がしづらい	情緒の問題 (Emotional Symptoms)	Q3. 頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうったえる Q8. 心配ごとが多く、いつも不安なようだ Q13. おちこんでしずんでいたたり、涙ぐんでいたりする事がよくある Q16. 目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす Q24. こわがりで、すぐにおびえたりする
	行為の問題 (Conduct Problem)	Q5. カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある ★Q7. 素直で、だいたいは大人の言うことをよくきく Q12. よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする Q18. よく大人に対して口答えする／よくうそをついたり、ごまかしたりする Q22. 他の人に対していじわるをする／家や学校、その他から物を盗んだりする
	多動・不注意 (Hyperactivity/inattention)	Q2. おちつきがなく、長い間じっとしていられない Q10. いつもそわそわしたり、もじもじしている Q15. すぐに気が散りやすく、注意を集中できない ★Q21. よく考えてから行動する ★Q25. ものごとを最後までやりとげ、集中力もある
	仲間関係の問題 (Peer Problem)	Q6. 一人であるのが好きで、一人で遊ぶことが多い ★Q11. 仲のよい友だちがすくなくとも一人はいる ★Q14. 他の子どもたちから、だいたいは好かれているようだ Q19. 他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする Q23. 他の子どもたちより、大人という方がうまいくようだ
向社会的行動の強さ (Prosocial Behavior) ※高得点ほど日常生活へ適応しやすい	Q1. 他人の気持ちをよく気遣う Q4. 他の子どもたちと、よく分けあう（おやつ・おもちゃ・鉛筆など） Q9. 誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、いやな思いをしているときなど、すすんで助ける Q17. 年下の子どもたちに対してやさしい Q20. 自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたちなど）	

注1) Q18：よく大人に対して口答えする（2～4歳用）／よくうそをついたり、ごまかしたりする（4～17歳用）

注2) Q22：他の人に対していじわるをする（2～4歳用）／家や学校、その他から物を盗んだりする（4～17歳用）

注3) 実査時点での幼児の年齢に基づき、3～4歳はSDQ日本語版の「2～4歳児用」、5～6歳は「4～17歳児用」を適用

続いて、表 8-2 に、本研究の対象となった幼児の尺度得点の記述統計を示した。図 8-1 および図 8-2 には、「困難さ」と「強み」それぞれの尺度得点の分布も性別に示した。「行為の問題」、「多動・不注意」および「総合的な困難さ」の得点は、男女ともに年齢が高いほど低く、「向社会的行動の強さ」は、年齢が高いほど高かった。さらに、「情緒の問題」を除く全ての困難さの得点は男子の方が高く、「向社会的行動の強さ」の得点は女子の方が高いという性差が認められた。

これらの結果は、Covid-19 の感染拡大前に年中児を対象として実施された飯田ら（2014）の報告と一致するものであるが、その一方で「困難さ」の得点が上記報告より総じて本調査の方が高く、「強み」の得点は低い傾向が認められた。原因を探る過程で、インターネットを介した本調査の回答者の 48.5% が父親（図 1-1, p15）であったことに着目し、回答者の性別で幼児の SDQ 得点を比較したと

ころ、父親の方が母親より有意に厳しい評価をしていたことが判明した。飯田ら（2014）の調査では回答者の性別は示されていないが、園を介した調査では、母親の回答の割合が高かった可能性が考えられる。

さらに、2020年からのCovid-19の感染拡大に伴う自粛生活が本研究の幼児の情緒・行動特性に影響した可能性も否定できない。あくまで推測の域を出ないが、これらが両調査の得点差に反映されたかもしれない。よって、これ以降の分析では、他者からは変えることができない幼児の年齢・性別・きょうだいの数・就園状況・世帯年収・親の学歴に加え、SDQ得点に影響していた回答者の性別も統計的に考慮した。幼児期の発達個人差には、年齢、性別、遺伝などの個人内要因と、家庭環境や教育などの成育環境要因が関わると考えられるため、これらの要因の影響を統計処理で取り除くことによって、運動が単独で子どもの情緒・行動特性と関連するか否かを明らかにできる。

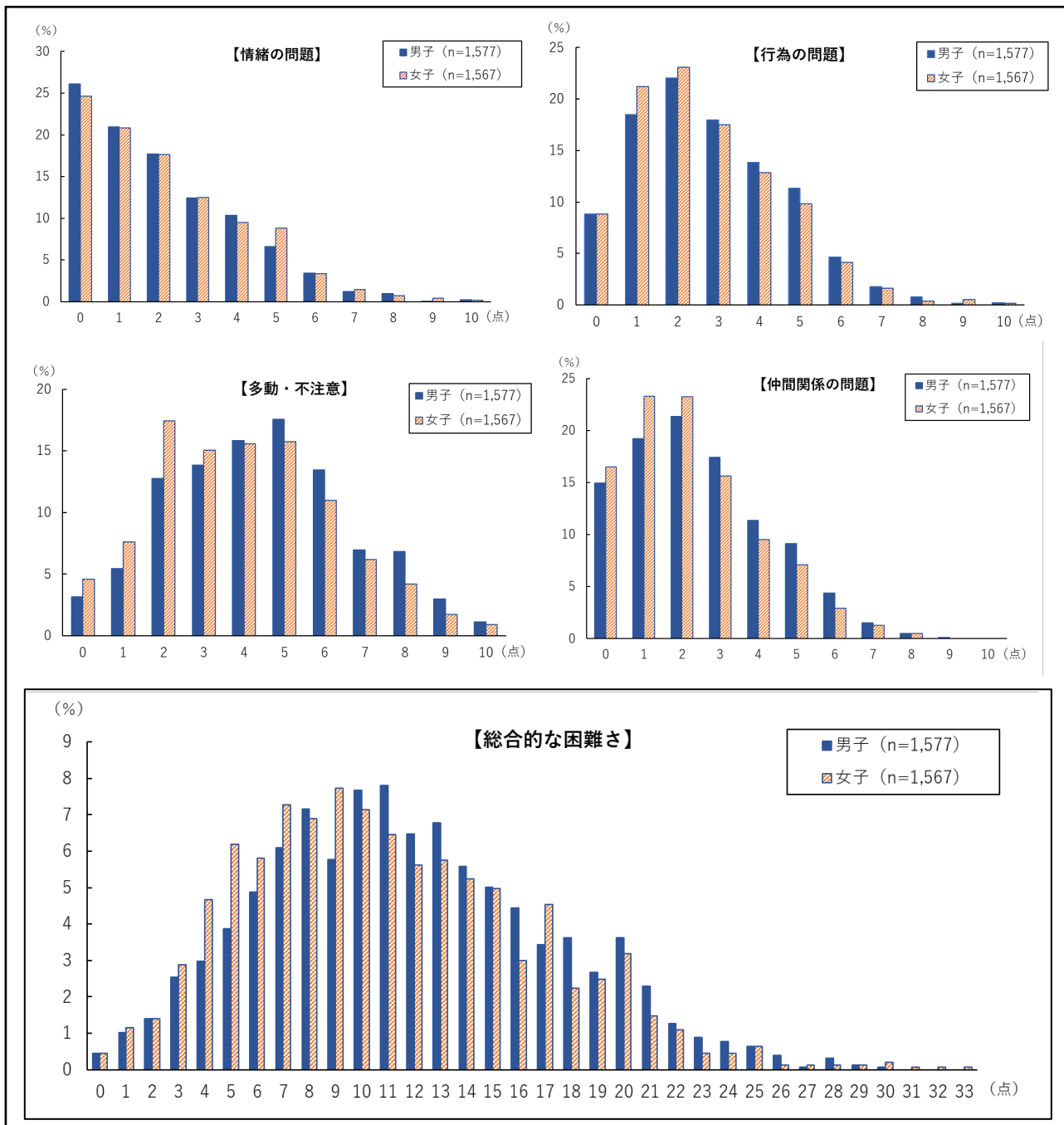
【表 8-2】性・年齢別にみた幼児の SDQ 得点

		男子 (n=1577)								女子 (n=1567)								性別比較 b)
		度数	平均値	中央値	標準偏差	標準誤差	パーセンタイル		学年比較 a)	度数	平均値	中央値	標準偏差	標準誤差	パーセンタイル		学年比較 a)	
							25	75							25	75		
情緒の問題	全体	1577	2.1	2.0	1.9	0.0	0.0	3.0		1567	2.2	2.0	2.0	0.1	1.0	3.0		
	年少	525	2.1	2.0	1.9	0.1	1.0	3.0		528	2.1	2.0	2.0	0.1	1.0	3.0		
	年中	534	2.1	2.0	2.0	0.1	0.0	3.0	n.s.	526	2.2	2.0	2.1	0.1	0.0	4.0	n.s.	n.s.
	年長	518	2.1	2.0	1.9	0.1	0.0	3.0		513	2.1	2.0	1.9	0.1	1.0	3.0		
行為の問題	全体	1577	2.8	3.0	1.8	0.0	1.0	4.0		1567	2.7	2.0	1.8	0.0	1.0	4.0		
	年少	525	3.2	3.0	1.9	0.1	2.0	4.0		528	3.1	3.0	2.0	0.1	2.0	4.0		
	年中	534	2.7	2.0	1.8	0.1	1.0	4.0	<.001	526	2.7	2.0	1.7	0.1	1.0	4.0	<.001	0.035
	年長	518	2.5	2.0	1.7	0.1	1.0	4.0		513	2.1	2.0	1.6	0.1	1.0	3.0		
多動・不注意	全体	1577	4.5	4.0	2.2	0.1	3.0	6.0		1567	4.0	4.0	2.2	0.1	2.0	5.0		
	年少	525	4.6	5.0	2.2	0.1	3.0	6.0		528	4.0	4.0	2.2	0.1	2.0	5.0		
	年中	534	4.4	4.0	2.3	0.1	3.0	6.0	n.s.	526	4.0	4.0	2.2	0.1	2.0	5.0	n.s.	<.001
	年長	518	4.4	4.0	2.3	0.1	3.0	6.0		513	3.8	4.0	2.3	0.1	2.0	5.0		
仲間関係の問題	全体	1577	2.5	2.0	1.8	0.0	1.0	4.0		1567	2.2	2.0	1.7	0.0	1.0	3.0		
	年少	525	2.8	2.0	1.9	0.1	1.0	4.0		528	2.5	2.0	1.8	0.1	1.0	4.0		
	年中	534	2.4	2.0	1.7	0.1	1.0	4.0	<.001	526	2.1	2.0	1.7	0.1	1.0	3.0	<.001	<.001
	年長	518	2.3	2.0	1.8	0.1	1.0	3.0		513	1.9	2.0	1.6	0.1	1.0	3.0		
向社会的行動の強さ	全体	1577	5.1	5.0	2.3	0.1	4.0	7.0		1567	5.6	5.0	2.2	0.1	4.0	7.0		
	年少	525	4.9	5.0	2.3	0.1	3.0	6.0		528	5.4	5.0	2.2	0.1	4.0	7.0		
	年中	534	5.1	5.0	2.4	0.1	4.0	7.0	.002	526	5.5	5.0	2.2	0.1	4.0	7.0	<.001	<.001
	年長	518	5.4	5.0	2.2	0.1	4.0	7.0		513	5.9	6.0	2.2	0.1	5.0	8.0		
総合的な困難さ	全体	1577	11.8	11.0	5.5	0.1	8.0	15.0		1567	11.0	10.0	5.5	0.1	7.0	15.0		
	年少	525	12.7	12.0	5.5	0.2	8.5	16.0		528	11.8	11.0	5.5	0.2	8.0	15.0		
	年中	534	11.5	11.0	5.5	0.2	7.0	15.0	<.001	526	11.1	10.0	5.6	0.2	7.0	15.0	<.001	<.001
	年長	518	11.2	11.0	5.5	0.2	7.0	15.0		513	10.1	10.0	5.3	0.2	6.0	14.0		

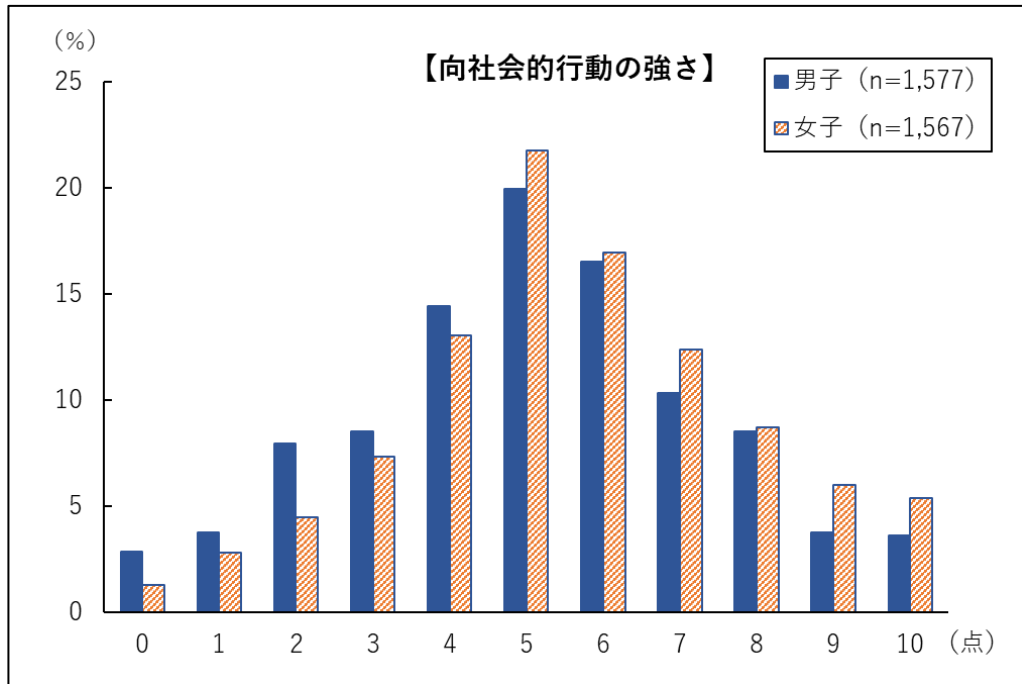
a) Kruskal-Wallis 検定, b) Mann-Whitney U検定

注1) 実査時点での幼児の年齢に基づき、3~4歳はSDQ日本語版の「2~4歳児用」、5~6歳は「4~17歳児用」を適用

注2) 回答者の性別内訳は、父親48.5% (n=1524) に対し母親51.5% (n=1620)、回答した子どもの性別内訳は、父親が男子全体の47.4% (n=748)、女子全体の49.5% (n=776) に対し、母親が男子全体の52.6% (n=829)、女子全体の50.5% (n=791)



【図 8-1】 性別にみた SDQ の「困難さ」の得点分布 (n=3, 144)



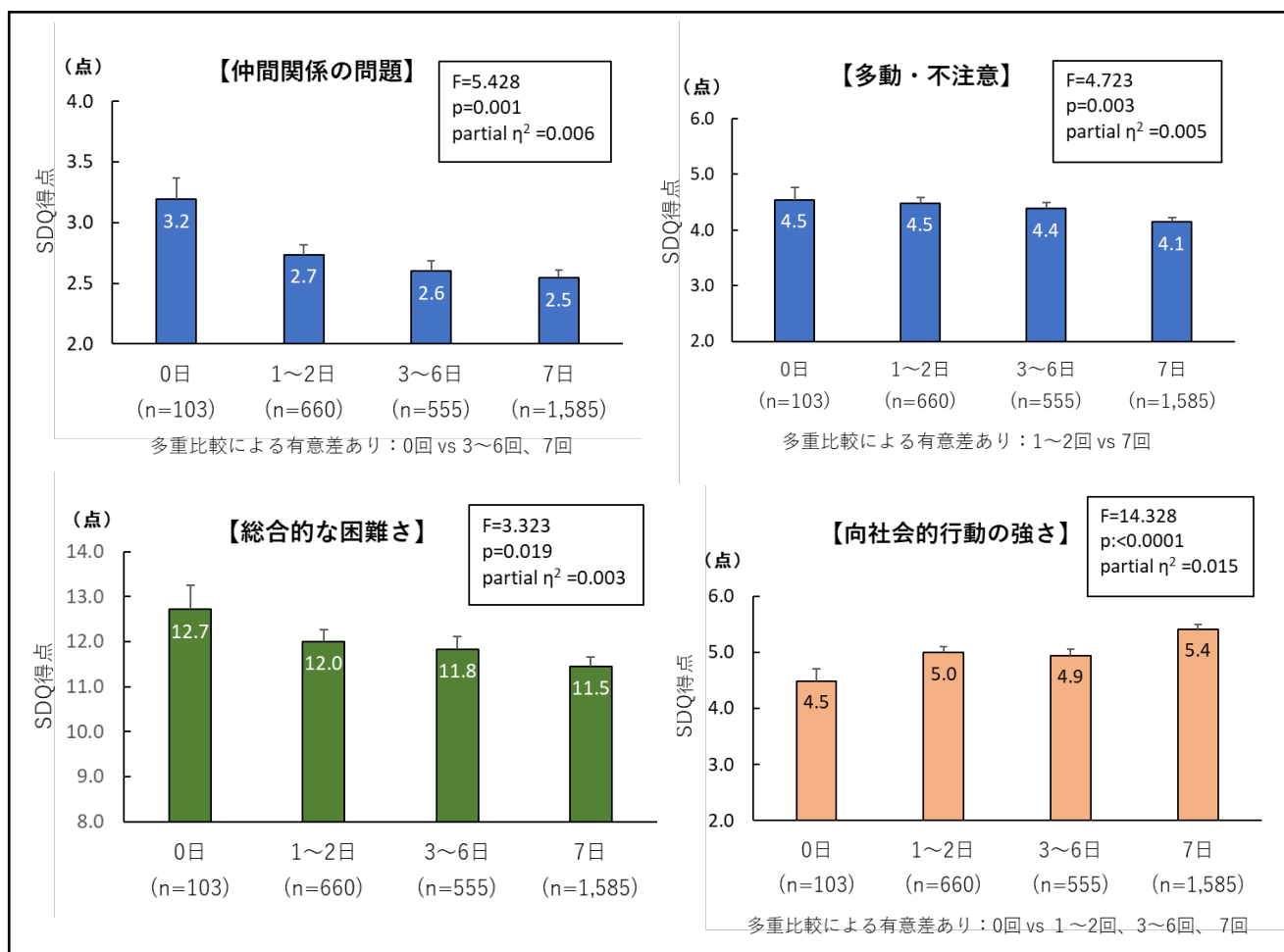
【図 8-2】 性別にみた SDQ の「強み」の得点分布 (n=3, 144)

8-2. 幼児の総運動日数と情緒・行動特性との関連

【ポイント】

- 園外での総運動日数が多いほど、困難さの得点が低い傾向
- 園外での総運動日数が多いほど、向社会的行動の強さの得点が高い傾向

図8-3に、園外での週あたり総運動日数別にみたSDQ得点を示した。注4に示す変数で調整した共分散分析の結果、実際の得点差は微少であったものの、運動日数が多いほど、「多動・不注意」、「仲間関係の問題」および「総合的な困難さ」の得点が有意に低かった。一方、「向社会的行動の強さ」の得点は総運動日数が多いほど有意に高く、その後の多重比較検定でも全ての群間に有意差が認められた。「情緒の問題」および「行為の問題」については、総運動日数との関連は認められなかった。



注1) 園にいる時以外で外遊び、室内・屋内での運動遊び、運動・スポーツの習いごとのいずれかを行った日数を総運動日数とした

注2) 外遊び、室内・屋内での運動遊び、運動・スポーツの習いごとの日数を合計し、同じ曜日に複数の活動を行っている場合は1日とカウント

注3) 過去1ヵ月、ケガや病気などで運動に支障があった幼児 (n=241) は除外 (1週間以内で治るケガや風邪などは含まない)

注4) 棒グラフの値は共分散分析の調整平均 (共変量: 子どもの性別、年齢、就園状況、きょうだい人数、世帯年収、親の学歴、回答者の性別)

注5) F値、p値、効果量、および多重比較の結果はSDQ得点のlog変換値を用いた分析に基づく

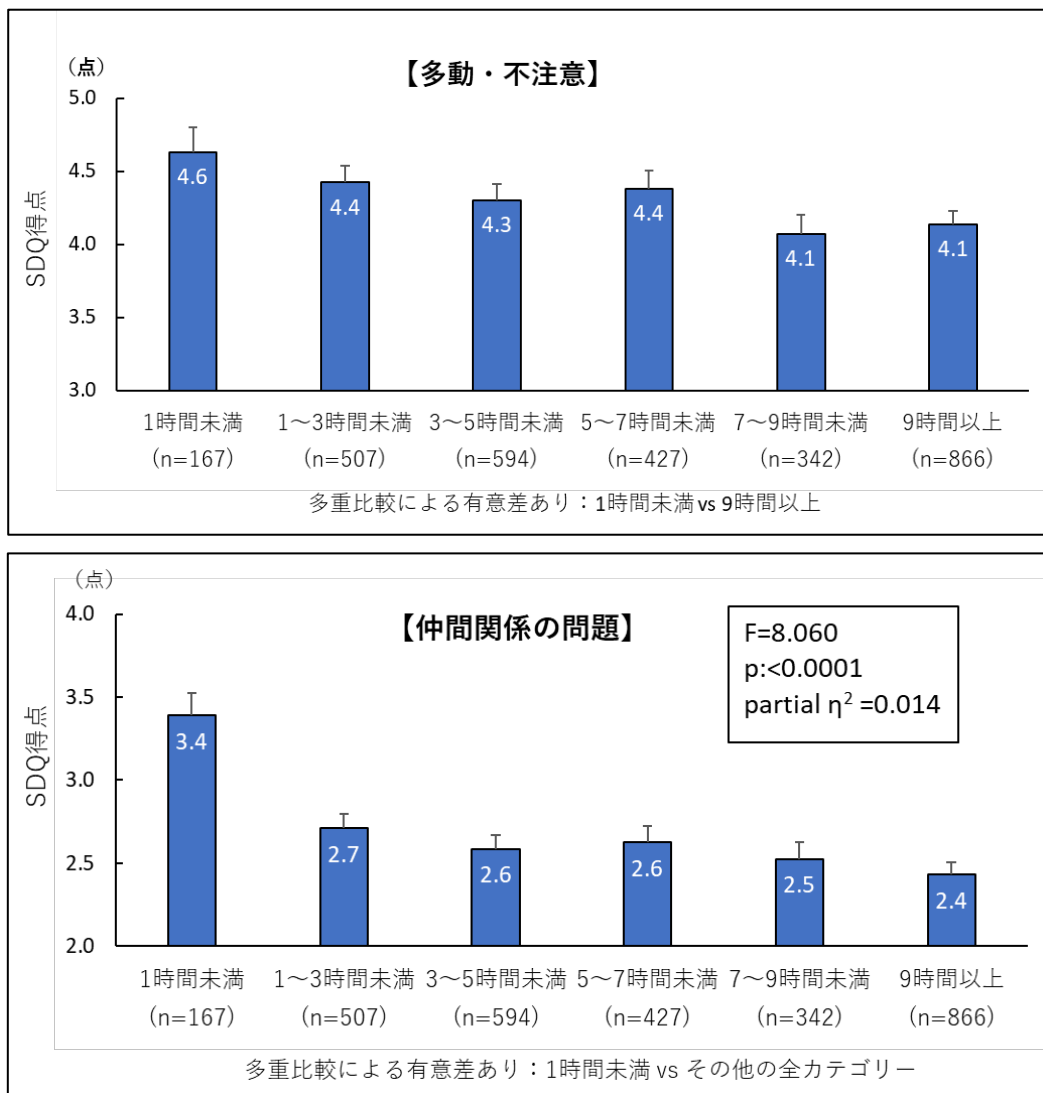
【図8-3】 幼児の園外での総運動日数とSDQ得点 (n=2,903)

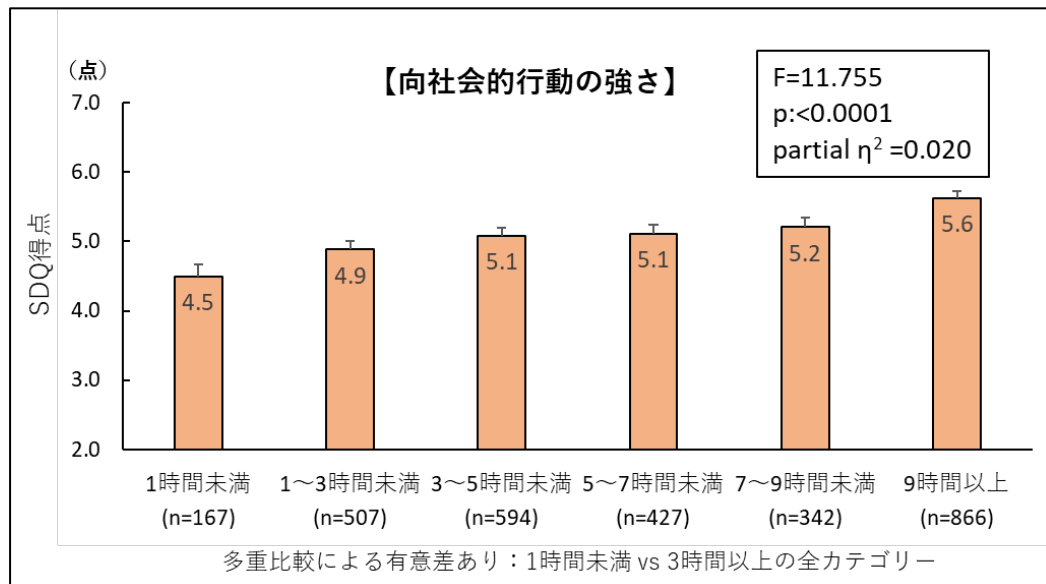
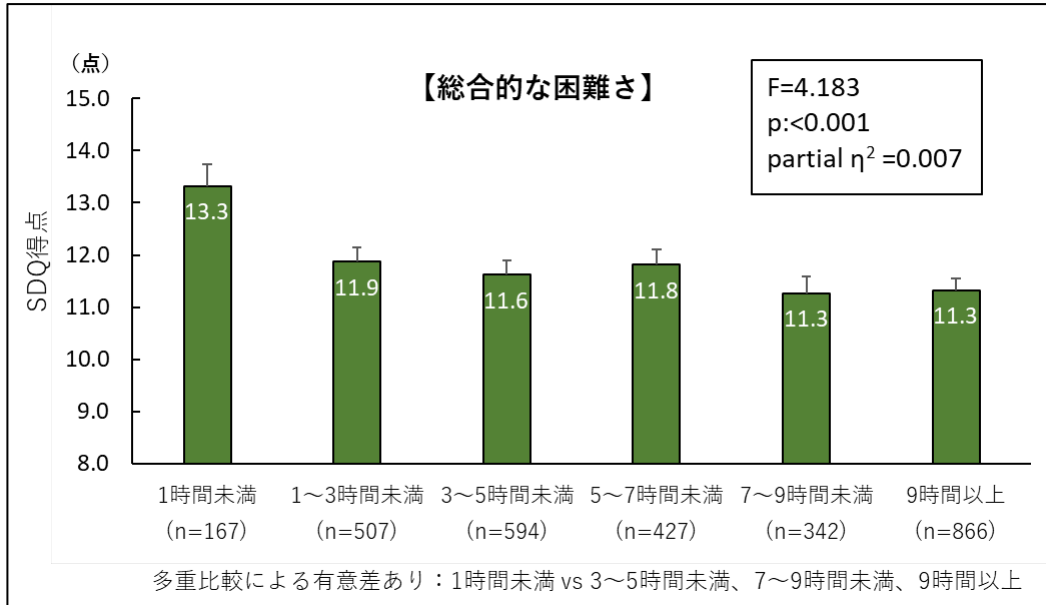
8-3. 幼児の総運動時間と情緒・行動特性との関連

【ポイント】

- 園外での総運動時間が長いほど、困難さの得点が低い傾向
- 園外での総運動時間が長いほど、向社会的行動の強さの得点が高い傾向

図8-4に、園外での週あたりの総運動時間にみたSDQ下位尺度得点を示した。注3に示す変数で調整した共分散分析の結果、実際の得点差は1点未満であったが、総運動時間が多いほど、「多動・不注意」、「仲間関係の問題」および「総合的な困難さ」の得点が有意に低かった。一方、総運動時間が多いほど「向社会的行動の強さ」の得点が有意に高く、その後の多重比較検定でも1時間未満群とそれ以外の全ての群間で有意差が認められた。「情緒の問題」および「行為の問題」については、総運動日数の結果と同じく、総運動時間との関連は認められなかった。





注 1) 外遊び、室内・屋内での運動遊び、運動・スポーツの習いごとの実施時間の合計を総運動時間とした

注 2) 過去 1 ヶ月、ケガや病気などで運動に支障があった幼児 (n=241) は除外 (1 週間以内で治るケガや風邪などは含まない)

注 3) 棒グラフの値は共分散分析の調整平均 (共変量：子どもの性別、年齢、就園状況、きょうだい人数、世帯年収、親の学歴、回答者の性別)

注 4) F 値、p 値、効果量、および多重比較の結果は SDQ 得点の log 変換値を用いた分析に基づく

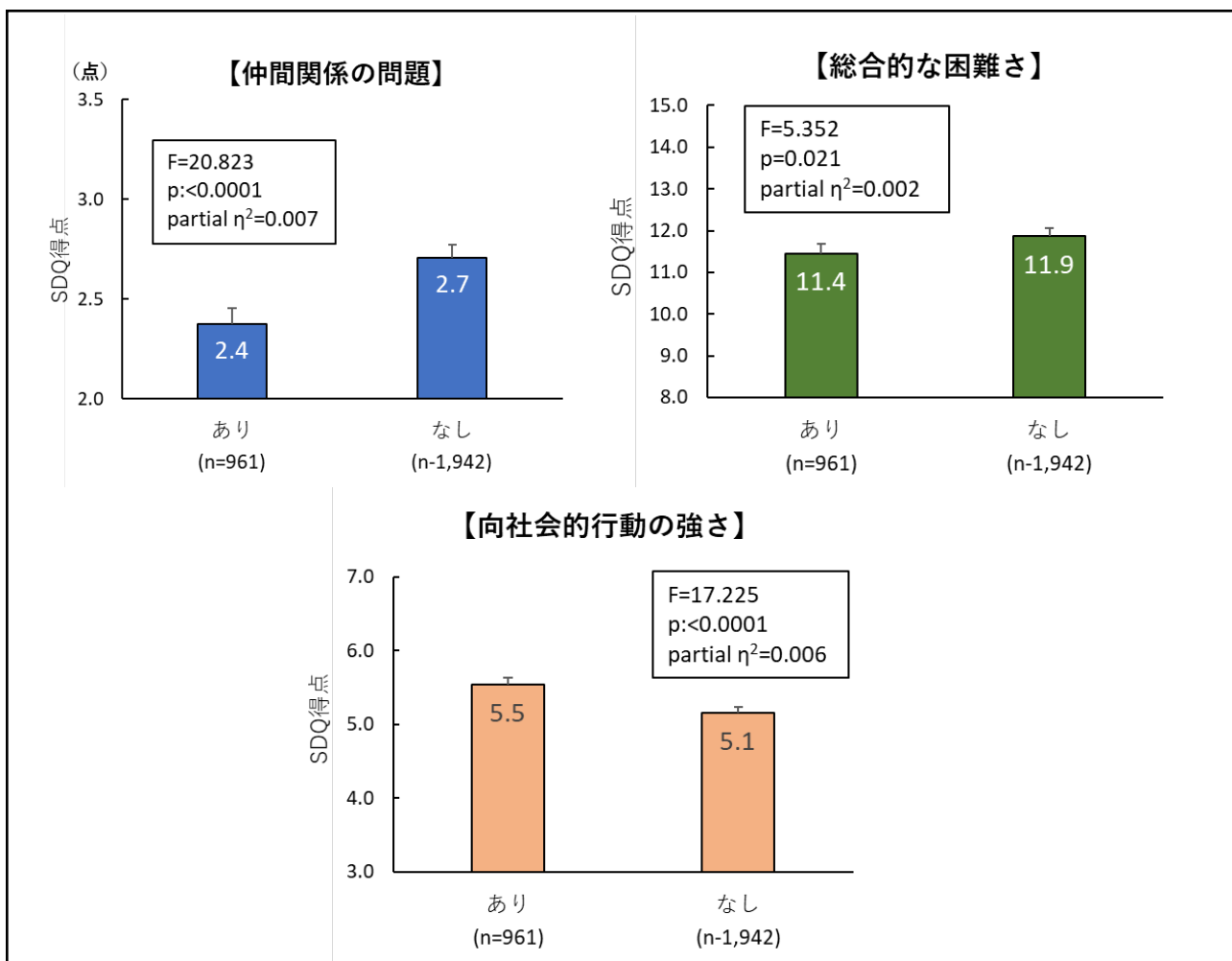
【図 8-4】 幼児の園外での総運動時間と SDQ 得点 (n=2, 903)

8-4. 幼児の運動・スポーツの習いごとと情緒・行動特性との関連

【ポイント】

- 運動・スポーツの習いごとをしている幼児の「仲間関係の問題」および「総合的な困難さ」の得点は低い傾向
- 運動・スポーツの習いごとをしている幼児の「向社会的行動の強さ」の得点は、そうでない幼児より高い傾向

図8-5に、運動の習いごとの有無でSDQの尺度得点を比較した結果を示した。実質的な得点差はわずかであるが、この時点ですでに、園外での習いごとの有無による情緒・行動特性の違いが確認された。前出のとおり、本調査での習いごとの参加率は33.1% (図2-11, p33)、頻度も週あたり平均1.4日と少なかったが、幼児の中高強度の運動(MVPA)および多様な動きの経験に習いごとが貢献している実態や、この時点での運動・スポーツ経験が児童期以降に持ち越される可能性を考慮すると、今後これらの行動特性の差が広がる可能性も否定できない。なお、下記以外の尺度得点には運動の習いごとによる有意差は認められなかった。



注1) 過去1ヵ月、ケガや病気などで運動に支障があった幼児 (n=241) は除外した (1週間以内で治るケガや風邪などは含まない)

注2) 値は共分散分析の調整平均 (共変量: 子どもの性別、年齢、就園状況、きょうだい人数、世帯年収、親の学歴、回答者の性別)

注3) F値、p値、効果量はSDQ得点のlog変換値を用いた分析に基づく

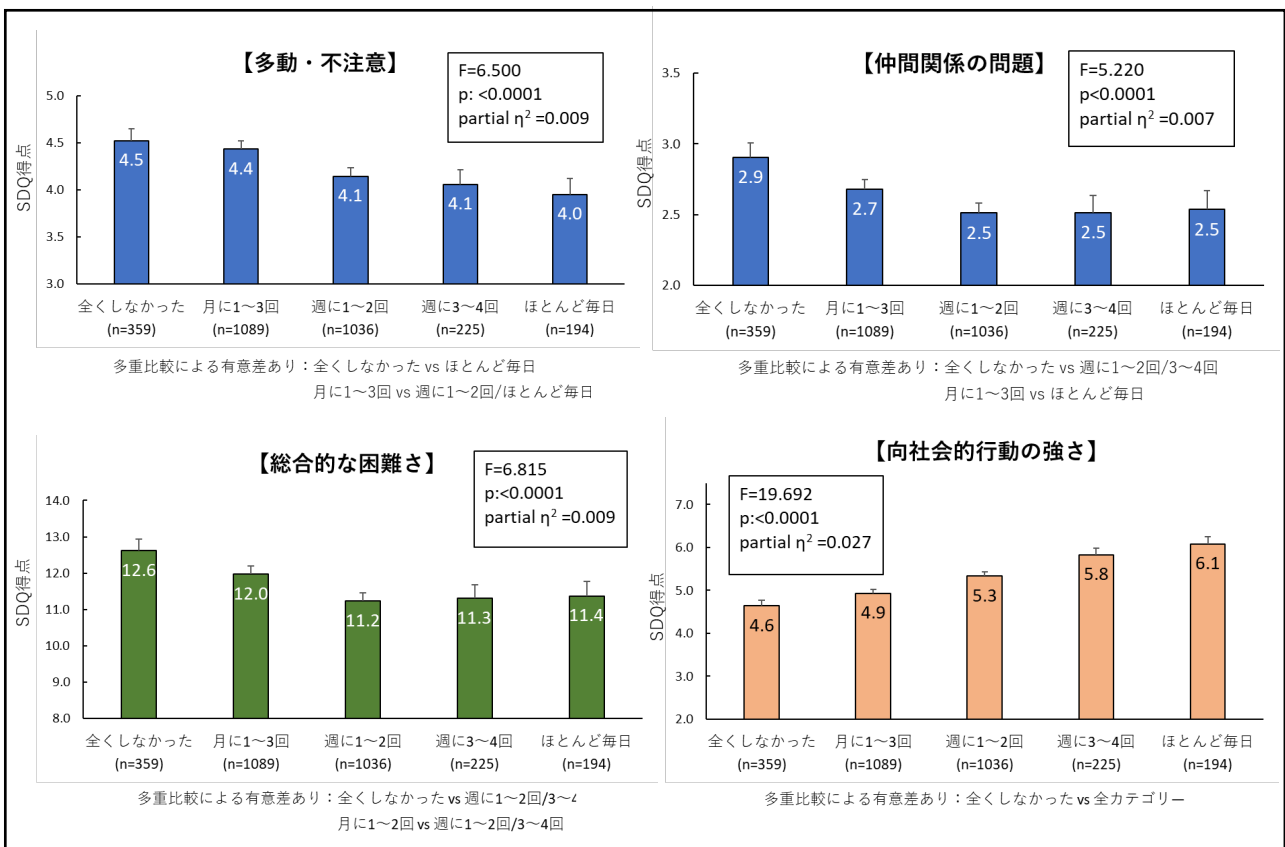
【図8-5】園外での運動・スポーツの習い事とSDQ得点 (n=2,903)

8-5. 親子で体を動かす遊びの頻度と情緒・行動特性との関連

【ポイント】

- 親子で体を動かす遊びの頻度が高いほど、困難さの得点が低い傾向
- 親子で体を動かす遊びの頻度が高いほど、向社会的行動の強さの得点も高い傾向

図8-6に、親子で一緒に体を動かして遊ぶ頻度別にみたSDQ得点を示した。「総合的な困難さ」と「向社会的行動」については、親子遊びを全くしなかった群とほとんど毎日行った群との間に、1.2～1.5点の得点差が認められた。共働きが一般的になった今般、子どもと体を動かして遊ぶ時間を持つことは容易ではないかもしれないが、親子共々、この時期にしかできない貴重な体験をより多く持てるような取り組みが一層進むことが望まれる。



注1) 値は共分散分析の調整平均（共変量：子どもの性別、年齢、就園状況、きょうだい人数、世帯年収、親の学歴、回答者の性別）

注2) F値、p値、効果量、および多重比較の結果はSDQ得点のlog変換値を用いた分析に基づく

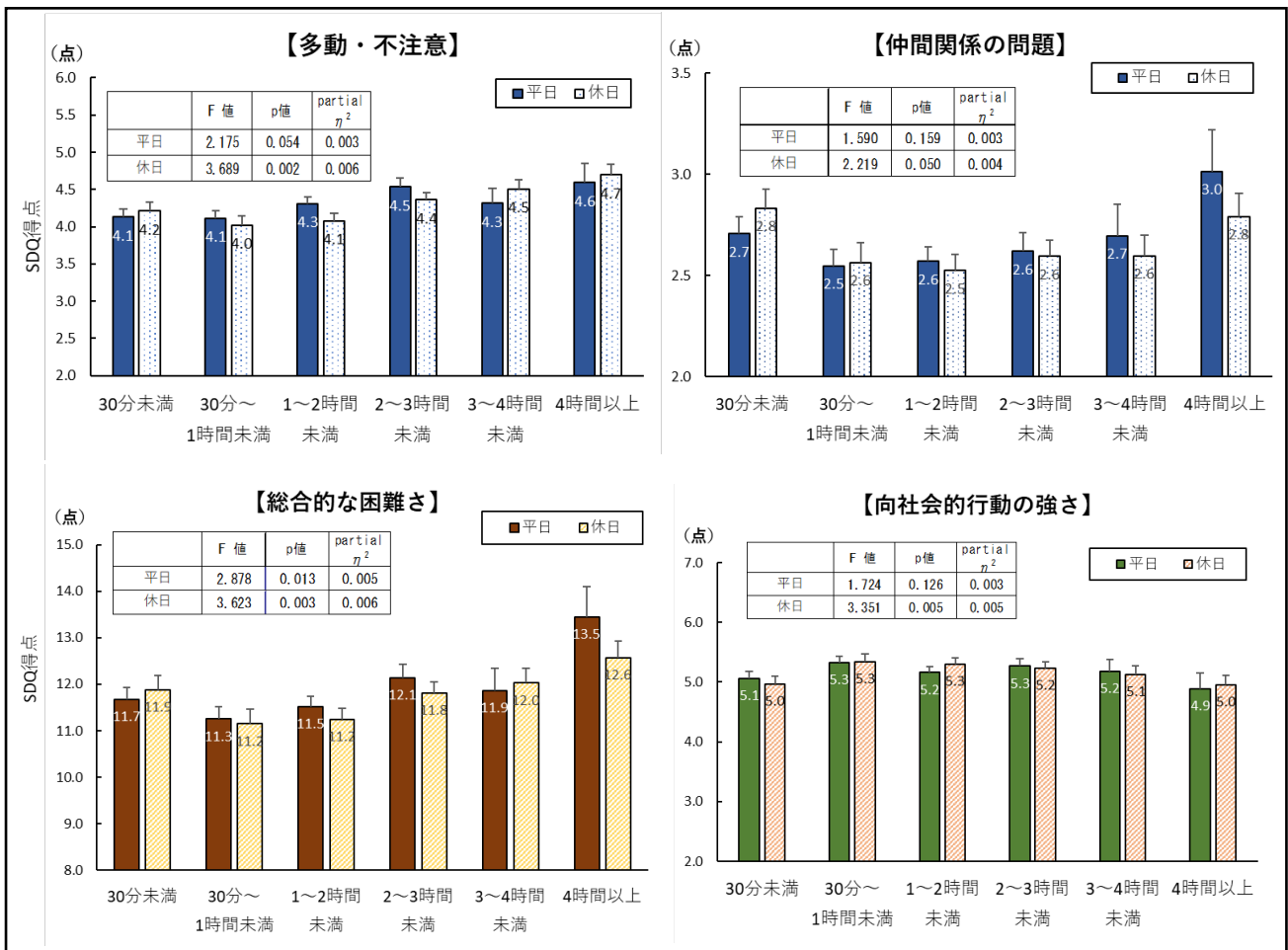
【図8-6】親子で体を動かす遊びの頻度とSDQ得点 (n=2,903)

8-6. スクリーンタイムと情緒・行動特性との関連

【ポイント】

- スクリーンタイム別にみた困難さの得点は、30分～1時間未満群を境にJカーブの傾向
- 「向社会的行動の強さ」得点は、30分～1時間未満群を境に、困難さの得点とは逆の傾向

図8-7に、平日・休日のスクリーンタイム別にみたSDQ得点を示した。顕著な得点差には至っていないが、以下の項目において、いずれも休日のスクリーンタイムの方に有意差が認められた。中でも、「総合的な困難さ」の得点が、平日・休日ともに、スクリーンタイム30分～1時間未満群を境にJカーブを描く傾向は、子どものスクリーンタイムとメンタルヘルスとの関連を大規模なデータで検討したLiuらの先行研究と類似していた。一方、向社会的行動の強さには、上記と逆パターンの傾向が認められた。WHOが公表したスクリーンタイムのガイドライン(1時間未満)も踏まえながら、今後引き続き、本調査で定義したスクリーンタイムと運動実施状況、他の生活習慣、情緒・行動特性との関連を注視し続ける必要がある。



注1) 過去1ヵ月、ケガや病気などで運動に支障があった幼児も含めた全対象で分析

注2) 園の活動以外で、テレビやDVDをみたり、パソコン、ゲーム(テレビ、パソコン、携帯式のゲーム機を含む)、スマートフォンなどを使用した
りする1日あたりの時間(Wii Sportsなどの体を動かすゲーム、YouTubeなどの動画をみながら体を動かす時間は含まない)

注3) 値は共分散分析の調整平均(共変量:子どもの性別、年齢、就園状況、きょうだい人数、世帯年収、親の学歴、回答者の性別)

注4) F値、p値、効果量はSDQ得点のlog変換値を用いた分析に基づく

【図8-7】 平日・休日のスクリーンタイムとSDQ得点 (n=3,144)

8-7. 推奨される生活習慣の達成状況

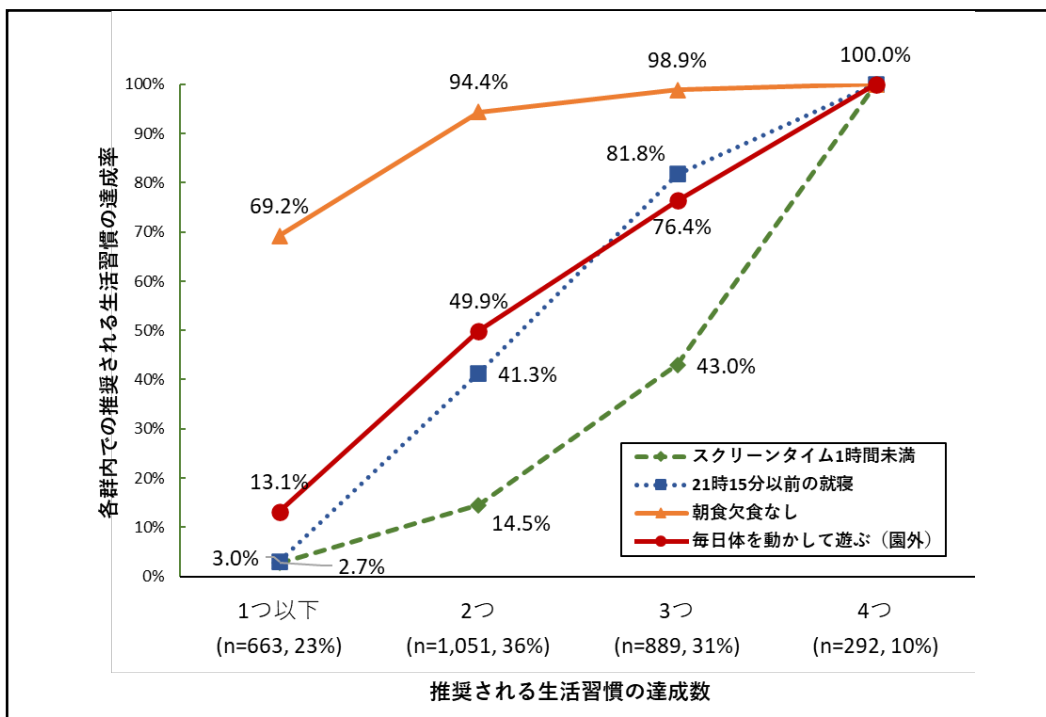
【ポイント】

- 推奨される生活習慣の達成数が1つ以下の幼児の割合は23%
- 推奨される生活習慣を全て達成している幼児の割合は10%
- 推奨される生活習慣のうち、スクリーンタイム1時間未満の達成が最も困難

図8-8に、推奨される生活習慣の達成数別にみた各習慣の達成率を示した。本調査では、早寝早起き朝ごはん全国協議会やWHOに基づき、推奨される生活習慣として①朝食欠食なし、②平日・休日ともにスクリーンタイムが1時間未満、③就寝時刻が9時15分以前（平日・休日それぞれの就寝時刻の中央値を平均した時刻）、④園外で毎日体を動かして遊ぶ（運動・スポーツの習いごとを含む）、の4つを設定した。

達成数が1つ以下の群は解析対象の23%を占め、そのうち上記条件を1つも達成できていない幼児は79名（解析対象の2.7%）であった。一方、4つ全てを達成できていた幼児は10%に留まり、幼児期の時点で既に、推奨される生活習慣の定着が困難な実態が明らかになった。朝食の欠食がないことは、4つの習慣の中で最も達成率が高かった。園外で毎日体を動かして遊ぶこと、および21時15分以前の就寝については達成率が近似していたが、WHOが推奨するスクリーンタイム1時間未満の達成は最も困難な状況であった。

前章で、スクリーンタイムと就寝時刻（図7-2, p75）、就寝時刻と総運動時間（図7-1, p74）との関わりが連鎖的に示されたことから、幼児のよりよい生活習慣の定着には、特にスクリーンタイムの適切な管理や、スクリーンタイムを別の活動に置き換える取り組みがキーポイントとなりそうである。



注1) 運動支障あり (n=241)、就寝時刻データの欠損 (n=8) を除外

注2) 21時15分以前に就寝する幼児の72% (睡眠時間の欠損(n=30)を除く n=2,865で算出) が、WHOが推奨する睡眠時間10時間以上を満たしていた

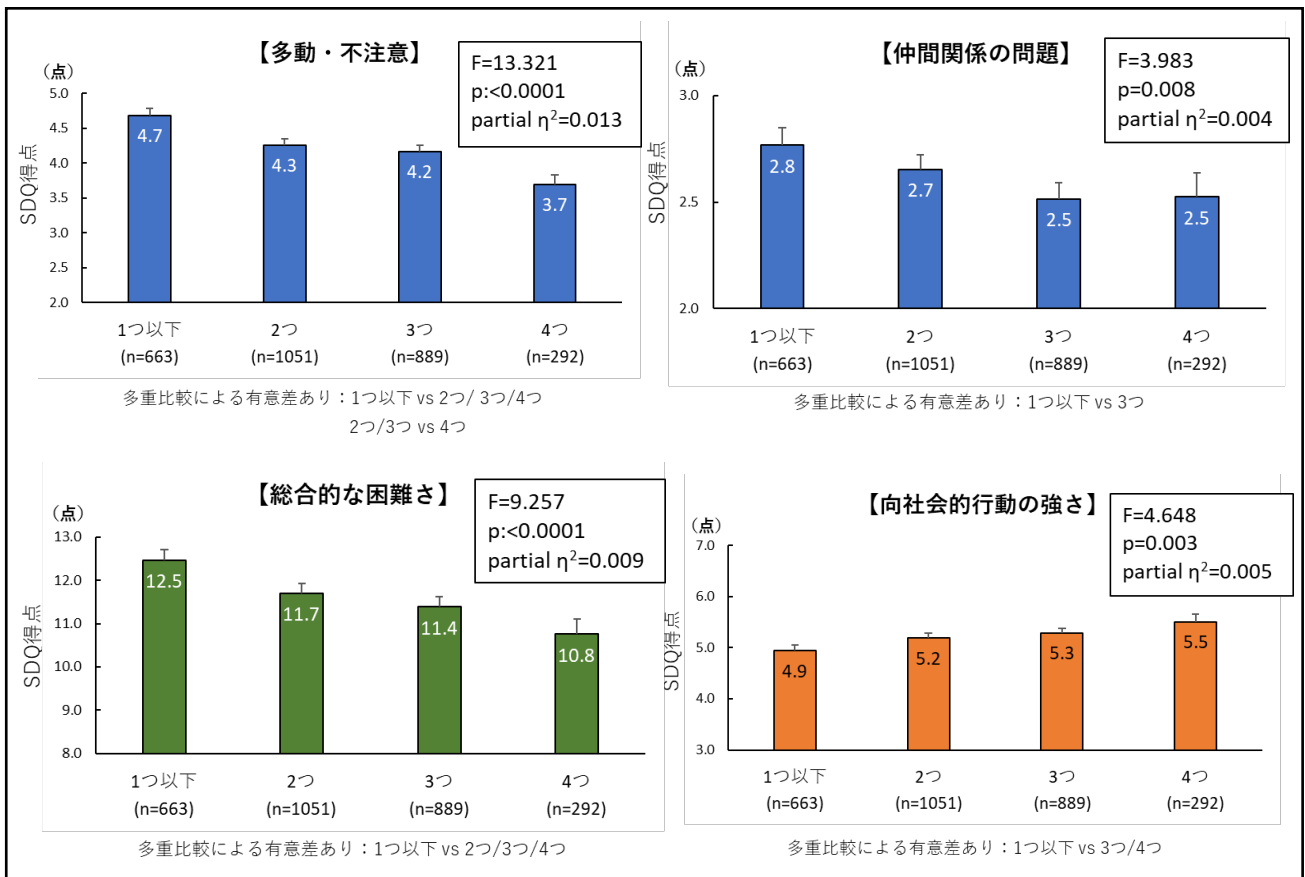
【図8-8】 推奨される生活習慣の達成数別にみた各習慣の達成率 (n=2,895)

8-8. 推奨される生活習慣の達成状況と情緒・行動特性との関連

【ポイント】

- 推奨される生活習慣の達成数が多いほど、困難さの得点が低い傾向
- 推奨される生活習慣の達成数が多いほど、向社会的行動の強さの得点が高い傾向

図8-9に、推奨される生活習慣の該当数別にみたSDQ得点を示した。注2に示す変数で調整しても、推奨される生活習慣の達成数が多いほど、「多動・不注意」、「仲間関係の問題」、「総合的な困難さ」の得点が低く、「向社会的行動の強さ」の得点は高い傾向が認められた。これには、前述した総運動日数・総運動時間とSDQ得点との関連が一部反映されていると考えられるが、他の生活習慣と合わせても情緒・行動特性に差異が生じていたことは、幼児の健全な発育・発達を考える上で極めて重要な知見といえる。今後、運動を含む生活習慣と情緒・行動特性の長期的な関連を、縦断調査や介入によって確認する必要がある。



注1) 運動支障あり (n=241)、就寝時刻データの欠損 (n=8) を除外

注2) 値は共分散分析の調整平均 (共変量: 子どもの性別、年齢、就園状況、きょうだい人数、世帯年収、親の学歴、回答者の性別)

注3) F値、p値、効果量、および多重比較の結果はSDQ得点のlog変換値を用いた分析に基づく

【図8-9】 推奨される幼児の生活習慣の該当数とSDQ得点 (n=2,895)

8-9. まとめ

本章では、[調査結果](#)や[トピック 1](#)までの内容を踏まえ、幼児が園以外で体を動かして遊ぶこと、およびそれを含む生活習慣が、標準化された尺度で評価した情緒・行動特性と関連するか、「困難さ」と「強み」の両側面から検討した。

結果として、子どもの性別、年齢、就園状況、きょうだい人数、世帯年収、親の学歴、回答者の性別といった他者からは変えられない要因を統計的に考慮しても、園外での総運動日数と総運動時間が多いほど、「多動・不注意」、「仲間関係の問題」、「総合的な困難さ」といった情緒・行動上の問題が少ない傾向が認められた。運動の習いごとがあることや、親子で一緒に体を動かして遊ぶ頻度が多いことも、上記の「困難さ」の少なさと関連していた。さらに、園外での運動実施状況は、ネガティブな特性だけではなく、「向社会的行動の強さ」、つまり幼児自身の「強み」とも一貫して関連しており、特に「親子で一緒に体を動かして遊ぶ頻度」は、本章で検討した運動関連指標の中で、幼児の向社会的行動の差異に最も大きな影響力を持っていた。その一方で、休日のスクリーンタイムが長いほど、情緒・行動上の問題が多く、向社会的行動が乏しい傾向が観察された。加えて、朝食の欠食がないこと、園外でも毎日体を動かして遊ぶこと、スクリーンタイムが1時間未満であること、21時頃までに就寝すること、という4つの生活習慣の達成度が高いほど、幼児の情緒・行動上の適応が良好であることを示す結果も得られた。

以上の結果から、幼児の時点ですでに、園外の活動に限定して調べた運動実施状況や推奨される生活習慣の積み重ねによって、心理社会的発達を反映する情緒・行動特性に差異が生じていることが明らかとなった。中でも、ポジティブな特性である「向社会的行動」について、運動実施状況が良好であるほど強いという一貫した関連が認められたことは、「幼児期の運動が身体的発達や体力・運動能力以外の何に貢献しているのか」という本章の問いを説明する材料の1つとなるかもしれない。

この状況が長期的に続いた場合、学校生活の様々な場面で、本章で明らかとなった運動と関連する情緒・行動特性の差異が徐々に浮き彫りになる可能性も否定できない。幼児期の発育発達の速度を考えると、今後は縦断的調査によって運動・生活習慣が情緒・行動特性に及ぼす長期的影響、およびそのメカニズムを明らかにすることと並行して、親子で一緒に体を動かして遊べる時間の確保、家庭の事情に応じた運動の習いごとの有効活用、スクリーンタイムの管理や他の活動への置き換え、推奨される生活習慣の定着等も含めた包括的・領域横断的な取り組みを、スピード感をもって実践することも重要と考えられた。

9. トピック3：幼児の運動実施と社会経済的要因の関連

笹川スポーツ財団
研究調査グループ 武長 理栄

9-1. 家庭の経済状況との関連

①世帯年収

【ポイント】

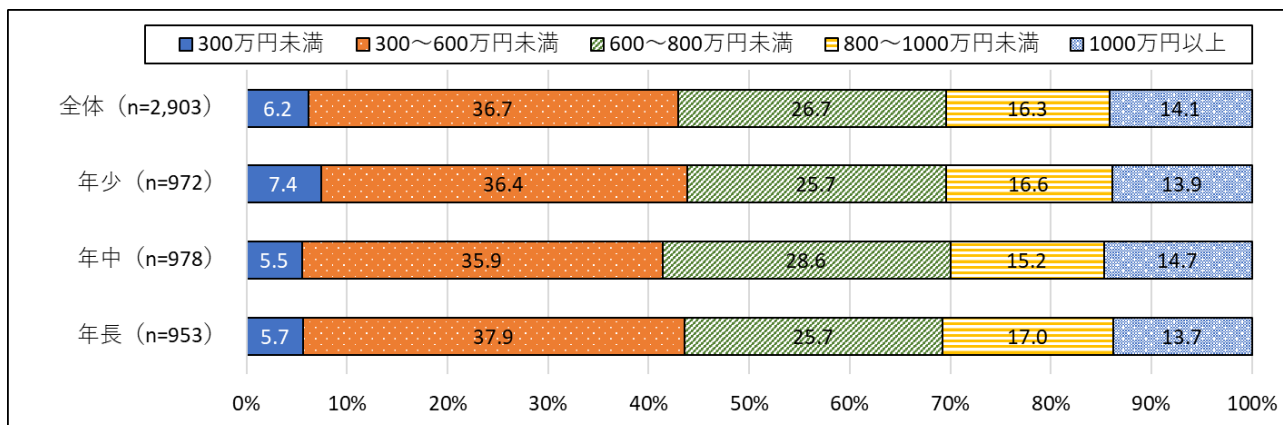
➤ 本調査の平均世帯年収は706.0万円

図9-1に世帯年収を全体、年齢別に示した。世帯年収は、低所得世帯として「300万円未満」、中間所得世帯として「300～600万円未満」「600～800万円未満」、高所得世帯として「800～1,000万円未満」「1,000万円以上」の5つに分類した。

全体の世帯では、最も多い年収の区分は「300～600万円未満」36.7%、次いで「600～800万円未満」が26.7%、「800～1,000万円未満」16.3%、「1,000万円以上」14.1%、「300万円未満」6.2%であった。世帯年収のデータを選択肢で示す金額の上限と下限の中間値を割り振り、本調査の平均世帯年収を算出したところ706.0万円であった。厚生労働省「国民生活基礎調査」によると子育て世帯の平均所得は785万円となり、本調査の方がやや低かった。しかし、国民生活基礎調査では18歳未満までの子どもがいる家庭を「子育て世帯」と定義している。保護者の平均年齢も本調査と比較して高いと推察でき、本調査の世帯年収データは概ね幼児を養育する家庭の実態に近いといえる。

年齢別にみると、いずれの年齢も「300～600万円未満」（年少36.4%、年中35.9%、年長37.9%）が最も高く、次いで「600～800万円未満」（年少25.7%、年中28.6%、年長25.7%）であった。また、年少の世帯では「300万円未満」が7.4%と、年中5.5%、年長5.7%に比較してやや高くなっている。「800～1,000万円未満」と「1,000万円以上」を合わせた高所得世帯の割合は、年少30.5%、年中30.0%、年長30.7%と年齢による違いはみられなかった。平均世帯年収を算出すると、年少701.7万円、年中712.8万円、年長703.4万円であり、年中の世帯が最も高かった。

以上の結果から、幼児を養育する家庭の多くは「300～600万円未満」と「600～800万円未満」の中間所得層であり、低所得世帯と高所得世帯の割合は比較的少ないことが読み取れる。



注) 過去1ヵ月、ケガや病気などで運動に支障があった幼児 (n=241) は除外した (1週間以内で治るケガや風邪などは含まない)

【図9-1】世帯年収 (全体・年齢別)

②子どもの運動実施頻度と世帯年収との関連

【ポイント】

- 非実施群は「300万円未満」7.8%、「1,000万円以上」では2.4%
- 世帯年収が高い家庭ほど、園外での子どもの運動非実施の割合は低下する

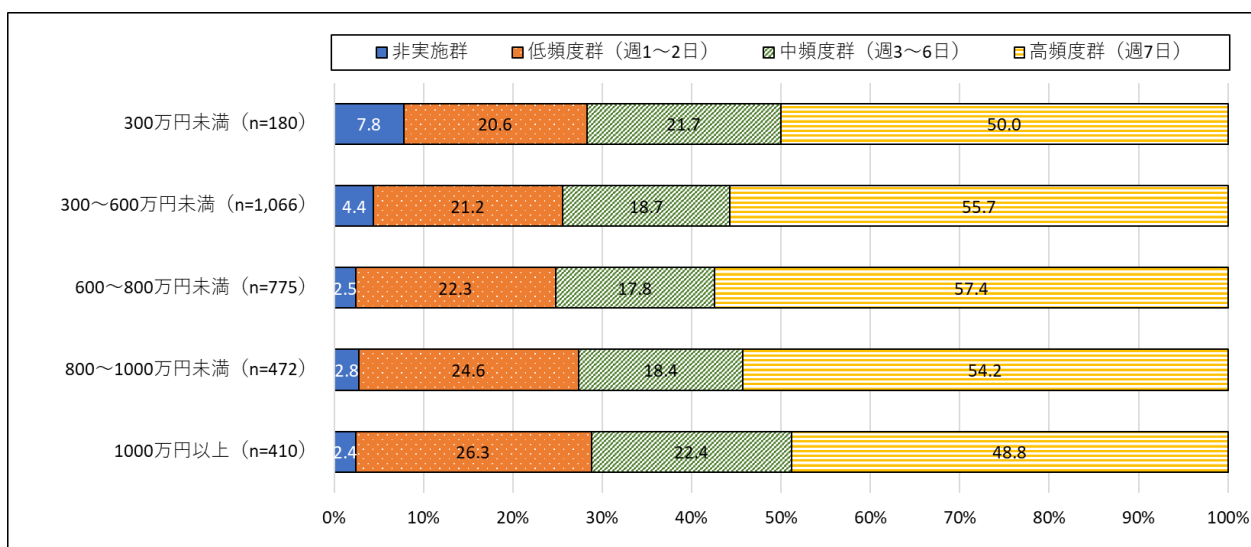
図9-2に子どもの運動実施頻度群と世帯年収とのクロス集計結果を示した。運動実施頻度群は、外遊び、室内・屋内での運動遊び、運動・スポーツの習いごとの実施頻度を合計した、1週間あたりの総運動日数から「非実施群」、「低頻度群（週1～2日）」、「中頻度群（週3～6日）」、「高頻度群（週7日）」の4つに分類したものである（表2-5、図2-17、p.41参照）。

非実施群は「300万円未満」の世帯で最も高く7.8%であった。一方「1,000万円以上」では2.4%であり、世帯年収が上がるにつれて非実施の割合は低下する。

高頻度群は「300万円未満」50.0%、「300～600万円未満」55.7%、「600～800万円未満」57.4%と、800万円までは世帯年収が上がるにつれて高頻度群の割合も高くなる。しかし、800万円以上では「800～1,000万円未満」54.2%、「1,000万円以上」48.8%となり、800万円をピークに高頻度群の割合は低下する。毎日運動している幼児については、中間所得世帯が最も多く、低所得世帯と高所得世帯ではあまり違いはみられなかった。

週1～2日運動を行っている低頻度群は、「300万円未満」が20.6%と最も低く、「1,000万円以上」は26.3%と最も高かった。平日・休日別に幼児の運動実施状況をみると、平日では外遊びや室内・屋内遊びは半数程度が非実施となっている（図2-2、p21参照、図2-7、p28参照）。そのため、高所得世帯では両親の就労状況も関連していることが示唆される。

また、カイ二乗検定を行った結果、世帯年収と子どもの運動実施頻度との間には統計的に有意な関連が認められた。これらの結果から、世帯年収が高い家庭の幼児ほど園外での運動実施頻度が高い傾向がみられ、家庭の経済的な背景と幼児の運動習慣との間には関連性があることがうかがえる。



$\chi^2 = 29.306, df = 12, p < 0.01$

注) 過去1ヵ月、ケガや病気などで運動に支障があった幼児 (n=241) は除外した (1週間以内で治るケガや風邪などは含まない)

【図9-2】世帯年収×子どもの園外での運動実施頻度群 (全体：n=2903)

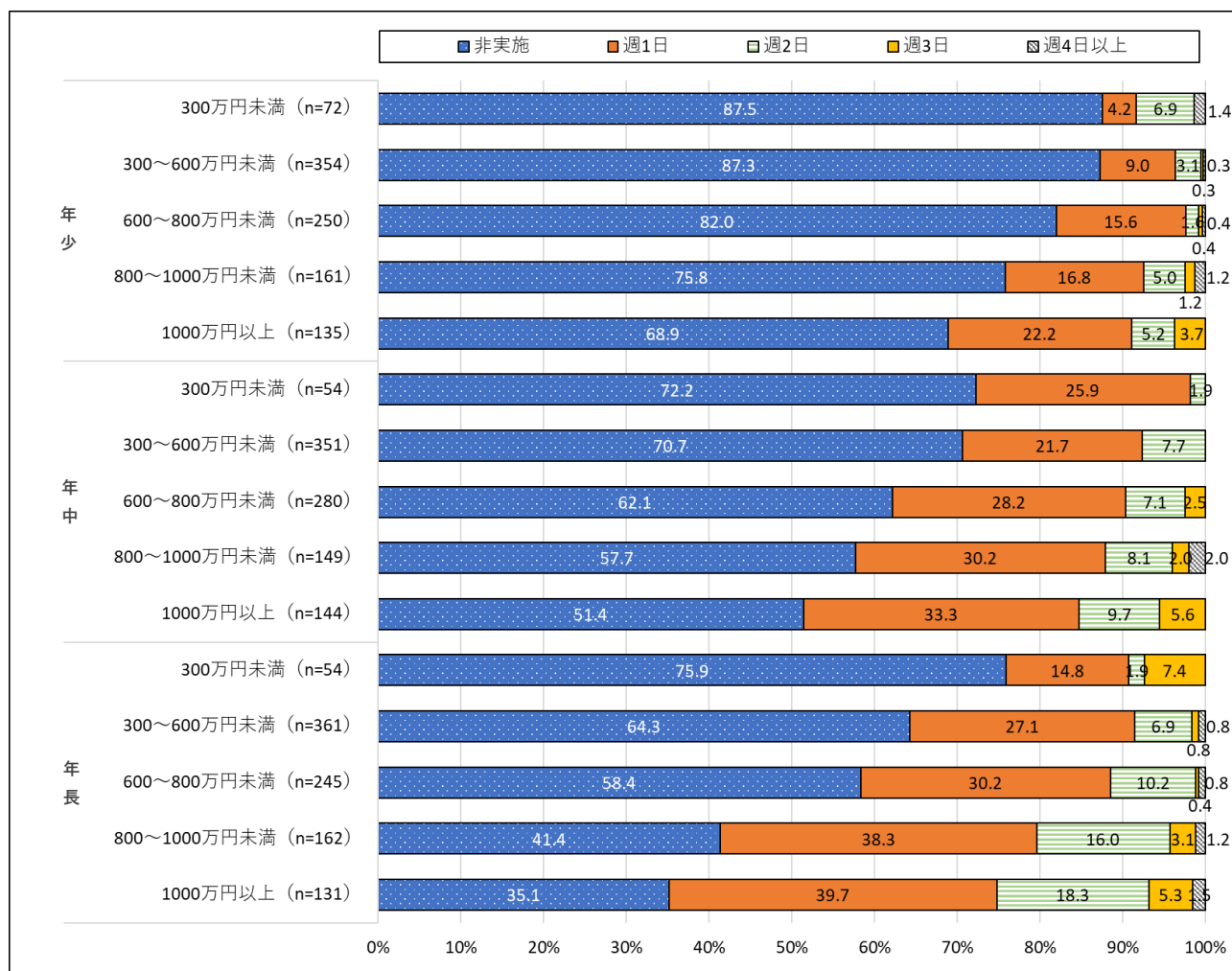
③子どもの運動・スポーツの習いごとと実施頻度と世帯年収との関連

【ポイント】

- 世帯年収が低いほど、運動・スポーツの習いごとをしていない幼児の割合が有意に高くなる
- 世帯年収「300万円未満」と「1,000万円以上」の習いごとと非実施の差は、年長で40.8ポイント

図9-3に子どもの運動・スポーツの習いごとと実施頻度と世帯年収とのクロス集計結果を年齢別に示した。年少、年中、年長のいずれの年齢も、世帯年収が低いほど運動・スポーツの習いごとを全くしていない割合が高くなるという結果が示された。「1,000万円以上」では、習いごとと非実施の割合が最も低く、「300万円未満」の世帯との差は年少18.6ポイント、年中20.8ポイント、年長40.8ポイントとなり、特に年長においてこの傾向が顕著であった。

カイ二乗検定の結果、いずれの年齢においても世帯年収と運動・スポーツの習いごとと実施頻度の間に統計的に有意な関連が認められ、経済的余裕がある家庭ほど子どもに対する教育的投資が行われやすい環境にあることが示唆される。



年少： $\chi^2=43.111$, $df=12$, $p<0.001$ ，年中： $\chi^2=37.635$, $df=12$, $p<0.001$ ，年長： $\chi^2=68.264$, $df=12$, $p<0.001$

注) 過去1ヵ月、ケガや病気などで運動に支障があった幼児 (n=241) は除外した (1週間以内で治るケガや風邪などは含まない)

【図9-3】世帯年収×子どもの運動・スポーツの習いごとと実施状況 (年齢別)

④子どもの外遊び実施頻度と世帯年収との関連

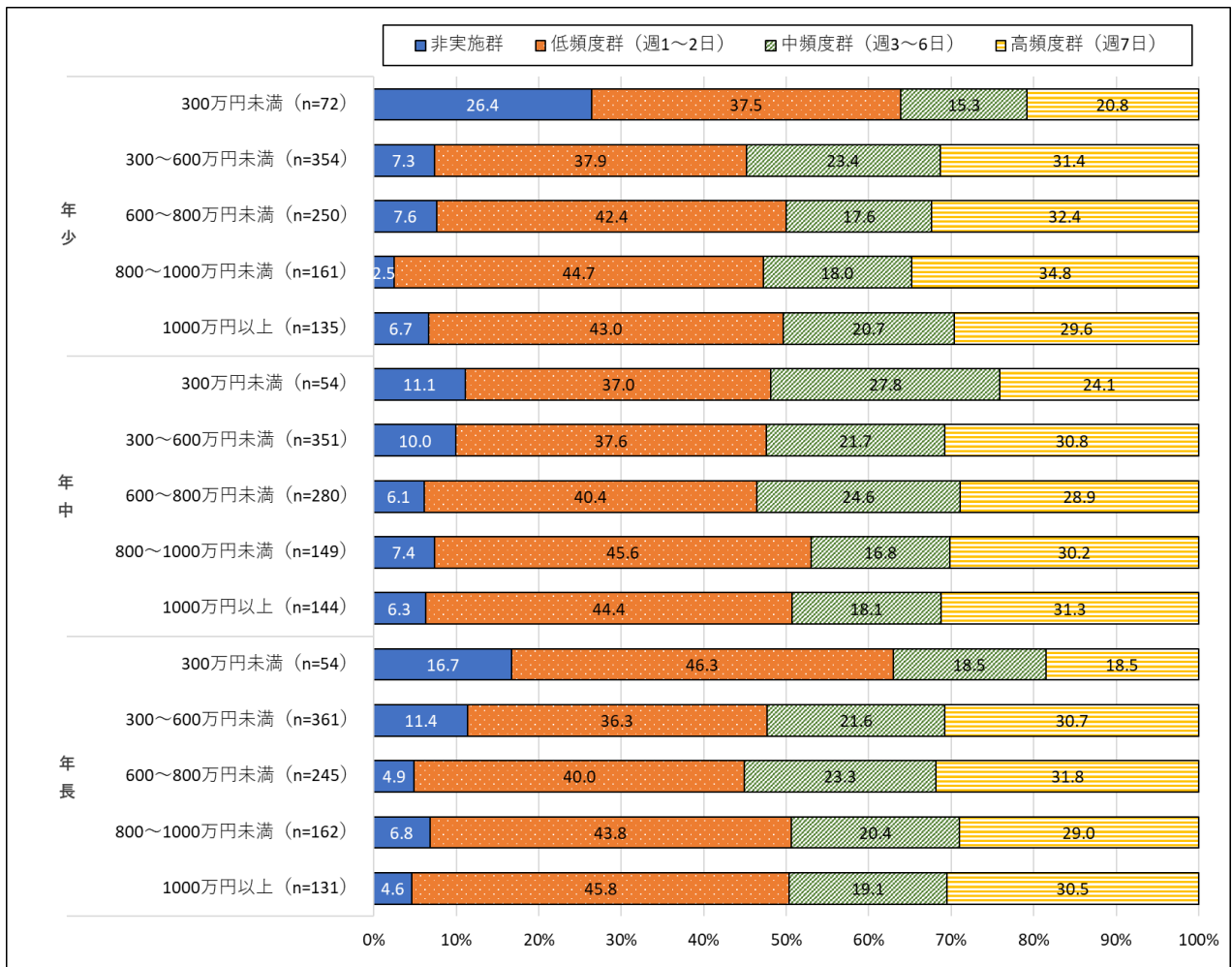
【ポイント】

- 世帯年収「300万円未満」では、園外で外遊びを全くしない幼児は年少で26.4%
- 世帯年収が高い家庭ほど、園外で子どもが外で遊ぶ頻度が有意に高い

図9-4に子どもの園外での外遊び実施頻度と世帯年収とのクロス集計結果を年齢別に示した。年少では、世帯年収が高い家庭ほど子どもが外で遊ぶ頻度が有意に高いという傾向が確認された。特に「800～1,000万円未満」では非実施群の割合が最も低く、高頻度群の割合は最も高かった。一方で「300万円未満」では外遊びを全くしない非実施群が26.4%と最も高く、高頻度群は20.8%と最も低いことが明らかになった。

年中では、非実施群は「300万円未満」11.1%、「1,000万円以上」6.3%と世帯年収が上がるにつれてその割合は低くなる。一方、高頻度群は「300万円未満」24.1%、「1,000万円以上」31.3%と高くなり、高所得世帯での外遊び実施率が高い傾向が確認できるが、統計的に有意な関連は認められなかった。年長においても「300万円未満」は、非実施群16.7%と最も高く、高頻度群は18.5%と最も低かった。非実施群の割合は世帯年収が上がるにつれて低くなり、世帯年収が高い家庭ほど子どもが外で遊ぶ頻度は有意に高くなることが示された。

年少の子どもを養育する家庭において、世帯年収と外遊び実施頻度の間に強い統計的有意性が確認され、この年齢層において家庭の経済状況の重要性が示唆される。しかし、年中では有意な関連性は確認できず、また年長では有意な関連性が確認できたが、年少に比べてその関連性は弱まる傾向がみられた。これは、子どもの年齢が上がるにつれて、園外での外遊びの実施頻度が家庭の経済状況以外の要因にも影響される可能性を示唆している。



年少： $\chi^2=46.652$, $df=12$, $p<0.001$, 年中： $\chi^2=12.183$, $df=12$, $n.s.$, 年長： $\chi^2=21.890$, $df=12$, $p<0.05$

注) 過去1ヵ月、ケガや病気などで運動に支障があった幼児 (n=241) は除外した (1週間以内で治るケガや風邪などは含まない)

【図9-4】世帯年収×子どもの園外での外遊び実施状況 (年齢別)

⑤子どもの室内・屋内での運動遊び実施頻度と世帯年収との関連

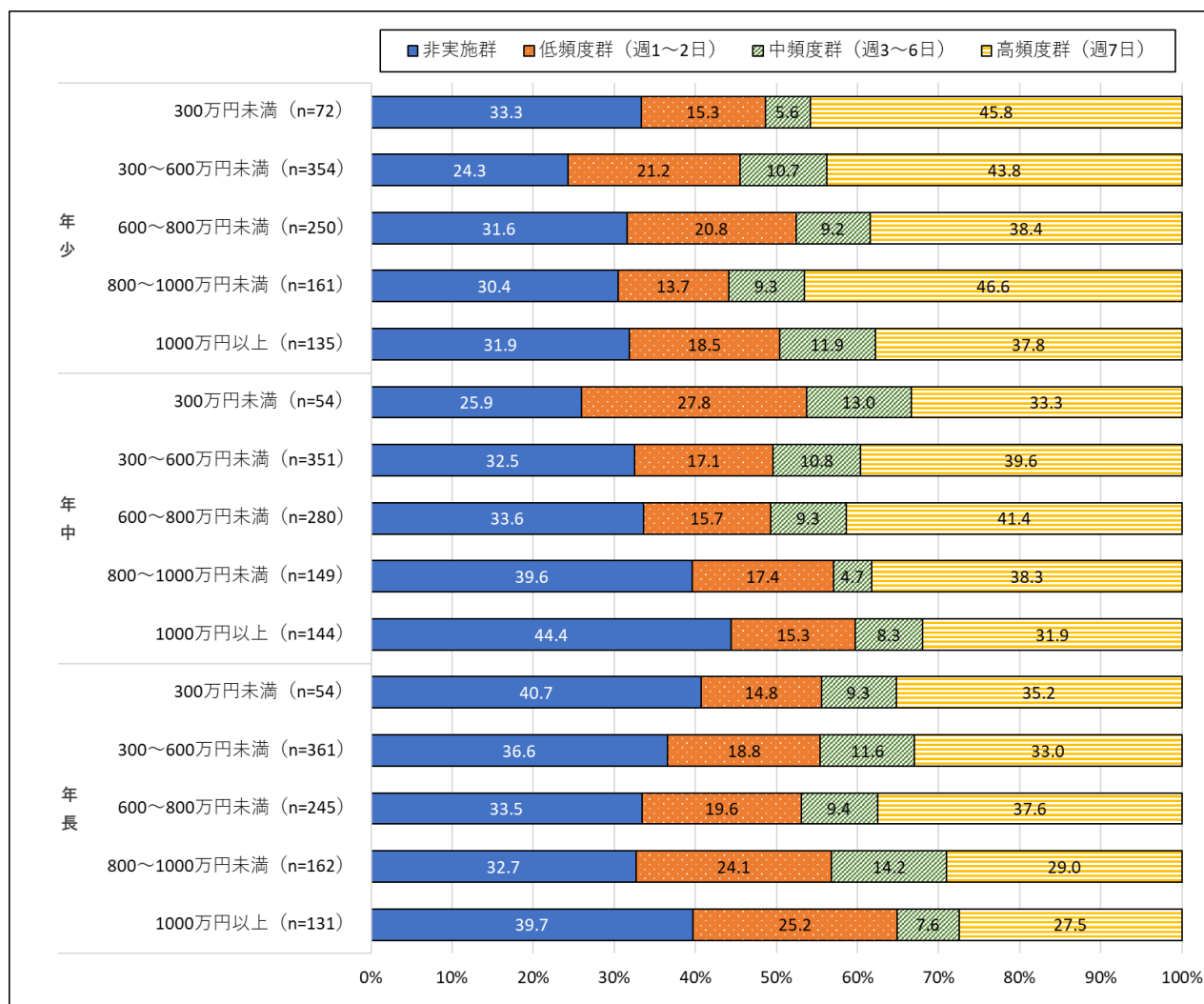
【ポイント】

➤ 園外での室内・屋内での運動遊び実施頻度と世帯年収との間に統計的に有意な関連はみられない

図9-5に子どもの室内・屋内での運動遊び実施頻度と世帯年収とのクロス集計結果を年齢別に示した。年少では、非実施群はいずれの年収階層も3割前後と、違いはみられなかった。高頻度群は「800～1,000万円未満」が46.6%と最も高かった。

年中では、非実施群の割合は「300万円未満」25.9%、「1,000万円以上」44.4%と世帯年収が上がるにつれて高くなる。高頻度群は「600～800万円未満」41.4%が最も高く、「300万円未満」や「1,000万円以上」ではいずれも3割程度であった。年長では、非実施群の割合は「300万円未満」40.7%、「1,000万円以上」39.7%と同程度であった。

カイ二乗検定の結果、いずれの年齢においても室内・屋内での運動遊び実施頻度と世帯年収との間に統計的に有意な関連は認められなかった。幼児の室内や屋内での運動遊びの実施に関しては、世帯年収以外の複数の要因が関連していることが示唆される。



年少： $\chi^2=13.495$, $df=12$, n.s., 年中： $\chi^2=18.741$, $df=12$, n.s., 年長： $\chi^2=12.988$, $df=12$, n.s.

注) 過去1ヵ月、ケガや病気などで運動に支障があった幼児 (n=241) は除外した (1週間以内で治るケガや風邪などは含まない)

【図9-5】世帯年収×子どもの園外での室内・屋内での運動遊び実施状況 (年齢別)

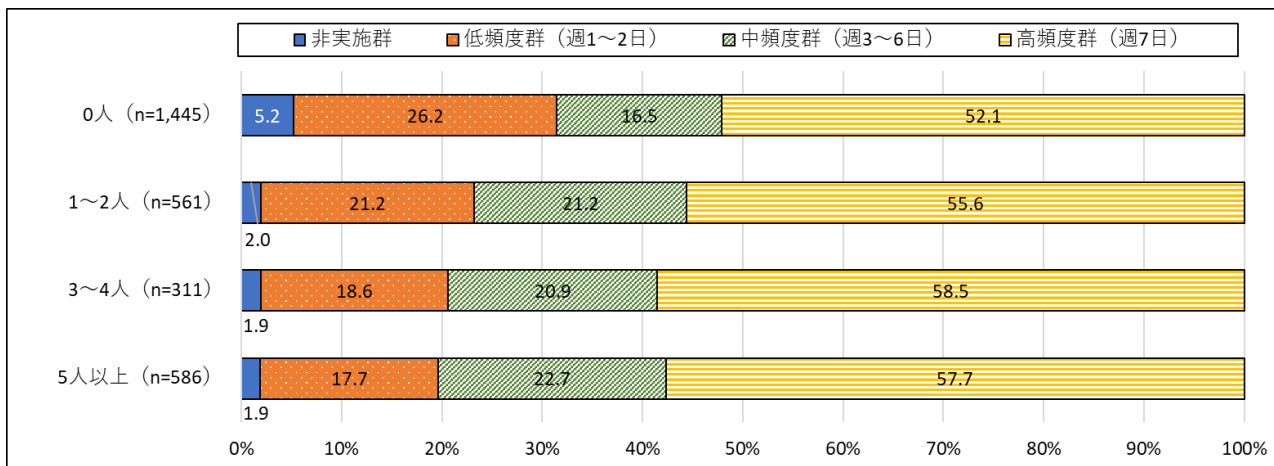
9-2. 保護者の社会的ネットワークとの関連

①ママ友・パパ友と子どもの運動実施頻度との関連

【ポイント】

- ママ友・パパ友の数が多いほど、子どもが園外で体を動かす遊びや運動をする割合は高くなる
- 年少～年長のいずれも、ママ友やパパ友の有無と子どもの園外での運動実施頻度に有意な関連性がみられた

図9-6に子どもを通じて知り合った友達（ママ友・パパ友）の人数と子どもの運動実施頻度群とのクロス集計結果を示した。非実施群は「0人」が5.2%と最も高く、「5人以上」1.9%と、友人の数が增えるにつれて非実施の割合は低下する。一方、高頻度群は「0人」が52.1%と最も低く、「1～2人」55.6%、「3～4人」58.5%、「5人以上」57.7%となり、保護者の友人の数が多いほど子どもが毎日運動を行っている割合は高かった。カイ二乗検定の結果、子どもの運動実施頻度と親の友人数との間には統計的に有意な関連が認められた。



$\chi^2=53.564, df=9, p<0.001$

注) 過去1ヵ月、ケガや病気などで運動に支障があった幼児 (n=241) は除外した (1週間以内で治るケガや風邪などは含まない)

【図9-6】子どもを通じて知り合った友達（ママ友・パパ友）の人数
×子どもの園外での運動実施頻度群 (n=2903)

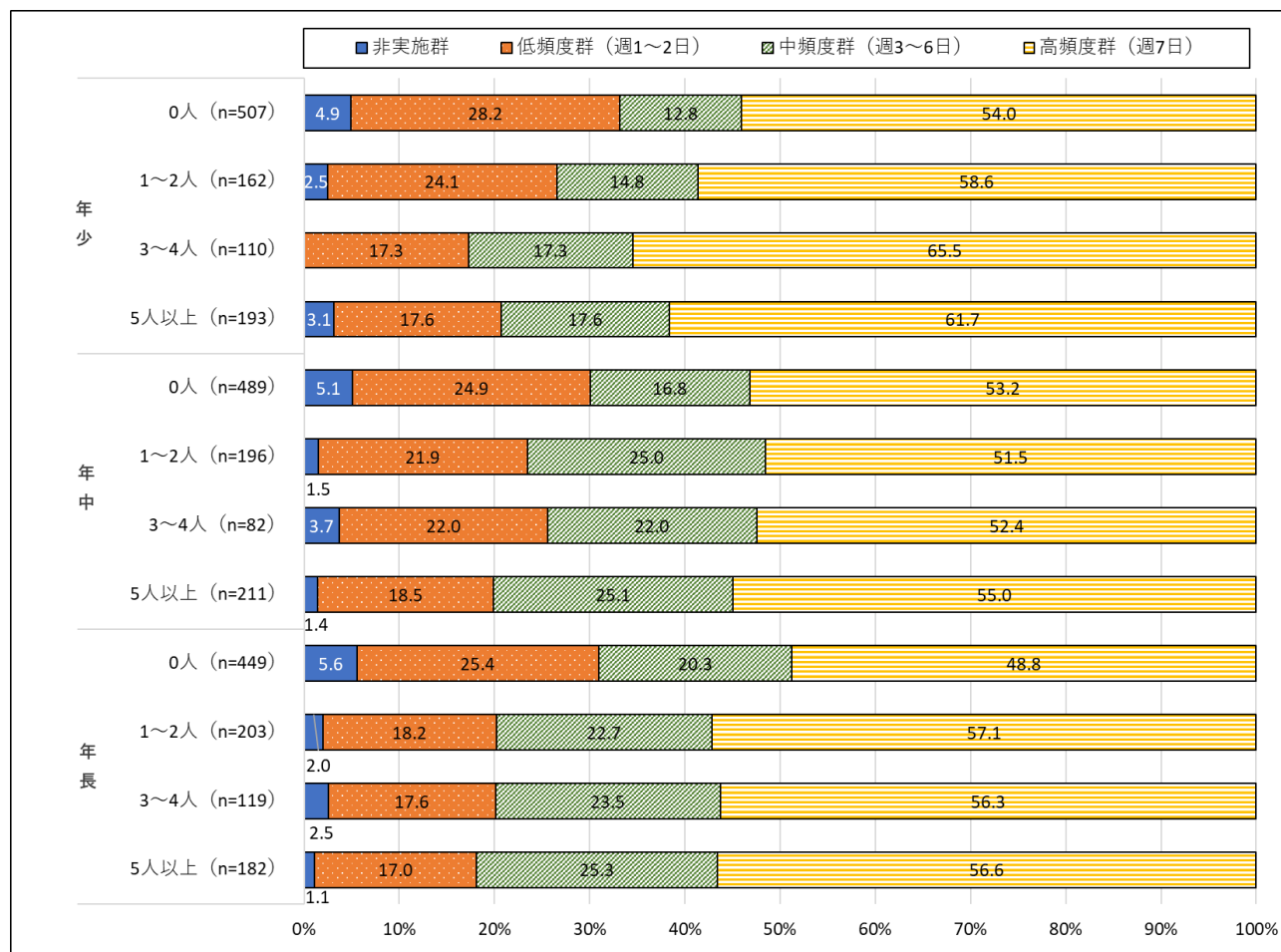
図9-7に子どもを通じて知り合った友達（ママ友・パパ友）の人数と子どもの運動実施頻度群とのクロス集計結果を年齢別に示した。年少では、高頻度群は「0人」54.0%、「1～2人」58.6%、「3～4人」65.5%、「5人以上」61.7%であり、友人の数が多くなるにつれてその割合は高くなる。

年中では、高頻度群は「0人」53.2%、「1～2人」51.5%、「3～4人」52.4%、「5人以上」55.0%となり、友人の数が「5人以上」の割合が最も高かった。

年長では、高頻度群は「0人」48.8%、「1～2人」57.1%、「3～4人」56.3%、「5人以上」56.6%であった。保護者に友人がいない場合、高頻度群の割合は半数以下となるが、友人が1人以上いる場合はいずれも6割弱であり、友人の数による違いはみられなかった。

非実施群の割合は、いずれの年齢も「0人」のグループで最も高く、年少4.9%、年中5.1%、年長5.6%であった。

また、カイ二乗検定の結果、いずれの年齢においても統計的に有意な関連が認められた。これらの結果から、ママ友やパパ友の有無と子どもの運動実施頻度に関連があることが示され、保護者同士のネットワーク形成の重要性が示唆される。



年少： $\chi^2=21.883$, $df=9$, $p<0.01$, 年中： $\chi^2=18.988$, $df=9$, $p<0.05$, 年長： $\chi^2=21.194$, $df=9$, $p<0.05$

注) 過去1ヵ月、ケガや病気などで運動に支障があった幼児 (n=241) は除外した (1週間以内で治るケガや風邪などは含まない)

**【図9-7】子どもを通じて知り合った友達 (ママ友・パパ友) の人数
×子どもの園外での運動実施頻度群 (年齢別)**

9-3. まとめ

本章では、幼児の園以外での運動実施状況と家庭の社会経済的要因との関連性について検討した。その結果、経済的に恵まれた家庭の幼児は、運動・スポーツの習いごとを実施する機会が得られやすいが、そうでない家庭の子どもはその機会を得られにくいという現状が浮き彫りになった。また、世帯年収が高い家庭ほど幼児が外で遊ぶ頻度が有意に高いという傾向が確認され、幼児の健康や社会的スキルの発達にとって重要な外遊びの機会が、家庭の経済状況によって左右される可能性が示された。幼児の運動の機会を保障していく場合、このような家庭の経済状況による影響を踏まえた社会政策が必要であり、特に経済的に恵まれない家庭の子どもたちに対する支援の拡充が求められる。併せて、公園や道路も含めた公共スペースで子どもの多様な遊びが展開されるしくみづくりや、子どもの遊びを見守るプレイリーダーの配置など、子どもが家庭の経済状況に左右されずに自由に体を動かせる取り組みも必要である。家庭や地域での幼児の運動遊びを促進するための政策を考える際には、経済的要素だけでなく、文化的・教育的背景も含めた多角的なアプローチが求められるであろう。

また、保護者の社会的ネットワークと幼児の運動実施状況との関連性も確認された。保護者の友人の数が多いほど幼児が毎日運動を行っている割合は高く、友人がいない保護者の場合、家庭において全く運動をしない幼児の割合が高くなる実態が示された。保護者の友人関係が豊かであるほど、子どもは運動の機会を得やすくなる、逆もまた然りで子どもの運動の機会が多いほど、同じような状況の他の保護者と友人関係を築く機会を得やすくなるといえる。家庭において子どもの運動の機会を増やしていくためには、親同士のコミュニティ形成もどのように促していくのかは重要な取り組みであるといえるだろう。

5. まとめ —幼児の運動遊びを促進していくために必要な取り組みとは—

1. わが国の幼児に関する調査研究データの課題

わが国には子どもに関する調査・研究データを一元的に蓄積する中心的機関が存在せず、幼児の運動実施に加えて生活習慣や生育環境も含めた全国的なデータがない点が課題であった。また、これまでの幼児の運動実施に関する調査の多くが幼稚園や保育園などでの活動を対象としており、家庭や地域といった園外での実態は把握されてこなかった。

本調査では外遊び、室内・屋内での運動遊び、運動・スポーツの習いごとの3つの局面から、遊び場所ごとの運動時間と中高強度の運動時間（MVPA）を収集した。これは、全国の幼児の園外における運動実施状況を詳細に把握した初の調査となる。併せて、これまで全国データがなかった基本的な動作の経験状況や、アクティブな視聴を除いたスクリーンタイム、情緒・行動特性の指標である「子どもの強さと困難さアンケート」（Strength and Difficulties Questionnaire：SDQ）、保護者の社会的ネットワーク（ママ友・パパ友の有無）に関するデータも含まれる。本調査から得られたデータは、幼児期からの運動・スポーツの政策や子育て支援策、コミュニティ形成のプログラム策定において重要な指標を示すものとなるだろう。

本調査は初回の試みであり、幼児の運動遊びや生活習慣に関する横断的データを提供した。しかしながら、これらの一時点でのデータからは、幼児の運動実施状況と生活習慣や生育環境、メンタルヘルス、社会性の発達などへの長期的な影響を把握することはできない。そのため、今後は縦断的調査を実施し、運動遊びの継続的な実施が幼児の成長にどのように寄与するか、また生活習慣や生育環境が子どもの心身の健康や社会性の発達に長期的にどのような影響を与えるかについてのエビデンスを蓄積する必要がある。これにより、より効果的な子どもの運動促進政策の策定に貢献できるだろう。

並行して、幼児期から遊びを通して体を動かす機会の提供や、身近な遊び場づくりが急務であり、各自治体では地域の実情にあわせて子どもに関わる機関や団体、企業などと連携した包括的・領域横断的な取り組みの実践が必要である。

2. 幼稚園や保育園で必要な取り組み

—毎日いくつかの運動遊びをプラス。動きに着目して遊びのバリエーションを増やそう—

これまでに、日本の子どもを対象とした身体活動の目安を示したものは、幼児期では文部科学省の幼児期運動指針があり、「様々な遊びを中心に、毎日、合計60分以上、楽しく体を動かすこと」が推奨されている。最近では、厚生労働省が2024年1月に健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023を策定し、こども版では「高強度の有酸素性身体活動や筋肉・骨を強化する身体活動を週3日以上行う」ことが推奨されている。

本調査結果によると、幼児期運動指針で推奨されている1日60分という目安を満たしていない幼児を園外での活動でみた場合、男子57.4%、女子62.7%と半数以上を占めていた。中高強度の運動や体を動かす遊び（MVPA）を週3日以上行う幼児は35.8%であり、園外の活動で厚生労働省のガイドラインを満たしていない幼児は6割以上にのぼった。特に、園外ではMVPAを全く行わない幼児も35.9%存在した。また、健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023では「中強度以上（3メッツ以上）の身体活動（主に有酸素性身体活動）を1日60分以上行う」ことも推奨されている。本調査結

果によると、幼児の園外での中高強度の運動実施時間は1日あたり平均11.3分であった。これらの現状を踏まえると、幼稚園や保育園などにおいて毎日中高強度の運動遊びを行う取り組みがますます重要となるだろう。

園外での運動遊びの質的な実態として、運動・スポーツにつながる基本的な動作の経験状況を確認したところ、①「走る動き」は比較的良好に経験できている、②幼児の7割が「物を打つ動き」、6割が「逆さまになる動き」を十分に経験していない、③体のバランスをとる遊びや物を操作する動きは経験の機会が限られているといった主要な知見が得られた。幼児期は「走る」「跳ぶ」「投げる」などの基本的動作が身につく、それらの動きが上達する時期であり、遊びを通して様々な動きが経験できるような機会が必要である。園での取り組みとして、家庭や地域では経験されにくい動きが含まれる遊びを意識的に取り入れるほか、園舎や園庭で過ごす中で様々な動きが出現するような環境の設定なども有効であるといえる。

3. 家庭での取り組み

－親子で遊ぶことで子どもの心も元気に。親自身が運動・スポーツを楽しむ時間も大切－

本調査では、幼児の運動実施や生活習慣が情緒や行動とどのように関連するのかという観点からも検討した。本調査で用いたSDQ日本語版は、子どものメンタルヘルス全般をカバーするスクリーニング尺度として開発された指標である。信頼性と妥当性が高く、世界各国の医療現場や学校で用いられている。

幼児の①不安や自信のなさ（情緒の問題）、②よくカッとなる・けんかをするという攻撃性（行為の問題）、③落ち着きや集中力のなさ（多動・不注意）、④友達が少ない・いじめられるなどの友達との関係構築の難しさ（仲間関係の問題）といった「困難さ」に関する4つの尺度があり、それらを総合すると「総合的な困難さ」の評価ができる。また、協力的で思いやりがある・周りの人と良好な関係を築ける行動（向社会的行動）の尺度を「強み」とし、それぞれの各尺度を得点化することにより幼児の心の状態や行動についてネガティブな特性とポジティブな特性の両面から評価できる。

これらの特性と運動実施や生活習慣との関連性をみたところ、園外で体を動かして遊ぶ日数や時間が多く、運動・スポーツの習いごとを行っている、親子で一緒に体を動かして遊ぶ頻度が多いといった幼児は、落ち着きがなく友達との関係構築が難しいなどの「困難さ」の得点が低く、思いやりがあり良好な人間関係を築けるといった「強み（向社会的行動）」の得点が高かった。つまり、幼児の時点ですでに、よく体を動かして遊んでいるか・いないかによって、心の健康状態や友達との関係が良好かどうかの違いが表れ始めているといえる。

家庭や地域で体を動かす時間が長い幼児は、「親子で一緒に体を動かして遊ぶ頻度が多い」「親自身が運動・スポーツを行っている頻度が多い」といった特徴がみられた。特に、両親のどちらか1人ではなく、父親・母親ともに「週に1日以上」の運動習慣がある家庭では、幼児の総運動時間が長いといった傾向がみられた。これらの特徴の中で関連性が明確だったのは「親子で一緒に体を動かして遊ぶ頻度」であった。園外での運動実施時間が長い幼児は親子での運動遊びの頻度も多く、最も運動習慣者が少ない年代である子育て世代の親自身が、運動・スポーツに取り組める環境をつくるとともに、子どもとの運動遊びの時間を確保できるよう支援していく取り組みは、幼児の運動を促進するために特に重要であるといえる。

4. 子どもの生活をトータルで捉えた取り組みの重要性

－運動・睡眠・食事の生活習慣は相互に関わっている。スクリーンタイムを別の活動に置き換えよう－

幼児の生活習慣全体から情緒や行動特性をみると、①朝食を毎日食べる、②園外でも毎日体を動かして遊ぶ、③スクリーンタイムが1時間未満である、④21時頃までに寝るといった4つの生活習慣を達成している幼児ほど日常生活での「困難さ」は少なく、周囲の人との関係も良好な向社会的行動が多い傾向がみられた。その中でもスクリーンタイムとの関連性は明確であり、平日に園以外でほとんど体を動かさない幼児や、スクリーンタイムが2時間以上の幼児は、特に就寝時刻が遅かった。また、SDQのネガティブな行動特性である「困難さ」が強く表れている幼児は、休日のスクリーンタイムが長い傾向にあり、過度のスクリーンタイムは幼児の運動実施や良好なメンタルヘルスの阻害要因となる可能性が示唆された。

これらの知見から、幼児の健康や発達には、運動、睡眠、食事の各生活習慣が相互に関連しているといえる。幼児の身体活動の促進において運動量の確保に加え、生活習慣全体のバランスを見直し、全体的な生活の質の向上への取り組みが重要であるといえる。この過程で、いかに長すぎるスクリーンタイムを減らし、その時間を健康的な遊びや他の活動に置き換えていけるかがポイントとなるだろう。

5. 子どもの視点・親子の視点でのまちづくり

－様々な家庭の子どもにも運動遊びの環境を。親同士のネットワークづくりも必要－

幼児の運動実施の中で、運動・スポーツの習いごとや外遊びの実施は家庭の経済状況と関連性がみられ、経済的に恵まれている子どもの方が運動実施の機会を得やすいという実態が示された。また、ママ友やパパ友といった子どもを介して知り合った友人がいない保護者の場合、園外で運動を全くしない幼児の割合が高く、保護者の社会的ネットワークの重要性も確認された。さらに、本調査ではこれまで収集されてこなかった「在園していない幼児（未就園児）」の運動実施に関するデータも収集した。運動頻度や時間をみると、平日は幼稚園や保育園などに通園している幼児と同等かやや多い程度、休日は頻度・時間のいずれも就園児よりも少なかった。就園児は、平日は園で体を動かす時間があるが、未就園児は家庭での活動のみであるため、園外での幼児の遊び環境の充実もあわせて取り組む必要があるだろう。

様々な家庭の幼児の運動を促進していくためには、保育園や幼稚園での運動遊びの取り組みに加えて、園外でも幼児が運動できる環境の整備として安全でアクセスしやすい遊び場の提供、運動遊びプログラムに参加できる機会の提供、親同士が子どもを連れて集まる場所や地域の場づくりが求められる。

6. 今後の課題

子どもの問題は、家庭や地域・学校などにおける養育・保育や教育の問題として論じられ、家族や教師の責任を中心に問題解決の努力がなされてきた。しかし、本調査で幼児の運動時間や心の健康状態との顕著な関連がみられた「親子で一緒に体を動かして遊ぶ」を例に考えても、単に親の問題と考えて良いだろうか。例えば、労働環境の改善、忙しい親をサポートするための支援環境の整備、家族で参加できる運動機会の増加など、企業や行政を含めた社会全体の取り組みがあれば、より多くの親子が一緒に体を動かして遊ぶ活動ができたかもしれない。これまで国や地方自治体において数々の取

り組みが行われてきたものの、子どもの問題は様々な要因が連動しており、個別的な対応では根本解決にはならないとの指摘がある。この問題を単に親や個々の家庭の責任として捉えるのではなく、より広い社会的文脈での支援体制の構築が必要である。

幼児期の運動促進に関する取り組みは自治体においてどの部門が行うか、といった「制度の狭間」問題も存在しているのではないだろうか。行政活動は、国や自治体で政策領域、組織ごとに分業がなされている。就園児であれば保育園や幼稚園などで運動遊びを行う取り組みを行えるが、未就園児では直接的にアプローチする方法がない。自治体において幼児の運動促進に関する取り組みを行う場合、その場その場の連携に留まらず、また、地域におけるキーパーソンだよりではなく、連携を構成するメンバーが変わっても継続的に行っていくしくみや、システムとして分業体系の空白を埋めるしくみが必要である。

幼少期から心も体もアクティブな子どもを育成するためには、単一の組織による単発の取り組みではなく、多様な関係者が一体となって長期的視点で取り組む総合的なアプローチが求められる。

6. 調査票

ご自身に関するアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

この調査を企画した笹川スポーツ財団は、すべての人がスポーツを楽しめる社会の創造を目指して活動している公益財団法人です。

この度、わが国の子どもの運動・スポーツ活動の現状や問題点を明らかにするために、幼児とその保護者の方を対象とし、「幼児の体を動かす遊び・スポーツと生活に関するアンケート」を実施いたします。調査結果は報告書としてまとめ、国や地方公共団体における施策の企画・立案や、学術研究に活用していただけるよう、広く公表していきたいと考えております。

アンケートには次の内容が含まれています。

- ・お子様の生年月
- ・お子様の身長、体重
- ・郵便番号
- ・最終学歴
- ・世帯年収

・本研究は皆さまの自由意思を尊重しています。調査趣旨にご理解いただいた上で、ご協力ください。

・本調査の回答の所要時間は15～30分程度です。

・お答えになりたくない質問には、無理に回答いただく必要はありません。回答を中断することも可能です。

・データは回答IDで管理し、回答者全体の集計値を公表しますので、個人が特定されることは一切ありません。結果は責任者が厳重に管理し研究以外の目的に使うことはありません。

また、アンケートであなたご自身やあなたのご家族についてお伺いする場合があります。

協力いただける場合は「開始」ボタンを押し、回答を開始してください。

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。

開始

F1 あなたの性別をお答えください。

男性

女性

F2 あなたの年齢をお答えください。

歳

Q1 生年月日が2017年4月2日～2020年4月1日に合致するお子様はいますか？いらっしゃる場合は、お子様の生まれた年、月をお答えください。

※この年齢のお子様がお二人以上いらっしゃる場合は、どなたかお一人についてお答えください。

西暦 年

月

該当の子どもはいない

先程お答えいただいたお子様についてお伺いします。

Q2 お子様の性別をお答えください。(ひとつだけ)

男の子

女の子

Q2_1 あなたは、お子様からみて次のどなたにあてはまりますか。(ひとつだけ)

父

母

祖父

祖母

その他

Q2_2 お子様の就園状況についてお答えください。(ひとつだけ)

幼稚園

保育園

認定こども園

その他

在園していない

Q2_3 ここ1ヶ月について、お子様が幼稚園や保育園などに登園している曜日をお答えください。(あてはまるものすべて)

- 月曜日
- 火曜日
- 水曜日
- 木曜日
- 金曜日
- 土曜日
- 日曜日

Q2_3_2 登園時刻と降園時刻は、曜日によって異なりますか？

- 曜日による違いはほとんどない
- 曜日によって異なる

Q2_4 ここ1ヶ月について、各曜日のお子様の平均的な登園・降園時刻を24時間表記で教えてください。

※PCでご回答の場合、回答欄が横に並びます。横に向かってお答えください。
※スマートフォンでご回答の場合、タップしても反応しない場合は、そのまましばらくお待ちください。

月曜日: 登園時刻	月曜日: 降園時刻	火曜日: 登園時刻
<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
	火曜日: 降園時刻	水曜日: 登園時刻
<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
水曜日: 降園時刻	木曜日: 登園時刻	木曜日: 降園時刻
<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
	金曜日: 登園時刻	金曜日: 降園時刻
<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
土曜日: 登園時刻	土曜日: 降園時刻	日曜日: 登園時刻
<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
	日曜日: 降園時刻	
<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	

Q2_5 お子様の身長・体重をお答えください。小数点以下は四捨五入して、入力してください。(例: 102.5cm⇒103cm、15.5kg⇒16kg)

身長 cm

体重 kg

Q3

ここ1ヶ月について、お子様は**運動の習いごと**をしていますか？（幼稚園や保育園などにいる時間は含めません。ただし、園が終了してから、園の施設や場所を使って家庭が任意で習わせる運動の時間は含みます）（ひとつだけ）

はい

いいえ

Q3_1

お子様がしている運動の習いごとをすべて選択してください。（あてはまるものすべて）

野球

サッカー

バasketボール

テニス

バレーボール

卓球

バドミントン

水泳（スイミング）

ダンス（バレエ含む）

剣道

空手

体操

その他

Q3_2

お子様が運動の習いごとをしている曜日をすべてお答えください。（あてはまるものすべて）

月曜日

火曜日

水曜日

木曜日

金曜日

土曜日

日曜日

Q3_3

お子様の運動の習いごとについて、ここ1ヶ月を思い出し、曜日ごとに平均的な1日あたりの時間(分)を回答してください。

※1～480の範囲でお答えください。
※半角でご入力ください。

運動の習いごとをしている時間

月曜日 分

火曜日 分

水曜日 分

木曜日 分

金曜日 分

土曜日 分

日曜日 分

Q3_4

これらの運動の習いごとのうち、息がはずむ程度のきつさの運動時間は何分くらいありますか？**ない場合は「0」と入力してください。**

※0～480の範囲でお答えください。
※半角でご入力ください。

息がはずむ程度のきつさの運動時間

月曜日 分

※月曜日に運動の習いごとをしている時間: <%= %%Q3_3[1]%% %>分

火曜日 分

※火曜日に運動の習いごとをしている時間: <%= %%Q3_3[2]%% %>分

水曜日 分

※水曜日に運動の習いごとをしている時間: <%= %%Q3_3[3]%% %>分

木曜日 分

※木曜日に運動の習いごとをしている時間: <%= %%Q3_3[4]%% %>分

金曜日 分

※金曜日に運動の習いごとをしている時間: <%= %%Q3_3[5]%% %>分

土曜日 分

※土曜日に運動の習いごとをしている時間: <%= %%Q3_3[6]%% %>分

日曜日 分

※日曜日に運動の習いごとをしている時間: <%= %%Q3_3[7]%% %>分

ここからは、お子様が幼稚園・保育園・運動の習いごと以外で過ごす「体を動かして遊ぶ時間」についての質問です。

Q4_1_1

園にいる時や運動の習いごと以外で、お子様は体を動かす外遊びをしていますか？この1ヶ月を思い出し、曜日ごとに遊んでいる場所をすべて選択してください。体を動かす外遊びをしない曜日は「この曜日は体を動かす外遊びをしていない」を選択してください。

月曜日	火曜日	水曜日
<input type="checkbox"/> 公園や屋外の遊び場	<input type="checkbox"/> 公園や屋外の遊び場	<input type="checkbox"/> 公園や屋外の遊び場
<input type="checkbox"/> 自宅の敷地内（庭など）	<input type="checkbox"/> 自宅の敷地内（庭など）	<input type="checkbox"/> 自宅の敷地内（庭など）
<input type="checkbox"/> 路上（道路や路地裏など）	<input type="checkbox"/> 路上（道路や路地裏など）	<input type="checkbox"/> 路上（道路や路地裏など）
<input type="checkbox"/> その他の外遊びの場所	<input type="checkbox"/> その他の外遊びの場所	<input type="checkbox"/> その他の外遊びの場所
<input type="checkbox"/> この曜日は体を動かす外遊びをしていない	<input type="checkbox"/> この曜日は体を動かす外遊びをしていない	<input type="checkbox"/> この曜日は体を動かす外遊びをしていない
木曜日	金曜日	土曜日
<input type="checkbox"/> 公園や屋外の遊び場	<input type="checkbox"/> 公園や屋外の遊び場	<input type="checkbox"/> 公園や屋外の遊び場
<input type="checkbox"/> 自宅の敷地内（庭など）	<input type="checkbox"/> 自宅の敷地内（庭など）	<input type="checkbox"/> 自宅の敷地内（庭など）
<input type="checkbox"/> 路上（道路や路地裏など）	<input type="checkbox"/> 路上（道路や路地裏など）	<input type="checkbox"/> 路上（道路や路地裏など）
<input type="checkbox"/> その他の外遊びの場所	<input type="checkbox"/> その他の外遊びの場所	<input type="checkbox"/> その他の外遊びの場所
<input type="checkbox"/> この曜日は体を動かす外遊びをしていない	<input type="checkbox"/> この曜日は体を動かす外遊びをしていない	<input type="checkbox"/> この曜日は体を動かす外遊びをしていない
日曜日		
<input type="checkbox"/> 公園や屋外の遊び場		
<input type="checkbox"/> 自宅の敷地内（庭など）		
<input type="checkbox"/> 路上（道路や路地裏など）		
<input type="checkbox"/> その他の外遊びの場所		
<input type="checkbox"/> この曜日は体を動かす外遊びをしていない		

Q4_1

園にいる時や運動の習いごと以外で、お子様はどれくらいの時間、体を動かす外遊びをしていますか？ここ1ヶ月を思い出し、各曜日の遊んでいる場所ごとに、平均的な1日あたりの時間(分)を回答してください。

例：日曜日に公園で1時間半遊んでいる場合、日曜日の「公園や屋外の遊び場」の欄に「90」と入力してください。

※1～480の範囲でお答えください。

※半角でご入力ください。

<月曜日>公園や屋外の遊び場 分自宅の敷地内(庭など) 分路上(道路や路地裏など) 分その他の外遊びの場所 分**<火曜日>**公園や屋外の遊び場 分自宅の敷地内(庭など) 分路上(道路や路地裏など) 分その他の外遊びの場所 分**<水曜日>**公園や屋外の遊び場 分自宅の敷地内(庭など) 分路上(道路や路地裏など) 分その他の外遊びの場所 分**<木曜日>**公園や屋外の遊び場 分自宅の敷地内(庭など) 分路上(道路や路地裏など) 分その他の外遊びの場所 分**<金曜日>**公園や屋外の遊び場 分自宅の敷地内(庭など) 分路上(道路や路地裏など) 分その他の外遊びの場所 分**<土曜日>**公園や屋外の遊び場 分自宅の敷地内(庭など) 分路上(道路や路地裏など) 分その他の外遊びの場所 分**<日曜日>**公園や屋外の遊び場 分自宅の敷地内(庭など) 分路上(道路や路地裏など) 分その他の外遊びの場所 分

Q4_2

これらの外遊びのうち、息がはずむ程度のきつさの運動時間は何分くらいありますか？**ない場合は「0」と入力してください。**

※0～480の範囲でお答えください。
※半角でご入力ください。

息がはずむ程度のきつさの運動時間

月曜日 分
※月曜日に外遊びをしている時間(分)の合計:%%HQ4_1[1]%%分

火曜日 分
※火曜日に外遊びをしている時間(分)の合計:%%HQ4_1[2]%%分

水曜日 分
※水曜日に外遊びをしている時間(分)の合計:%%HQ4_1[3]%%分

木曜日 分
※木曜日に外遊びをしている時間(分)の合計:%%HQ4_1[4]%%分

金曜日 分
※金曜日に外遊びをしている時間(分)の合計:%%HQ4_1[5]%%分

土曜日 分
※土曜日に外遊びをしている時間(分)の合計:%%HQ4_1[6]%%分

日曜日 分
※日曜日に外遊びをしている時間(分)の合計:%%HQ4_1[7]%%分

Q5_1_1

園にいる時や運動の習いごと以外で、お子様は室内や屋内施設で体を動かす遊びをしていますか？ここ1ヶ月を思い出し、曜日ごとに遊んでいる項目をすべて選択してください。**室内で体を動かして遊ばない曜日は「この曜日は室内で体を動かして遊ばない」を選択してください。**

月曜日	火曜日	水曜日
<input type="checkbox"/> 室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動 (例: Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTubeなど) <input type="checkbox"/> 室内で体を動かす運動 (例: ゲーム機やテレビ、動画以外、走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど) <input type="checkbox"/> 屋内運動施設 (例: 体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など) <input type="checkbox"/> その他の室内で体を動かす場面	<input type="checkbox"/> 室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動 (例: Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTubeなど) <input type="checkbox"/> 室内で体を動かす運動 (例: ゲーム機やテレビ、動画以外、走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど) <input type="checkbox"/> 屋内運動施設 (例: 体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など) <input type="checkbox"/> その他の室内で体を動かす場面	<input type="checkbox"/> 室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動 (例: Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTubeなど) <input type="checkbox"/> 室内で体を動かす運動 (例: ゲーム機やテレビ、動画以外、走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど) <input type="checkbox"/> 屋内運動施設 (例: 体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など) <input type="checkbox"/> その他の室内で体を動かす場面
<input type="checkbox"/> この曜日は室内で体を動かして遊ばない	<input type="checkbox"/> この曜日は室内で体を動かして遊ばない	<input type="checkbox"/> この曜日は室内で体を動かして遊ばない
木曜日	金曜日	土曜日
<input type="checkbox"/> 室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動 (例: Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTubeなど) <input type="checkbox"/> 室内で体を動かす運動 (例: ゲーム機やテレビ、動画以外、走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど) <input type="checkbox"/> 屋内運動施設 (例: 体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など) <input type="checkbox"/> その他の室内で体を動かす場面	<input type="checkbox"/> 室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動 (例: Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTubeなど) <input type="checkbox"/> 室内で体を動かす運動 (例: ゲーム機やテレビ、動画以外、走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど) <input type="checkbox"/> 屋内運動施設 (例: 体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など) <input type="checkbox"/> その他の室内で体を動かす場面	<input type="checkbox"/> 室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動 (例: Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTubeなど) <input type="checkbox"/> 室内で体を動かす運動 (例: ゲーム機やテレビ、動画以外、走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど) <input type="checkbox"/> 屋内運動施設 (例: 体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など) <input type="checkbox"/> その他の室内で体を動かす場面
<input type="checkbox"/> この曜日は室内で体を動かして遊ばない	<input type="checkbox"/> この曜日は室内で体を動かして遊ばない	<input type="checkbox"/> この曜日は室内で体を動かして遊ばない
日曜日		
<input type="checkbox"/> 室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動 (例: Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTubeなど) <input type="checkbox"/> 室内で体を動かす運動 (例: ゲーム機やテレビ、動画以外、走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど) <input type="checkbox"/> 屋内運動施設 (例: 体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など) <input type="checkbox"/> その他の室内で体を動かす場面		
<input type="checkbox"/> この曜日は室内で体を動かして遊ばない		

Q5_1

園にいる時や運動の習いごと以外で、お子様はどれくらいの時間、室内や屋内施設で体を動かす遊びをしていますか？ここ1ヶ月を思い出し、各曜日の遊んでいる項目ごとに、平均的な1日あたりの時間(分)を回答してください。

※1～480の範囲でお答えください。
※半角でご入力ください。

<月曜日>

室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動
(例:Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTubeなど) 分

室内で体を動かす運動
(例:ゲーム機やテレビ、動画以外。走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど) 分

屋内運動施設
(例:体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など) 分

その他の室内で体を動かす場面 分

<火曜日>

室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動
(例:Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTubeなど) 分

室内で体を動かす運動
(例:ゲーム機やテレビ、動画以外。走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど) 分

屋内運動施設
(例:体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など) 分

その他の室内で体を動かす場面 分

<水曜日>

室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動
(例:Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTubeなど) 分

室内で体を動かす運動
(例:ゲーム機やテレビ、動画以外。走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど) 分

屋内運動施設
(例:体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など) 分

その他の室内で体を動かす場面 分

<木曜日>

室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動
(例:Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTubeなど) 分

室内で体を動かす運動
(例:ゲーム機やテレビ、動画以外。走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど) 分

屋内運動施設
(例:体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など) 分

その他の室内で体を動かす場面 分

<金曜日>

室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動
(例:Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTubeなど) 分

室内で体を動かす運動
(例:ゲーム機やテレビ、動画以外。走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど) 分

屋内運動施設
(例:体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など) 分

その他の室内で体を動かす場面 分

<土曜日>

室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動
(例:Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTubeなど) 分

室内で体を動かす運動
(例:ゲーム機やテレビ、動画以外。走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど) 分

屋内運動施設
(例:体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など) 分

その他の室内で体を動かす場面 分

<日曜日>

室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動
(例:Wii Sports、ニンテンドースイッチなどのゲーム、YouTubeなど) 分

室内で体を動かす運動
(例:ゲーム機やテレビ、動画以外。走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど) 分

屋内運動施設
(例:体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など) 分

その他の室内で体を動かす場面 分

Q5_2

これらの室内や屋内施設で体を動かす遊びのうち、息がはずむ程度のきつさの運動時間は何分くらいありますか？
ない場合は「0」と入力してください。

※0～480の範囲でお答えください。
※半角でご入力ください。

- 月曜日 分
※月曜日に室内や屋内施設で体を動かす遊びをしている時間(分)の合計:%%HQ5_1[1]%%分
- 火曜日 分
※火曜日に室内や屋内施設で体を動かす遊びをしている時間(分)の合計:%%HQ5_1[2]%%分
- 水曜日 分
※水曜日に室内や屋内施設で体を動かす遊びをしている時間(分)の合計:%%HQ5_1[3]%%分
- 木曜日 分
※木曜日に室内や屋内施設で体を動かす遊びをしている時間(分)の合計:%%HQ5_1[4]%%分
- 金曜日 分
※金曜日に室内や屋内施設で体を動かす遊びをしている時間(分)の合計:%%HQ5_1[5]%%分
- 土曜日 分
※土曜日に室内や屋内施設で体を動かす遊びをしている時間(分)の合計:%%HQ5_1[6]%%分
- 日曜日 分
※日曜日に室内や屋内施設で体を動かす遊びをしている時間(分)の合計:%%HQ5_1[7]%%分

Q6

ここ3ヶ月くらいの間で、お子様は次のそれぞれの遊びをどれくらいの頻度で行いましたか。習いごとも含めて回答してください。(幼稚園や保育園にいる時間は除きます)(それぞれひとつずつ)

	ほとんどしなかった	2～3ヶ月に1回くらい	月に1～2回くらい	週に1～2回くらい	週に3～4回くらい	ほとんど毎日
①走る遊び(おにごっこ、かけっこなど)	○	○	○	○	○	○
②ジャンプする遊び(トランポリン、ケンケンパ、なわとび、ジャンプを含むダンスなど)	○	○	○	○	○	○
③物を投げる遊び(ドッジボール、キャッチボール、フリスビー、紙飛行機飛ばしなど)	○	○	○	○	○	○
④物を打つ遊び(バットで打つ、ラケットで打つ、棒で打つなど)	○	○	○	○	○	○
⑤物を蹴る遊び(サッカー、石けりなど)	○	○	○	○	○	○
⑥乗り物に乗る遊び(三輪車、自転車、キックボード、ブレイブボードなど)	○	○	○	○	○	○
⑦ぶら下がる遊び(鉄棒、うんていなど)	○	○	○	○	○	○
⑧登る遊び(斜面や垂直面を手足を使って登る、ジャングルジム、登り棒、登り綱、木登りなど)	○	○	○	○	○	○
⑨回る遊び(鉄棒、前回り、横転がり、親子遊び、ダンスのターンなど)	○	○	○	○	○	○
⑩逆さまになる遊び(逆立ち、鉄棒、親子遊びなど)	○	○	○	○	○	○
⑪押したり引いたりする遊び(すもう、人や物を押したり引いたりなど)	○	○	○	○	○	○
⑫水にもぐる、浮く、泳ぐ遊び(風呂にもぐる、水に顔をつける、スイミングも含む)	○	○	○	○	○	○

Q7 ここ1ヶ月間、どれくらいの頻度で親子で一緒に体を動かして遊びましたか。(ひとつだけ)

- 全くしなかった
- 月に1~3回
- 週に1~2回
- 週に3~4回
- ほとんど毎日

Q8 調査の対象となるお子様の運動の習いごとに、1ヶ月平均でどれくらいの費用(月謝・用具代・交通費など含む)を支出していますか。(ひとつだけ)

- 1,000円未満
- 1,000~3,000円未満
- 3,000~5,000円未満
- 5,000~1万円未満
- 1~2万円未満
- 2~3万円未満
- 3万円以上
- 支出していない

お子様やあなたの生活習慣についてお答えください。

Q9 お子様は、1週間のうち何日朝食を食べますか。(ひとつだけ)

- 7日
- 6日
- 5日
- 4日
- 3日
- 2日
- 1日
- ほとんど食べない

Q10

お子様とあなたの平日(月～金)と休日(土・日)の就寝時刻と起床時刻を24時間表記で教えてください。
(例:午後10時⇒22時)

※スマートフォンでご回答の場合、タップしても反応しない場合は、そのまましばらくお待ちください。

お子様<平日>【就寝時刻】

選択して下さい▼ 時

選択して下さい▼ 分

お子様<平日>【起床時刻】

選択して下さい▼ 時

選択して下さい▼ 分

お子様<休日>【就寝時刻】

選択して下さい▼ 時

選択して下さい▼ 分

お子様<休日>【起床時刻】

選択して下さい▼ 時

選択して下さい▼ 分

あなた<平日>【就寝時刻】

選択して下さい▼ 時

選択して下さい▼ 分

あなた<平日>【起床時刻】

選択して下さい▼ 時

選択して下さい▼ 分

あなた<休日>【就寝時刻】

選択して下さい▼ 時

選択して下さい▼ 分

あなた<休日>【起床時刻】

選択して下さい▼ 時

選択して下さい▼ 分

Q11

ここ1ヶ月、お子様は、園(幼稚園・保育園など含む)の活動以外で、テレビやDVDをみたり、パソコン、ゲーム(テレビ、パソコン、携帯式のゲーム機などを含む)、スマートフォンなどを使用したりする時間は1日あたりどのくらいですか。(ただし、Wii Sportsなどの体を動かすゲーム、YouTubeなどの動画を見ながら体を動かす時間は含めません)

【平日(月～金)】

30分未満

30分～1時間未満

1～2時間未満

2～3時間未満

3～4時間未満

4～5時間未満

5時間以上

【休日(土・日)】

30分未満

30分～1時間未満

1～2時間未満

2～3時間未満

3～4時間未満

4～5時間未満

5時間以上

Q12_1

以下のそれぞれの質問項目について、あてはまらない、まああてはまる、あてはまる、のいずれかをお答えください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのお子様のここ半年くらいの行動について答えてください。(それぞれひとつずつ)

お子様のここ半年くらいの行動について (2~4歳児用 / 親記入用)	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
①他人の気持ちをよく気づかう	○	○	○
②おちつきがなく、長い間じっとしてられない	○	○	○
③頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうったえる	○	○	○
④他の子どもたちと、よく分け合う (おやつ・おもちゃ・鉛筆など)	○	○	○
⑤カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	○	○	○
⑥一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	○	○	○
⑦素直で、だいたいは大人のいうことをよくきく	○	○	○
⑧心配ごとが多く、いつも不安なようだ	○	○	○
⑨誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	○	○	○
⑩いつもそわそわしたり、もじもじしている	○	○	○
⑪仲の良い友だちが少なくとも一人はいる	○	○	○
⑫よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする	○	○	○
⑬おちこんでしずんでいたたり、涙ぐんでいたたりすることがよくある	○	○	○
⑭他の子どもたちから、だいたいは好かれているようだ	○	○	○
⑮すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	○	○	○
⑯目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす	○	○	○
⑰年下の子どもたちに対してやさしい	○	○	○
⑱よく大人に対して口答えする	○	○	○
⑲他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	○	○	○
⑳自分からすすんでよく他人を手伝う (親・先生・子どもたちなど)	○	○	○
㉑よく考えてから行動することができる	○	○	○
㉒他の人に対していじわるをする	○	○	○
㉓他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ	○	○	○
㉔こわがりで、すぐにおびえたりする	○	○	○
㉕ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	○	○	○

お子様のここ半年くらいの行動について (4~17歳児用 / 親記入用)	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
①他人の気持ちをよく気づかう	○	○	○
②おちつきがなく、長い間じっとしてられない	○	○	○
③頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうったえる	○	○	○
④他の子どもたちと、よく分け合う (おやつ・おもちゃ・鉛筆など)	○	○	○
⑤カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	○	○	○
⑥一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	○	○	○
⑦素直で、だいたいは大人のいうことをよくきく	○	○	○
⑧心配ごとが多く、いつも不安なようだ	○	○	○
⑨誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	○	○	○
⑩いつもそわそわしたり、もじもじしている	○	○	○
⑪仲の良い友だちが少なくとも一人はいる	○	○	○
⑫よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする	○	○	○
⑬おちこんでしずんでいたたり、涙ぐんでいたたりすることがよくある	○	○	○
⑭他の子どもたちから、だいたいは好かれているようだ	○	○	○
⑮すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	○	○	○
⑯目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす	○	○	○
⑰年下の子どもたちに対してやさしい	○	○	○
⑱よくうそをついたり、ごまかしたりする	○	○	○
⑲他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	○	○	○
⑳自分からすすんでよく他人を手伝う (親・先生・子どもたちなど)	○	○	○
㉑よく考えてから行動する	○	○	○
㉒家や学校、その他から物を盗んだりする	○	○	○
㉓他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ	○	○	○
㉔こわがりで、すぐにおびえたりする	○	○	○
㉕ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	○	○	○

Q13 あなたの婚姻状況をお答えください。(ひとつだけ)

- 未婚
- 有配偶（現在結婚している）
- 死別（配偶者と死に別れた）
- 離別（配偶者と離婚した）

Q14_1

お子様と同居しているご家族についてお答えください。
家族構成についてお子様からみた続柄をお答えください。(あてはまるものすべて)
※お子様からみた自分の続柄もお答えください。

- 父
- 母
- 祖父
- 祖母

きょうだい

- 兄
- 姉
- 弟
- 妹

その他

- その他

Q14_2

きょうだいがいるとお答えの方にお伺いします。
お子様からみた兄弟の人数をお答えください。

- 兄 人
- 姉 人
- 弟 人
- 妹 人

Q15

この1年間に運動やスポーツを実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。あなたと配偶者の実施日数について、それぞれ当てはまるものを一つお答えください。

あなた	配偶者
<input type="radio"/> 週に5日以上（年251日以上）	<input type="radio"/> 週に5日以上（年251日以上）
<input type="radio"/> 週に3日以上（年151日～250日）	<input type="radio"/> 週に3日以上（年151日～250日）
<input type="radio"/> 週に2日以上（年101日～150日）	<input type="radio"/> 週に2日以上（年101日～150日）
<input type="radio"/> 週に1日以上（年51日～100日）	<input type="radio"/> 週に1日以上（年51日～100日）
<input type="radio"/> 月に1～3日（年12日～50日）	<input type="radio"/> 月に1～3日（年12日～50日）
<input type="radio"/> 3ヶ月に1～2日（年4日～11日）	<input type="radio"/> 3ヶ月に1～2日（年4日～11日）
<input type="radio"/> 年に1～3日	<input type="radio"/> 年に1～3日
<input type="radio"/> していない	<input type="radio"/> していない
<input type="radio"/> わからない	<input type="radio"/> わからない

Q16

あなたは、子どもを通じて知り合った友達（ママ友、パパ友）のうち、連絡をとったり気軽に話をしたりできる人はいますか。おおよその人数を教えてください。いない方は「0」と入力してください。

 人くらい

Q16_1

そのうち、**子どもを連れて一緒に遊ぶ、公園に行く、食事をする**などの交流をしているママ友、パパ友は何人いますか。いない方は「0」と入力してください。

 人くらい

あなたとお子様のお住まい、生活環境についてお答えください。

Q17 郵便番号をお答えください。

※郵便番号がわからない方は、こちらで調べてからご記入ください

<https://www.post.japanpost.jp/zipcode/>

 -

Q18

あなたは、現在お住まいの市区町村に何年住んでいますか。あなたが子どもの頃に住んでいた年数も含めます。（ひとつだけ）

- 半年未満
- 半年以上1年未満
- 1年以上3年未満
- 3年以上5年未満
- 5年以上10年未満
- 10年以上

Q19 あなたのお住まいは、どのようなタイプですか。(ひとつだけ)

住まいのタイプ

- 一戸建て
- 2～3階建ての集合住宅
- 4～12階建ての集合住宅
- 13階建て以上の集合住宅
- その他

Q20 あなたと配偶者の主な職業はこの中のどれにあたりますか。(ひとつだけ)

あなた

- 自営業（農林漁業、小売店・飲食店・理髪店・団体の経営者・個人営業主などの商工サービス業、開業医、弁護士事務所経営者、芸術家、茶華道師匠など）
- 家族従事者（農家や個人商店などで自分の家族が経営する事業を手伝っている者）
- 勤め人（会社員、公務員、研究者、教員など）
- 専業主婦・主夫（パートタイムをしていない方）
- パートタイムやアルバイト
- その他
- 休職
- 無職

配偶者

- 自営業（農林漁業、小売店・飲食店・理髪店・団体の経営者・個人営業主などの商工サービス業、開業医、弁護士事務所経営者、芸術家、茶華道師匠など）
- 家族従事者（農家や個人商店などで自分の家族が経営する事業を手伝っている者）
- 勤め人（会社員、公務員、研究者、教員など）
- 専業主婦・主夫（パートタイムをしていない方）
- パートタイムやアルバイト
- その他
- 休職
- 無職

Q21 あなたと配偶者の最後に卒業した学校はどれですか。(ひとつだけ)

あなた	配偶者
<input type="radio"/> 中学校	<input type="radio"/> 中学校
<input type="radio"/> 高校	<input type="radio"/> 高校
<input type="radio"/> 高専	<input type="radio"/> 高専
<input type="radio"/> 短大	<input type="radio"/> 短大
<input type="radio"/> 専門学校	<input type="radio"/> 専門学校
<input type="radio"/> 大学	<input type="radio"/> 大学
<input type="radio"/> 大学院	<input type="radio"/> 大学院
<input type="radio"/> その他の学校	<input type="radio"/> その他の学校

Q22 あなたのご家庭の世帯年収(共働きの場合は夫婦の合計)はおおよそどれくらいですか。賞与などを含め、直近の年収を税込みでお答え下さい。(ひとつだけ)

- 200万円未満
- 200～300万円未満
- 300～400万円未満
- 400～500万円未満
- 500～600万円未満
- 600～700万円未満
- 700～800万円未満
- 800～900万円未満
- 900～1,000万円未満
- 1,000～1,200万円未満
- 1,200～1,500万円未満
- 1,500～2000万円未満
- 2,000万円以上

Q23 お子様はここ1ヶ月間、ケガや病気などで運動に支障のある状態でしたか。(1週間以内で治るケガや風邪などは含みません)(ひとつだけ)

- 支障はなかった
- 支障があった

7. 集計表

F1 あなたの性別をお答えください。[F1]

		0	1	2
1段目 横%		TOTAL	男性	女性
0		3144	48.5	51.5

F2 あなたの年齢をお答えください。[F2]

		0	1	2	3
1段目 横%		TOTAL	平均値	最小値	最大値
0		3144	39.68	21	68

Q1 生年月日が2017年4月2日～2020年4月1日に合致するお子様はいますか？いらっしゃる場合は、お子様の生まれた年、月をお答えください。[Q1]
※この年齢のお子様がお二人以上いらっしゃる場合は、どなたかお一人についてお答えください。

		0	1	2	3
1段目 横%		TOTAL	平均値	最小値	最大値
1	西暦	3144	2018.24	2017	2020
2	誕生日	3144	6.64	1	12

Q2 お子様の性別をお答えください。(ひとつだけ) 先程お答えいただいたお子様についてお伺いします。[Q2]

		0	1	2
1段目 横%		TOTAL	男の子	女の子
0		3144	50.2	49.8

Q2.1 あなたは、お子様からみて次のどなたにあてはまりますか。(ひとつだけ) [Q2.1]

		0	1	2	3	4	5
1段目 横%		TOTAL	父	母	祖父	祖母	その他
0		3144	48.5	51.5	0.0	0.0	0.0

Q2.2 お子様の就園状況についてお答えください。(ひとつだけ) [Q2.2]

		0	1	2	3	4	5
1段目 横%		TOTAL	幼稚園	保育園	認定こども園	その他	在園していない
0		3144	43.5	37.8	16.1	0.5	2.0

Q2.3 ここ1ヶ月について、お子様が幼稚園や保育園などに登園している曜日をお答えください。(あてはまるものすべて) [Q2.3]

		0	1	2	3	4	5	6	7
1段目 横%		TOTAL	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
0		3080	99.0	99.3	99.0	99.1	99.1	10.3	0.3

Q2.3.2 登園時刻と降園時刻は、曜日によって異なりますか？ [Q2.3.2]

		0	1	2
1段目 横%		TOTAL	曜日による違いはほとんどない	曜日によって異なる
0		3080	84.6	15.4

Q2.5 お子様の身長・体重をお答えください。小数点以下は四捨五入して、入力してください。(例: 102.5cm⇒103cm、15.5kg⇒16kg) [Q2.5]

		0	1	2	3
1段目 横%		TOTAL	平均値	最小値	最大値
1	身長	3144	107.13	62	177
2	体重	3144	17.79	7	85

Q3 ここ1ヶ月について、お子様は運動の習いごとをしていますか？(幼稚園や保育園などにいる時間は含めません。ただし、園が終了してから、園の施設や場所を使って家庭が任意で習わせる運動の時間は含みます)(ひとつだけ) [Q3]

		0	1	2
1段目 横%		TOTAL	はい	いいえ
0		3144	33.6	66.4

Q3.1 お子様が行っている運動の習いごとをすべて選択してください。(あてはまるものすべて) [Q3.1]

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1段目 横%		TOTAL	野球	サッカー	バスケットボール	テニス	バレーボール	卓球	バドミントン	水泳(スイミング)	ダンス(バレエ含む)
0		1056	1.8	11.0	1.1	1.8	0.4	0.4	0.6	49.1	11.0
1段目 横%			10	11	12	13					
			剣道	空手	体操	その他					
0		0.4	3.4	36.6	7.8						

Q3.2 お子様が行っている運動の習いごとをすべてお答えください。(あてはまるものすべて) [Q3.2]

		0	1	2	3	4	5	6	7
1段目 横%		TOTAL	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
0		1056	15.9	18.8	22.2	24.0	20.7	26.7	9.2

Q3.3 お子様の運動の習いごとについて、ここ1ヶ月を思い出し、曜日ごとに平均的な1日あたりの時間(分)を回答してください。
※1~480の範囲でお答えください。※半角でご入力ください。[Q3.3]

1段目 横%		0	1	2	3
		TOTAL	平均値	最小値	最大値
1	月曜日	168	61.36	30	200
2	火曜日	199	57.55	10	200
3	水曜日	234	61.04	25	240
4	木曜日	253	60.43	22	180
5	金曜日	219	61.73	30	200
6	土曜日	282	68.78	30	240
7	日曜日	97	75.41	20	360

Q3.4 これらの運動の習いごとのうち、息がはずむ程度のきつさの運動時間は何分くらいありますか？
※0~480の範囲でお答えください。※半角でご入力ください。[Q3.4]

1段目 横%		0	1	2	3
		TOTAL	平均値	最小値	最大値
1	月曜日	168	19.11	0	180
2	火曜日	199	18.80	0	90
3	水曜日	234	18.79	0	240
4	木曜日	253	17.60	0	120
5	金曜日	219	18.06	0	90
6	土曜日	282	22.91	0	180
7	日曜日	97	23.30	0	120

Q4.1.1 園にいる時や運動の習いごと以外で、お子様は体を動かす外遊びをしていますか？ここ1ヶ月を思い出し、曜日ごとに遊んでいる場所をすべて選択してください。
体を動かす外遊びをしない曜日は「この曜日は体を動かす外遊びをしていない」を選択してください。[Q4.1.1]

1段目 横%		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	公園や屋外の遊び場	自宅の敷地内(庭など)	路上(道路や路地裏など)	その他の外遊びの場所	この曜日は体を動かす外遊びをしていない
1	月曜日	3144	28.1	22.6	6.3	3.8	54.0
2	火曜日	3144	23.6	21.0	5.9	3.6	57.9
3	水曜日	3144	24.7	20.9	6.0	3.7	57.2
4	木曜日	3144	23.4	20.0	5.7	3.8	58.8
5	金曜日	3144	23.6	20.6	6.1	3.9	58.3
6	土曜日	3144	62.9	33.2	12.2	14.6	19.1
7	日曜日	3144	69.3	34.9	13.0	18.3	14.0

Q4.1 園にいる時や運動の習いごと以外で、お子様はどれくらいの時間、体を動かす外遊びをしていますか？
ここ1ヶ月を思い出し、各曜日の遊んでいる場所ごとに、平均的な1日あたりの時間(分)を回答してください。
例：日曜日に公園で1時間半遊んでいる場合、日曜日の「公園や屋外の遊び場」の欄に「90」と入力してください。
※1~480の範囲でお答えください。※半角でご入力ください。[Q4.1]

1段目 横%		0	1	2	3
		TOTAL	平均値	最小値	最大値
1	【月曜日】公園や屋外の遊び場	884	40.86	1	300
2	【月曜日】自宅の敷地内(庭など)	711	29.60	1	240
3	【月曜日】路上(道路や路地裏など)	198	22.74	1	120
4	【月曜日】その他の外遊びの場所	120	35.58	1	120
5	【火曜日】公園や屋外の遊び場	743	41.89	1	300
6	【火曜日】自宅の敷地内(庭など)	660	30.20	1	240
7	【火曜日】路上(道路や路地裏など)	184	24.80	5	240
8	【火曜日】その他の外遊びの場所	113	37.26	1	120
9	【水曜日】公園や屋外の遊び場	777	43.62	1	300
10	【水曜日】自宅の敷地内(庭など)	658	30.24	1	180
11	【水曜日】路上(道路や路地裏など)	188	24.46	5	120
12	【水曜日】その他の外遊びの場所	116	39.07	1	200
13	【木曜日】公園や屋外の遊び場	735	41.82	1	300
14	【木曜日】自宅の敷地内(庭など)	630	30.30	1	303
15	【木曜日】路上(道路や路地裏など)	179	24.77	1	120
16	【木曜日】その他の外遊びの場所	118	34.33	1	120
17	【金曜日】公園や屋外の遊び場	743	42.54	1	300
18	【金曜日】自宅の敷地内(庭など)	647	29.78	1	240
19	【金曜日】路上(道路や路地裏など)	191	24.56	1	240
20	【金曜日】その他の外遊びの場所	124	38.67	1	180
21	【土曜日】公園や屋外の遊び場	1979	70.62	1	480
22	【土曜日】自宅の敷地内(庭など)	1043	37.84	1	300
23	【土曜日】路上(道路や路地裏など)	384	30.01	1	200
24	【土曜日】その他の外遊びの場所	460	62.49	1	480
25	【日曜日】公園や屋外の遊び場	2179	71.94	1	480
26	【日曜日】自宅の敷地内(庭など)	1096	39.58	1	303
27	【日曜日】路上(道路や路地裏など)	409	29.34	1	180
28	【日曜日】その他の外遊びの場所	575	65.05	1	360

Q4.2 これらの外遊びのうち、息がはずむ程度のきつさの運動時間は何分くらいありますか？ない場合は「0」と入力してください。
※0～480の範囲でお答えください。※半角でご入力ください。[Q4.2]

		0	1	2	3
1段目 横%		TOTAL	平均値	最小値	最大値
1	月曜日	1447	7.72	0	120
2	火曜日	1323	7.80	0	120
3	水曜日	1347	8.27	0	90
4	木曜日	1296	7.68	0	90
5	金曜日	1311	7.99	0	90
6	土曜日	2545	14.90	0	360
7	日曜日	2704	15.90	0	400

Q5.1.1 園にいる時や運動の習いごと以外で、お子様は室内や屋内施設で体を動かす遊びをしていますか？
ここ1ヶ月を思い出し、曜日ごとに遊んでいる項目をすべて選択してください。室内で体を動かして遊ばない曜日は「この曜日は室内で体を動かして遊ばない」を選択してください。[Q5.1.1]

		0	1	2	3	4	5
1段目 横%		TOTAL	室内でゲーム機やテレビ、動画を見ながら体を動かす運動(例:Wii Sports、ニンテンドーSwitchなどのゲーム、YouTubeなど)	室内で体を動かす運動(例:ゲーム機やテレビ、動画以外、走り回る、親子で体を動かして遊ぶなど)	屋内運動施設(例:体育館・プール、児童館、商業施設の遊び場など)	その他の室内で体を動かす場面	この曜日は室内で体を動かして遊ばない
1	月曜日	3144	17.2	27.3	4.5	8.2	52.7
2	火曜日	3144	15.1	25.8	3.8	8.4	55.0
3	水曜日	3144	15.3	26.5	3.5	8.2	55.0
4	木曜日	3144	14.6	26.0	3.6	8.0	55.7
5	金曜日	3144	14.8	26.1	3.8	8.0	55.7
6	土曜日	3144	16.4	32.3	14.2	12.1	41.7
7	日曜日	3144	16.2	33.3	15.5	13.5	40.6

Q5.1 園にいる時や運動の習いごと以外で、お子様はどれくらいの時間、室内や屋内施設で体を動かす遊びをしていますか？ここ1ヶ月を思い出し、各曜日の遊んでいる項目ごとに、平均的な1日あたりの時間(分)を回答してください。※1～480の範囲でお答えください。※半角でご入力ください。[Q5.1]

		0	1	2	3
1段目 横%		TOTAL	平均値	最小値	最大値
1	【月曜日】室内でゲーム機やテレビ、	540	38.08	1	300
2	【月曜日】室内で体を動かす運動	857	31.55	1	360
3	【月曜日】屋内運動施設(例:体育	140	37.59	1	480
4	【月曜日】その他の室内で体を動か	258	29.47	1	210
5	【火曜日】室内でゲーム機やテレビ、	475	39.14	2	300
6	【火曜日】室内で体を動かす運動	810	31.32	1	360
7	【火曜日】屋内運動施設(例:体育	119	36.65	3	150
8	【火曜日】その他の室内で体を動か	265	30.06	1	180
9	【水曜日】室内でゲーム機やテレビ、	480	38.90	3	300
10	【水曜日】室内で体を動かす運動	832	31.91	1	360
11	【水曜日】屋内運動施設(例:体育	110	43.95	5	240
12	【水曜日】その他の室内で体を動か	259	29.59	1	180
13	【木曜日】室内でゲーム機やテレビ、	459	39.55	3	300
14	【木曜日】室内で体を動かす運動	818	31.39	1	360
15	【木曜日】屋内運動施設(例:体育	114	39.56	5	200
16	【木曜日】その他の室内で体を動か	252	30.79	1	210
17	【金曜日】室内でゲーム機やテレビ、	465	39.89	3	340
18	【金曜日】室内で体を動かす運動	821	31.82	1	360
19	【金曜日】屋内運動施設(例:体育	121	40.18	5	180
20	【金曜日】その他の室内で体を動か	251	30.49	1	200
21	【土曜日】室内でゲーム機やテレビ、	515	46.77	5	400
22	【土曜日】室内で体を動かす運動	1016	41.23	1	480
23	【土曜日】屋内運動施設(例:体育	445	54.48	3	240
24	【土曜日】その他の室内で体を動か	381	38.62	1	240
25	【日曜日】室内でゲーム機やテレビ、	508	46.59	2	400

Q5.2 これらの室内や屋内施設で体を動かす遊びのうち、息がはずむ程度のきつさの運動時間は何分くらいありますか？ない場合は「0」と入力してください。
※0～480の範囲でお答えください。※半角でご入力ください。[Q5.2]

		0	1	2	3
1段目 横%		TOTAL	平均値	最小値	最大値
1	月曜日	1486	6.06	0	120
2	火曜日	1416	6.16	0	120
3	水曜日	1416	6.51	0	120
4	木曜日	1392	6.24	0	120
5	金曜日	1394	6.49	0	120
6	土曜日	1834	11.12	0	200
7	日曜日	1868	11.82	0	200

Q6 ここ3ヶ月くらいの間で、お子様は次のそれぞれの遊びをどれくらいの頻度で行いましたか。習いごとも含めて回答してください。
(幼稚園や保育園にいる時間は除きます)(それぞれひとつずつ) [Q6]

		0	1	2	3	4	5	6
		TOTAL	ほとんどしな かった	2~3ヶ月に1 回くらい	月に1~2回く らい	週に1~2回く らい	週に3~4回く らい	ほとんど毎日
1段目	横%							
1	走る遊び	3144	17.6	5.9	19.1	32.1	12.3	13.1
2	ジャンプする遊び	3144	25.7	6.8	18.7	27.2	10.9	10.8
3	物を投げる遊び	3144	33.5	9.6	22.2	23.4	6.4	4.8
4	物を打つ遊び	3144	66.3	7.3	11.5	10.1	2.4	2.4
5	物を蹴る遊び	3144	46.3	11.1	19.4	16.0	4.4	2.8
6	乗り物に乗る遊び	3144	32.0	9.3	24.5	23.4	6.1	4.6
7	ぶら下がる遊び	3144	38.6	10.6	21.7	19.3	5.7	4.1
8	登る遊び	3144	34.6	11.9	23.9	19.5	5.5	4.5
9	回る遊び	3144	39.9	9.4	18.7	19.7	6.9	5.3
10	逆さまになる遊び	3144	59.5	7.8	13.3	12.5	3.5	3.4
11	押したり引いたりする遊び	3144	48.3	11.2	16.6	15.5	4.6	3.8
12	水にもぐる、浮く、泳ぐ遊び	3144	53.5	8.2	10.1	18.4	4.3	5.5

Q7 ここ1ヶ月間、どれくらいの頻度で親子で一緒に体を動かして遊びましたか。(ひとつだけ) [Q7]

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	全くしな かった	月に1~3回	週に1~2回	週に3~4回	ほとんど毎日
1段目	横%						
0		3144	12.5	37.3	35.5	8.0	6.7

Q8 調査の対象となるお子様の運動の習いごと、1ヶ月平均でどれくらいの費用(月謝・用具代・交通費など含む)を支出していますか。(ひとつだけ) [Q8]

		0	1	2	3	4	5	6	7	8
		TOTAL	1,000円未 満	1,000~3,000 円未 満	3,000~5,000 円未 満	5,000~1万円 未 満	1~2万円未 満	2~3万円未 満	3万円以上	支出してい ない
1段目	横%									
0		1056	2.4	6.5	15.5	51.2	18.1	2.7	1.5	2.0

Q9 お子様は、1週間のうち何日朝食を食べますか。(ひとつだけ) お子様やあなたの生活習慣についてお答えください。 [Q9]

		0	1	2	3	4	5	6	7	8
		TOTAL	7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	ほとんど食 べない
1段目	横%									
0		3144	90.2	2.8	3.0	1.1	0.5	0.4	0.3	1.7

Q11 ここ1ヶ月、お子様は、園(幼稚園・保育園など含む)の活動以外で、テレビやDVDをみたり、パソコン、ゲーム(テレビ、パソコン、携帯式のゲーム機などを含む)、スマートフォンなどを使用した時間は1日あたりどのくらいですか。(ただし、Wii Sportsなどの体を動かすゲーム、YouTubeなどの動画を見ながら体を動かす時間は含めません) [Q11]

		0	1	2	3	4	5	6	7
		TOTAL	30分未 満	30分~1時 間未 満	1~2時間未 満	2~3時間未 満	3~4時間未 満	4~5時間未 満	5時間以上
1段目	横%								
1	【平日(月~金)】	3144	20.7	23.1	32.9	16.2	4.6	1.3	1.2
2	【休日(土・日)】	3144	13.9	13.7	25.8	25.7	11.7	5.0	4.1

Q12_1 以下のそれぞれの質問項目について、あてはまらない、まああてはまる、あてはまる、のいずれかをお答えください。

答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。

あなたのお子様のここ半年くらいの行動について答えてください。(それぞれひとつずつ) [Q12_1]

【2～4歳児用】		0 1 2 3				【4～17歳児用】		0 1 2 3			
		TOTAL	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる			TOTAL	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
1	他人の気持ちをよく気づかう	1455	20.5	60.3	19.1	1	他人の気持ちをよく気づかう	1689	18.3	58.2	23.5
2	おちつきがなく、長い間じっとしてられない	1455	38.8	43.7	17.5	2	おちつきがなく、長い間じっとしてられない	1689	44.2	40.5	15.3
3	頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうたえる	1455	70.9	22.9	6.2	3	頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうたえる	1689	73.2	21.4	5.4
4	他の子どもたちと、よく分け合う(おやつ・おもちゃ・鉛筆など)	1455	20.5	60.3	19.1	4	他の子どもたちと、よく分け合う(おやつ・おもちゃ・鉛筆など)	1689	16.6	59.4	23.9
5	カッとなったたり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	1455	35.8	45.2	19.0	5	カッとなったたり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	1689	46.4	40.4	13.2
6	一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	1455	54.4	36.6	9.0	6	一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	1689	58.7	32.9	8.4
7	素直で、だいたい大人のいうことをよくきく	1455	27.0	57.3	15.7	7	素直で、だいたい大人のいうことをよくきく	1689	22.9	54.1	23.1
8	心配ごとが多く、いつも不安なようだ	1455	78.8	17.7	3.6	8	心配ごとが多く、いつも不安なようだ	1689	76.7	19.9	3.4
9	誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	1455	25.5	56.0	18.5	9	誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	1689	21.4	57.0	21.6
10	いつもそわそわしたり、もじもじしている	1455	75.0	20.5	4.5	10	いつもそわそわしたり、もじもじしている	1689	74.5	21.6	3.8
11	仲の良い友だちが少なくとも一人はいる	1455	12.1	34.3	53.6	11	仲の良い友だちが少なくとも一人はいる	1689	7.7	25.9	66.4
12	よく他の子どもとけんかをしたり、いじめたりする	1455	83.4	14.4	2.2	12	よく他の子どもとけんかをしたり、いじめたりする	1689	85.0	13.8	1.2
13	おちこんでずんできていたり、涙ぐんでいたりがよくある	1455	73.8	23.0	3.2	13	おちこんでずんできていたり、涙ぐんでいたりがよくある	1689	74.2	22.7	3.1
14	他の子どもたちから、だいたいは好かれているようだ	1455	8.4	63.0	28.7	14	他の子どもたちから、だいたいは好かれているようだ	1689	7.3	57.0	35.7
15	すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	1455	45.2	38.4	16.4	15	すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	1689	49.6	36.3	14.2
16	目新しい場面に直面すると不安ですががりついたり、すぐに自信をなくす	1455	49.3	38.2	12.5	16	目新しい場面に直面すると不安ですががりついたり、すぐに自信をなくす	1689	52.5	37.3	10.2
17	年下の子どもたちに対してやさしい	1455	14.1	50.4	35.5	17	年下の子どもたちに対してやさしい	1689	9.8	44.0	46.2
18	よく大人に対して口答えする	1455	40.5	42.7	16.8	18	よくうそをついたり、ごまかしたりする	1689	60.9	33.8	5.3
19	他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	1455	86.5	11.8	1.7	19	他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	1689	86.3	11.5	2.2
20	自分からすすんでよく他人を手伝う(親・先生・子どもたちなど)	1455	23.4	52.7	23.8	20	自分からすすんでよく他人を手伝う(親・先生・子どもたちなど)	1689	19.9	53.6	26.5
21	よく考えてから行動することができる	1455	44.6	44.1	11.3	21	よく考えてから行動する	1689	44.6	43.8	11.7
22	他の人に対していじわるをする	1455	80.2	17.1	2.7	22	家や学校、その他から物を盗んだりする	1689	92.1	6.5	1.5
23	他の子どもたちより、大人という方がうまいくようだ	1455	59.3	32.2	8.5	23	他の子どもたちより、大人という方がうまいくようだ	1689	70.0	24.3	5.7
24	こわがりで、すぐにおびえたりする	1455	48.5	37.9	13.5	24	こわがりで、すぐにおびえたりする	1689	49.1	39.6	11.4
25	ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	1455	35.3	50.6	14.1	25	ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	1689	29.8	52.5	17.7

Q13 あなたの婚姻状況をお答えください。(ひとつだけ) [Q13]

		0	1	2	3	4
1段目 横%		TOTAL	未婚	有配偶(現在結婚している)	死別(配偶者と死に別れた)	離別(配偶者と離婚した)
0		3144	0.9	96.3	0.3	2.5

Q14.1 お子様と同居しているご家族についてお答えください。

家族構成についてお子様からみた続柄でお答えください。(あてはまるものすべて)※お子様からみた自分の続柄もお答えください。 [Q14.1]

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1段目 横%		TOTAL	父	母	祖父	祖母	兄	姉	弟	妹	その他
0		3144	90.6	91.3	5.3	6.9	25.0	23.6	14.3	15.7	3.8

Q14.2 きょうだいがいるとお答えの方にお伺いします。お子様からみた兄弟の人数をお答えください。 [Q14.2]

		0	1	2	3
1段目 横%		TOTAL	平均値	最小値	最大値
1	兄	787	1.21	1	4
2	姉	742	1.20	1	7
3	弟	450	1.10	1	2
4	妹	495	1.10	1	4

Q15 この1年間に運動やスポーツを実施した日数を全部合わせると、何日くらいになりますか。

あなたと配偶者の実施日数について、それぞれ当てはまるものを一つお答えください。 [Q15]

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1段目 横%		TOTAL	週に5日以上(年251日以上)	週に3日以上(年151日~250日)	週に2日以上(年101日~150日)	週に1日以上(年51日~100日)	月に1~3日(年12日~50日)	3ヶ月に1~2日(年4日~11日)	年に1~3日	していない	わからない
1	あなた	3144	5.8	4.9	7.8	12.8	15.1	8.3	8.4	31.6	5.2
2	配偶者	3027	3.9	3.6	5.6	11.1	12.6	8.7	7.1	35.8	11.6

Q16 あなたは、子どもを通じて知り合った友達(ママ友、パパ友)のうち、連絡をとったり気軽に話をしたりできる人はいますか。

おおよその人数を教えてください。いない方は「0」と入力してください。 [Q16]

		0	1	2	3
1段目 横%		TOTAL	平均値	最小値	最大値
0		3144	2.22	0	100

Q16.1 そのうち、子どもを連れて一緒に遊ぶ、公園に行く、食事をするなどの交流をしているママ友、パパ友は何人いますか。

いない方は「0」と入力してください。 [Q16.1]

		0	1	2	3
1段目 横%		TOTAL	平均値	最小値	最大値
0		1586	2.21	0	20

Q18 あなたは、現在お住まいの市区町村に何年住んでいますか。あなたが子どもの頃に住んでいた年数も含めます。(ひとつだけ) [Q18]

		0	1	2	3	4	5	6
1段目 横%		TOTAL	半年未満	半年以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上
0		3144	1.5	2.6	8.7	14.4	30.8	42.0

Q19 あなたのお住まいは、どのようなタイプですか。(ひとつだけ) [Q19]

		0	1	2	3	4	5
1段目 横%		TOTAL	一戸建て	2~3階建ての集合住宅	4~12階建ての集合住宅	13階建て以上の集合住宅	その他
0		3144	61.5	16.1	16.3	5.4	0.6

Q20 あなたと配偶者の主な職業はこの中のどれに当たりますか。(ひとつだけ) [Q20]

		0	1	2	3	4	5	6	7	8
1段目 横%		TOTAL	自営業(農林漁業、小売店・飲食店・理髪店・団体の経営者・個人営業主などの商工サービス業、開業医、弁護士事務所経営者、芸術家、茶華道師匠など)	家族従事者(農家や個人商店などで自分の家族が経営する事業を手伝っている者)	勤め人(会社員、公務員、研究者、教員など)	専業主婦・主夫(パートタイムをしない方)	パートタイムやアルバイト	その他	休職	無職
1	あなた	3144	3.8	0.9	60.0	18.1	14.9	0.7	0.8	0.7
2	配偶者	3027	5.3	1.3	61.5	13.0	14.4	0.4	0.6	3.4

Q20.1 過去1ヶ月を振り返り、あなたと配偶者が働いている曜日をお選びください。職業に就いている方についてお伺いします。 [Q20.1]

		0	1	2	3	4	5	6	7
1段目 横%		TOTAL	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
1	あなた	2525	94.2	93.6	92.5	93.8	94.5	32.3	16.1
2	配偶者	2511	93.9	93.0	90.5	93.3	94.1	36.4	17.0

Q21 あなたと配偶者の最後に卒業した学校はどれですか。(ひとつだけ) [Q21]

		0	1	2	3	4	5	6	7	8
		TOTAL	中学校	高校	高専	短大	専門学校	大学	大学院	その他の学校
1	あなた	3144	2.5	21.9	1.1	7.6	14.6	46.2	6.1	0.1
2	配偶者	3027	3.1	23.8	1.7	8.5	16.6	40.5	5.4	0.5

Q22 あなたのご家庭の世帯年収(共働きの場合は夫婦の合計)はおおよそどれくらいですか。賞与などを含め、直近の年収を税込みでお答え下さい。(ひとつだけ) [Q22]

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	200万円未満	200~300万円未満	300~400万円未満	400~500万円未満	500~600万円未満	600~700万円未満	700~800万円未満	800~900万円未満	900~1,000万円未満
0		3144	2.4	4.0	8.3	12.0	16.6	15.0	11.9	8.9	7.2
		10	11	12	13						
		1,000~1,200万円未満	1,200~1,500万円未満	1,500~2,000万円未満	2,000万円以上						
0		7.2	4.0	1.6	0.9						

Q23 お子様はここ1ヶ月間、ケガや病気などで運動に支障のある状態でしたか。(1週間以内で治るケガや風邪などは含みません)(ひとつだけ) [Q23]

		0	1	2
		TOTAL	支障はなかった	支障があった
0		3144	92.3	7.7

[属性] 県コード [QW3]

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県
0		3144	4.2	1.1	0.6	2.0	0.7	0.6	1.3	1.6	1.4
		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県
0		1.7	5.9	4.6	10.8	7.3	2.0	0.7	1.1	0.4	0.7
		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
		長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県
0		1.9	1.3	2.5	6.8	1.4	1.3	1.7	6.4	4.7	0.9
		30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
		和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
0		0.7	0.5	0.7	1.3	2.4	1.0	0.6	0.8	1.2	0.5
		40	41	42	43	44	45	46	47		
		福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県		
0		4.8	0.9	1.3	1.5	0.7	0.8	1.3	1.2		

[属性] 未既婚 [QW4]

		0	1	2
		TOTAL	結婚している	結婚していない
0		3144	97.1	2.9

[属性] 職業 [QW5]

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	会社員	会社役員・管理職	公務員・団体職員	自営業	自由業・専門職	派遣・契約社員	パート・アルバイト	小学生以下	中学生
0		3144	38.6	7.3	11.1	2.1	3.5	2.2	12.7	0.0	0.0
		10	11	12	13	14	15				
		高校生	予備校生	専門学校生・短期大学生・大学生・大学院生	専業主婦・専業主夫	無職	その他				
0		0.0	0.0	0.1	21.1	0.5	0.7				

[属性] 同居子供人数 [QW6]

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	0人	1人	2人	3人	4人以上
0		3144	0.0	28.4	51.2	15.6	4.7

*年代 [QAGE]

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	平均値	最小値	最大値
0		3144	3.2	46.6	44.6	5.2	0.3	0.0	39.68	21	68

* 性年代 [QSAGE]

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1段目 横%		TOTAL	男性20-29歳	男性30-39歳	男性40-49歳	男性50-59歳	男性60-69歳	男性70歳以上	女性20-29歳	女性30-39歳	女性40-49歳
0		3144	0.6	16.7	26.0	5.0	0.3	0.0	2.6	30.0	18.6
		10	11	12							
1段目 横%		女性50-59歳	女性60-69歳	女性70歳以上							
0		0.3	0.0	0.0							

* エリア [QAREA]

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1段目 横%		TOTAL	北海道地区	東北地区	関東地区	北陸地区	東山地区	東海地区	近畿地区	中国地区	四国地区
0		3144	4.2	6.3	33.1	4.3	3.9	10.8	15.7	6.0	3.1
		10									
1段目 横%		九州地区									
0		12.6									

* 子供年齢 [QT1]

		0	1	2	3
1段目 横%		TOTAL	3歳(生年月 201904- 202004)	4歳(生年月 201804- 201903)	5歳(生年月 201704- 201803)
0		3144	33.5	33.7	32.8

* 子供性別×子供年齢 [QT2]

		0	1	2	3	4	5	6
1段目 横%		TOTAL	男の子3歳 (生年月 201904- 202004)	男の子4歳 (生年月 201804- 201903)	男の子5歳 (生年月 201704- 201803)	女の子3歳 (生年月 201904- 202004)	女の子4歳 (生年月 201804- 201903)	女の子5歳 (生年月 201704- 201803)
0		3144	16.7	17.0	16.5	16.8	16.7	16.3

* 子供年齢(現在23年10月時) [QT3]

		0	1	2	3	4
1段目 横%		TOTAL	3歳(生年月 201911- 202004)	4歳(生年月 201811- 201910)	5歳(生年月 201711- 201810)	6歳(生年月 201704- 201710)
0		3144	13.1	33.2	34.1	19.6

* 子供性別×子供年齢(現在23年10月時) [QT4]

		0	1	2	3	4	5	6	7	8
1段目 横%		TOTAL	男の子3歳 (生年月 201911- 202004)	男の子4歳 (生年月 201811- 201910)	男の子5歳 (生年月 201711- 201810)	男の子6歳 (生年月 201704- 201710)	女の子3歳 (生年月 201911- 202004)	女の子4歳 (生年月 201811- 201910)	女の子5歳 (生年月 201711- 201810)	女の子6歳 (生年月 201704- 201710)
0		3144	6.8	16.2	17.1	10.1	6.3	17.0	17.0	9.5

8. 参考文献

- ・ベネッセ教育総合研究所（2022）第6回幼児の生活アンケート
- ・Goodman R（1997）The strength and difficulties questionnaire: a research note. *Japanese Child Psychol Psychiatry*, 38:581-586
- ・「早寝早起き朝ごはん」全国協議会（2014）幼児用早寝早起き朝ごはんガイド
- ・「早寝早起き朝ごはん」全国協議会（2021）「早寝早起き朝ごはん」の効果に関する調査研究報告書 https://www.niye.go.jp/pdf/210706_02.pdf（Accessed: 2024/2/14）
- ・飯田悠佳子, 森脇愛子, 小松佐穂子, 神尾陽子(2014)：わが国の就学前幼児(4-5歳)における保護者及び担任評定にもとづく Strength and Difficulties Questionnaire の標準化. 平成25年度厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業 精神障害分野「就学前後の児童における発達障害の有病率とその発達の变化：地域ベースの横断的および縦断的研究（研究代表者：神尾陽子）」総括・分担研究報告書, pp33-41.
- ・石河利寛, 栗本関夫, 勝部篤美, 近藤充夫, 前川峯雄, 松田岩男, 森下はるみ, 清水達雄, 末利博, 高田典衛（1980）幼稚園における体育カリキュラムの作成に関する研究Ⅰ—カリキュラムの基本的な考え方と予備的調査の結果について—, *体育科学*, 8, 150-155
- ・Jacqueline D Goodway, John C Ozmun, David L Gallahue（2019）Understanding motor development: Infants, children, adolescents, adults. Jones & Bartlett Learning
- ・厚生労働省（2021）2021（令和3）年 国民生活基礎調査の概況
- ・厚生労働省（2024）健康づくりのための身体活動・運動ガイド2023
- ・Liu M, Wu L, Yao S., (2016) Dose-response association of screen time-based sedentary behaviour in children and adolescents and depression: a meta-analysis of observational studies. *Br J Sports Med*, 50:1252-1258.
- ・Loprinzi PD, Davis RE, Fu YC（2015）Early motor skill competence as a mediator of child and adult physical activity, *Prev Med Rep.*; 2: 833-838
- ・Matsuishi T, Nagano M, Araki Y, et al.(2008): Scale properties of the Japanese version of the Strength and Difficulties Questionnaire (SDQ): A study of infant and school children in community samples. *Brain & Development*, 30: 410-414
- ・文部科学省（2006）「早寝早起き朝ごはん」国民運動の推進について https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/asagohan/index.htm（Accessed: 2024/2/14）
- ・文部科学省（2012）幼児期運動指針
- ・文部科学省（2012）幼児期運動指針ガイドブック
- ・森司朗, 吉田伊津美, 筒井清次郎, 鈴木康弘, 中本浩揮, 杉原隆（2018）幼児の運動能力の現状と運動発達促進のための運動指導及び家庭環境に関する研究. 平成27～29年度文部科学省科学研究費補助金(基盤研究B) 研究成果報告書
- ・日本学術会議（2007）対外報告 我が国の子どもを元気にする環境づくりのための国家的戦略の確立に向けて
- ・日本学術会議（2010）報告 日本の子どものヘルスプロモーション
- ・日本学術会議（2017）子どもの動きの健全な育成をめざして—基本的動作が危ない—

- ・ 笹川スポーツ財団 (2021) 子ども・青少年のスポーツライフ・データ 2021-4~21 歳のスポーツライフに関する調査報告書ー
- ・ スポーツ庁 (2020) 令和元年度体力・運動能力調査結果の概要
https://www.mext.go.jp/sports/content/20201015-spt_kensport01-000010432_2.pdf
(Accessed: 2024/2/14)
- ・ スポーツ庁 (2023) 令和 4 年度体力・運動能力調査報告書
- ・ スポーツ庁 (2023) 令和 4 年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」
- ・ スポーツ庁 (2024) 令和 5 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書
- ・ World Health Organization (2019) Guidelines on physical activity, sedentary behaviour and sleep for children under 5 years of age

**全国の幼児（3～6歳）を対象とした運動実施状況に関する調査研究
～幼稚園・保育園以外における幼児の運動実施の実態調査～
報告書**

2024年3月発行

発行者 公益財団法人 笹川スポーツ財団

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 3F

TEL 03-6229-5300 FAX 03-6229-5340

E-mail info@ssf.or.jp URL <http://www.ssf.or.jp/>

無断転載、複製および転載を禁止します。引用の際は本書が出典であることを明記してください。

本事業は、ポートルースの交付金による日本財団の助成金を受けて実施しました。

